

第八十二回帝國議會 藥事法案外二件委員會會議錄(速記)第八回

付託議案
藥事法案(政府提出、貴族院送付)
(第六三號)
船員保險法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第六四號)
軍事扶助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第六五號)

昭和十八年二月二十四日(水曜日)午前十時十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 清水留三郎君
理事大石 齊治君
理事小泉 純也君
理事竹内 俊吉君
赤間 德壽君
伊藤東一郎君
今牧 嘉雄君
大島 寅吉君
齋藤 憲三君
菅又 薫君
中井 一夫君
坂東幸太郎君
深澤 吉平君
藤本 捨助君
松本治一郎君
三宅 正一君

- 理事勝又 春一君
理事田中 藤作君
理事渡邊 健君
逢澤 寛君
池本甚四郎君
上田 孝吉君
木崎 爲之君
佐藤 芳男君
杉山元治郎君
西尾 末廣君
深澤豊太郎君
藤生安太郎君
星 一君
正木 清君

出席國務大臣左ノ如シ

- 厚生大臣 小泉 親彦君

出席政府委員左ノ如シ

- 大藏省主税局長 松隈 秀雄君
厚生次官 武井 群嗣君
厚生省人口局長 中村敬之進君
厚生省衛生局長 灘尾 弘吉君
厚生省保險局長 平井 章君
軍事保護院副總裁 藤原 孝夫君
軍事保護院援護局長 高辻 武邦君
軍事保護院業務局長 大坪 保雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

藥事法案(政府提出、貴族院送付)

船員保險法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
軍事扶助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○清水委員長 是ヨリ船員保險法中改正法律案ノ審議ニ入りマス、通告順ニ依リ質疑ヲ許シマス——田中藤作君

○田中(藤)委員 御提案ノ改正案ノ要綱ヲ大體通覽致シマシテ、結論トシテハ消極的デハアリマスルケレドモ、妥當ダト考ヘルノデアリマス、併シナガラ決戦下所謂船員ノ重責カラ考ヘマスルト、更ニ一步進ムベキデハナイカト云フ感シガスルノデアリマス、私ガ申上ゲルマデモナク、民間ニ於テハ現ニ海員ノ爲ニ感謝ノ色々ノ催シヲヤツテ居リマス、或ハ又後援會のナモノモ出來上ツテ居リマス、又サウシタ機運ガ澎湃トシテ起ツテ居ルノデアリマス、而モ斯ウシタ民間ノ空氣ニ對應スル政府ノ施策トシテ、此ノ海員保險ノ改正ヲ見ル時ニハ、ドウモ民間ノ熱情ニ對應スル建前カラ言フト物足リナイノデハナイカト思フノデアリマス、例ヘテ申シマスルト、改正案ノ第二十八條ノ二ノ如キ、給付期間ト申シマスルカ、保險

- 厚生書記官 木村忠二郎君
厚生書記官 菊池 武夫君
軍事保護院書記官 杉山 俊郎君

給付ヲ受ケル期間ガ僅カ十日デアアル、是ハ在來ノ規定ガ十日デアツタノデ、恐ラクソレヲ踏襲サレタト思ヒマスルケレドモ、斯クノ如キ給付ヲ受ケ得ベキ權利ガ喪失スルト云フ規定ヲ置クト云フコトガ、民間ノ營利保險ト同様ナ思想デハナイカト云フ感シガスルノデアリマス、何ダカ冷タイ、薄情ナ感シガスルノデアリマス、先程言ツタヤウニ今日船員ニ對スル重大ナル使命ヲ考ヘテ、民間ニ非常ナ後援のナ熱情ガアル時ニ、僅カ十日ノ間ニ給付ノ權利ヲ失フト云フコトハドウカト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テノ政府ノ所信ヲ先ヅ伺ヒタイト思ヒマス

ト致シテ居ルノデアリマシテ、下船ノ手續ヲ執ツテ陸上ヘ上リマスレバ被保險者デハナクナリマスノデ、果シテ疾病、負傷ガ被保險者ノ期間中ニ發生シタカドウカト云フ點ヲ事務的ニハツキリ致シマス爲ニハ、二十八條ノ二ノ如キ規定ガナケレバ運用ガ付カナイ問題デアリマスノデ、已ムヲ得ズ事務的ノ必要カラ二十八條ノ二ヲ説ケタノデアリマス、是ハ現在ニ於キマシテモアルノデアリマスルガ、法令ノ整備ノ關係上法律ニ上ゲラレタノデアリマシテ、御話ノ通り喪失後十日以内ニ給付ヲ受ケナケレバナラヌコトニハ一應致シテ居リマスルケレドモ、餘リニ畫一的ニナリマシテハ如何カト思ヒマスノデ、但書ガ附ケテアリマシテ、已ムヲ得ザル事由ガアリマス時ニハ十日ヲ過ギマシテモ支障ガナイト致シテアリマスノデ、其ノ但書ノ運用ニ依ツテ、決シテ船員保險ガ船員ニ對シテ冷タイト云フヤウナ結果ハ起キナイヤウニ十分考慮スル積リデアリマス

○平井政府委員 只今、今回ノ船員保險法ノ改正ハ船員ノ現在ノ勞務ニ對應シテハ餘リニ不十分デハナイカト云フ御話ガアリマシタガ、社會保險トシテノ船員保險ノ分擔シマス範圍ハ自ラ限度ガアルノデアリマシテ、船員ニ對スル優遇、待遇改善、總テテ社會保險デ行ヒマスコトハ不可能デアリマスノデ、吾々トシテハ船員保護ノ一翼ヲ成シテ居ル社會保險トシテノ立場ニ於テ最善ノ案ヲ考ヘタ積リデアリマス、更ニソレニ關聯致シマシテ二十八條ノ二ノ點ニ付テ御質問ガゴザイマシタガ、是ハ純然タル事務的ノ規定デアリマシテ、御承知ノ通り船員保險ニ於テ被保險者ト申シマスノハ、船員

法上乘船ノ手續ヲ執リ、下船ノ手續ヲ執リ、其ノ船ニ乗込シテ居ル期間ヲ被保險者ト致シマス、今ノ期間ノ十日ノ點デアリマス、但書ガアルコトニ依ツテ相當報イ

福利施設ノ點デ更ニ當局ノ所信ヲ伺フコトニ致シマス、今ノ期間ノ十日ノ點デアリマス、但書ガアルコトニ依ツテ相當報イ

福利施設ノ點デ更ニ當局ノ所信ヲ伺フコトニ致シマス、今ノ期間ノ十日ノ點デアリマス、但書ガアルコトニ依ツテ相當報イ

ノデハナイカト云フコトデアリマスガ、在  
來ノ實情カラ申シマスルト、船員ガ手續ニ  
不慣レノ爲ニ往々サウシタ期間ヲ失フコト  
ガアツタ譯ナノデアリマス、又下船後ニ於  
ケル所ノ病名ノ變更或ハ再發ナドニ關シマ  
シテハ、中々容易ニ給付ガ受ケ難イノデア  
リマス、斯ウ云フ點ニ付テノ在來ノ實績、  
或ハ其ノ在來ノ實績ニ基ク當局ノ將來ニ對  
スル對策ニ付テ伺ヒタイト思イマス

○平井政府委員 御話ノヤウナ事情ガ、全  
國ニ於キマシテ船員保險ノ施行ヲ致シテ居  
ル關係上或ハアリ得ルカトモ思フノデアリ  
マス、吾々ト致シテモ絶無デアルトハ申上  
ガ難イノデアリマスルガ、最近モ地方ニ通  
牒ヲ發シマシタシ、更ニ又日本醫師會ヲ通  
ジマシテ保險醫ノ方面ニ注意ヲ促シマシテ、  
苟クモ被保險者デアル期間ニ起キマシタ傷  
病ニ付キマシテハ、給付ガ受ケラレナイト  
云フヤウナ結果ガ出來ナイヤウニ最善ノ努  
力ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、今後ト雖  
モサウ云フ事例ガ相當アリマサウナ場合  
ニ於キマシテハ、更ニ一層地方ノ事務當局ニ通  
牒ヲ發シ、或ハ診療ヲ致シマス保險醫ニ注  
意ヲ促シマシテ、先程申シマシタヤウニ被  
保險者タル期間ニ發生シマシタ傷病ニ付キ  
マシテハ、必ズ法ノ命ズル保護ヲ與ヘルヤ  
ウニ致シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○田中(藤)委員 大體當局ノ所信ハ了承致  
シマシタガ、結局此ノ二十八條ノ二ノ但書  
ノ「已ムコトヲ得ザル事由アルトキハ此ノ  
限ニ在ラズ」ト云フ條項ヲ寧ロ寛容ニ一  
原則的ニ期間ハ一應斯ウ決メテアルノダガ、  
申出ガアレバ出來ルダケハ但書ニ依ツテ  
律シテヤラウト云フ親心ガ必要ダト吾々考

ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テ將來  
ノ取扱上是非サウシタ親心ニ依ツテ處置セ  
ラレンコトヲ要望致シマス  
ソコデ私ハ更ニ問題ヲ轉ジマシテ、第二  
十八條ノ四ノ所謂保險醫、藥劑師ノ指定方  
針デアリマス、之ヲ伺ヒタイ、在來ノ事情  
カラ致シマス、或ハ相當其ノ地方ニ於ケ  
ル權威アル醫師ナドガ指定サレテ居ルヤウ  
デアリマスルケレドモ、被保險者カラ見ル  
トドウモ物足りナイ、所謂一流ノ専門醫  
ハ指定漏レダト云フノガ非常ニ多ノデハナ  
イカ、サウ云フ關係折角ノ保險給付ヲ受  
ケ得ル状態ニアリナガラ、自費ヲ以テ自分  
ノ信賴スル醫師或ハ病院ニ入院シナケレバ  
ナラヌト云フコトモ往々アツタノデアリマ  
ス、隨テ此ノ保險醫、藥劑師ノ指定ト云フコ  
トハ極メテ重大デアリマス、此ノ點ニ付テ  
ノ方針ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○平井政府委員 保險醫ノ指定ニ付キマシ  
テハ、來年度カラ此ノ保險醫ノ制度ガ實質  
的ニ、根本的ニ改正ニナルコトハ御承知ノ  
通りデアリマス、從來ハ醫師會ニ引受ケ  
シメマシテ、開業醫ノ中デ希望スル者ガ保險  
醫ニナツテ、各種ノ社會保險ノ診療ニ從事  
致シテ居リマシタガ、來年四月カラハ法律  
ノ改正ノ結果、保險醫ハ地方長官ガ一方  
ニ指定スルト云フコトニ相成リマシテ、建前  
ノ上カラ申シマスナラバ、必要ナ開業醫ニ  
付キマシテハ、地方長官ガ本人ノ同意ノ有  
無ニ拘ラズ、一方的ニ保險醫タルコトヲ指  
定スル、然ル時ニ開業醫師ハ正當ノ理由ノ  
ナイ限りハ之ヲ拒ムコトガ出來ナイト云フ  
義務的ニ相成ツテ參ツタノデアリマス、是  
ガ運用ニ付キマシテハ色々考究シマシタ結  
果、本人ニ全然其ノ意思ガナイ場合ニ、一

方的ニ保險醫ヲ指定致シマシテモ、保險醫  
タル職責ヲ十分果シテ貫ヒ得ナイ疑ヒモア  
ルノデアリマスノデ、先ヅ原則ト致シマシテ  
ハ、本人ノ意思ヲ尊重シテ保險醫ヲ指定シテ  
行キタイト考ヘテ居リマス、但シ從來ノヤウ  
ナ純然タル本人ノ自由意思ニ任サレテ居ル  
モノデモアリマセヌシ、法律ノ改正ニモナ  
リマシタシ、更ニ又日本醫師會、齒科醫師  
會ガ政府ト表裏一體ニナツテ、國策ニ順應  
シテ醫療報國ヲナスヤウニ醫師會、齒科醫師  
會ノ改組モ行ハレマシタ機會デアリマスノ  
デ、恐ラク開業醫師ハ進ンデ保險醫ニナル  
コトヲ同意セラレルモノト思フノデアリマ  
シテ、先ヅ一段トシマシテハ、左様ニ保險  
醫ノ意思ヲ尊重シテ指定シテ參リタイト思  
フノデアリマス、但シ本人ガサシテ希望シ  
ナイ場合ニ於キマシテモ、社會保險ノ診療  
上下ウシテモ此ノ開業醫師ヲ保險醫ニシタ  
イト云フ、已ムヲ得ナイ必要ガアリマス場  
合ニ於キマシテハ、地方長官ガ一方的ニ本  
人ノ同意ノ有無ニ拘ラズ指定スルトモア  
リ得ルノデアリマスケレドモ、先ヅ原則ト  
シマシテハ保險醫ノ意思ヲ尊重シテ指定シ  
テ行キタイト考ヘテ居リマス、是モ先程申  
シマシタヤウニ從來ノ情勢トハ違ヒマシテ、  
醫師會ノ改組モアリ、法律改正ノ結果モア  
リ、順調ニ保險醫ノ指定ガ行ハレルモノト  
確信致シテ居リマス、現在ニ於キマシテモ、  
保險醫ハ船員ノ保險醫モ、健康保險ノ保險  
醫モ、國民健康保險ノ保險醫モ總テ社會保  
險ノ醫療ヲ擔當スル醫師ハ共通ニ致シテ居  
リマシテ、全國デハ恐ラク八割餘モ開業醫  
師ガ關與シテ居リマスノデ、サウシテ支障  
ハナイト思ヒマスルシ、將來ニ於キマシテ  
ハ其ノ心配ハ恐ラクナイモノト考ヘテ居リ

○田中(藤)委員 大體諒承致シマシタガ、  
結局是ハ本人ノ意思ヲ尊重スルト云フコト  
ニナリマスルト、所謂流行ツ兒ト言ヒマス  
カ、權威アル醫師ハ成ルベク面倒ナコトハ  
避ケタイト云フノガ多イノデハナイカ、從  
來ニ於テ或ハ權威アル醫師ガ指定カラ逸脫  
サレテ居ルト云フコトハ、サウ云フ點ニア  
ルノデハナイカト思フノデアリマス、サウ  
云フ譯デアリマスノデ、是ハ寧ロ開業醫全  
體ヲ指定スルト云フヤウナ積極的ナ方策ヲ  
執ツテ、サウシテ眞ニ保險醫タル使命ヲ果  
シ難イヤウナ場合ニ於テ、之ヲ寧ロ除クコ  
ト云フ積極的態度ノ方ガ、指定ヲ受ケルコト  
ガ光榮ダト云フコトニナルノデハナイカト  
思フノデアリマス、サウ云フ譯デアリスマ  
ノデ、本人ノ意思ヲ尊重スルト云フヨリモ、  
全醫ヲ指定醫トシテ指定スル、サウシテイ  
カヌノハドシノ拔イテシマフ、斯ウ云フ  
態度ヲ執ラレベキデアリナイカト思フノデア  
リマス、斯ウ云フ點ニ付テノ所信ヲ先ヅ伺  
ヒタイノデアリマス

○平井政府委員 開業醫師ヲ全部保險醫ニ  
一應指定スルト云フヤウナ御意見デアリマ  
シテ、吾々ト可ナリ其ノ點ニ御共鳴申上ダ  
ルノデアリマスルケレドモ、實ハ非常ニ難カ  
シイ問題ガアリマス、ソレハ左様ニ地方長  
官ガ一方的ニ開業醫師ヲ保險醫トシテ指定  
致シマス場合、其ノ診療ニ要スル經費ヲ如  
何ヤウニシテ拂フカ、診療費ノ支拂ノ基準  
デアリマスガ、其ノ基準ヲ法令ノ規定スル  
所ニ依リマス、厚生大臣ガ決定スルト云  
フコトニ相成ツテ居リマス、勿論醫師會、  
齒科醫師會ノ意見ヲ聽イテ、厚生大臣ガ決  
定スルト云フコトニナツテ居リマスガ、其

ノ診療費ノ決定ガ事務的、技術的ニ非常ニ難カシイ問題モアリマスルシ、更ニ又本人ニ全然保險醫タルノ意思ガナイモノヲ強制シテ保險醫ニ致シマシテモ、其ノ結果ハ如何デアラウカト云フコトノ懸念モアリマスノデ、吾々ト致シマシテハ、醫師會ノ改組ヲサレテ、各醫師ハ總テ國策ニ順應シテ醫療奉公ヲシテ戴クヤウナ情勢ニナツテ居リマスノデ、更ニ一段ト開業醫師ノ御諒解ヲ得ルヤウニ努力致シマシテ、出來ルダケ圓滿ニ保險醫ヲ指定シテ行キタイト考ヘテ居リマス、本年マデト、來年度以降トノ制度ニ於テ非常ニ變ツテ居リマスルシ、醫師會改組、其ノ他ノ事情カラモ空氣ガ非常ニ變ツテ居リマスノデ、御話ヲスレバ開業醫ノ方ガ保險醫ニナツテ戴クタイト云フヤウナコトハ恐ラクタイト思ヒマスノデ、吾々ハ最善ノ努力ヲ拂ヒマシテ、開業醫師ノ全部ガ御話ノヤウニ圓滿ニ保險醫ニナツテ貫ヘルヤウニ、出來ルダケノ努力ヲ拂ツテ行キタイト、左様ニ考ヘテ居リマス

○田中(藤)委員 只今ノ問題デアリマスルガ、結局此ノ診療費問題ガ痛ダト云フ風ナ御考ヘノヤウデアリマス、是ハ成程サウダト思ヒマス、從來ノ健康保險醫ガ僅カナ治療費ニ依ツテ、忙ガシイ所ヲ更ニ忙ガシクサレテハ是ハ大變タ、斯ウ云フコトデ所謂被保險者カラモ可ナリ非難ガアツタコトハ是ハ事實デス、併シナガラ此ノ問題ハ醫師ガ醫師タルノ本然ノ任務ヲ悟ルナラ、是ハ問題ナイ譯デアアル、サウシタ醫師ハ現ニ居ラナイト思フ、治療費、經費ノ爲ニ診療ヲ拒ムト云フコトハ是ハアリ得ナイト思フ、醫ハ仁術ナノデアアル、サウ云フコトハ今更申上ダルマデモアリマセヌガ、苟クモ患者ガアル、

サウシテ診療ヲ求メル、是ハ經費ニ拘ラズ治療スベキデアリマス、往診スベキデアリマス、診察スベキデアアル、投薬スベキデアアル、是ハ醫師ノ任務デアアル、ダカラ指定ヲ受ケテモ受ケナクテモ、治療ヲ要求セラレレバ當然サウセナケレバナラヌノガ醫師ノ任務デアアル、ダカラサウシタ問題ハ私ハ寧ロ心配ハナイノデハナイカト思ヒマス、併シナガラ醫者モサウシタ治療費、經費ニ依ツテ、所謂生活ヲ自己責任ノ原則ニ依ツテヤツテ居ルノデスカラ、只働キハ氣コトハ、是ハ必要ダト思ヒマス、隨テ例ヘバ民間ニ於ケル顧問ト云フヤウナ形ニ於テ、指定醫ニ對シテハ月額相當ナモノヲ與ヘテ、サウシテ治療費、診療費等ハ極ク低額ニ於テ交付スルト云フヤウナコトニスベキデハナイカト思ヒマス、即チ顧問醫ト稱スルガ如ク、一定ノ月額ヲ與ヘテ指定スルト云フコトガ、眞ニ醫師ヲ遇スル法デハナイカト私ハ思フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テノ御方針ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 保險醫ノ問題ハ今保險局長ノ二回ニ互ツテ御答ヘシタ通りデアリマス、是ハ船員保險バカリデナシニ、各種ノ社會保險ニ共通ナモノデアリマス、御趣旨ハ能ク了解シマシタ、昨年議會ノ協賛ヲ經テ健康保險、職員健康保險等ニ付キマシテ、此ノ指定制度ヲ執ツタバカリデアリマス、御承知ノ通り此ノ兩三年後ニ全國民ガ漏レナク社會保險ニ加入スルト云フ時代ガ參リマス、御趣旨ノヤウナコトガ自ラ實現スルコトニナルダラウ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、政府ノ制度ト致シマシテハ是デ結構ダト思ツテ居リマス

○田中(藤)委員 只今次官ハ各社會保險ノ共通ノ制度トシテノ指定醫ノ問題ヲ御答辯ニ相成ツタ譯デアリマスガ、此ノ點私研究不足デ能ク分リマセヌガ、全國民大衆ガ所謂社會保險ニ依ツテ一切ノ給付ヲ受ケルト云フヤウナ状態ニ達スルト云フコトハ、是ハ極メテ結構ナコトダト思ヒマスルガ、併シナガラソレハ現在ノ例ヘバ健康保險制度デアリ、或ハ國民健康保險制度、或ハ勞働者災害保險、或ハ勞働保險等ノ綜合的ナ共通制度トシテノ問題デアナイカト思フノデアリマス、併シナガラ現在ノ健康保險ト云フモノガ全國民大衆ニ行渡ツテ居ルカト云ヘバ、必ズシモサウデアハリマセヌ、恐ラク其ノ實績カラ見マスルナラバ、國民ノ一部分デハナイカト思フノデアリマス、結局是ハ國民ソレソレノ負擔ノ問題モアリマシテ、サウ簡單ニ私ハ參ラナイデアハナイカト思ヒマス、若シ一步ヲ進メテサウシタ保險料ノ負擔ガ非常ニ輕減サレルト云フヤウナ場合ニ於テハ、或ハ國民大衆ニサウシタ社會保險制度ガ行渡ルカモ知レマセヌケレドモ、現在ノ保險制度ノ下ニ於テハサウシタ全國民ニ普及スルト云フヤウナコトハアリ得ナイデアハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 政府ト致シマシテハ結構對策ニ關スル大キナ國家意思ヲ決定シテ居リマシテ、御承知ノ通りココ兩三年ノ中ニ全國民漏レナク國民健康保險組合ニ加入スルヤウニ措置ヲ致シテ居ル譯デアリマス、現ニ明年度ニ於キマシテハ農山漁村ニ於テ千六百人ト云フモノヲ目當ニ、國民健康保險組合ヲ作ラウトシテ居リマス、大體明年度中ニ農山漁村民ハ漏レナク國民健康保險ニ入ルダラウト思ヒマス、斯様ニ致シマスアト二三年デ全國民ガ入ルコトニナル、只今ノ國策ガ實行サレル限りニ於キマシテ、速クニ全國民ノ社會保險ガ實現出來ルノデアリマス、斯様ニ致シマス、最初ニ田中委員ガ御述べニナリマシタヤウニ、全國ノ醫師ガ此ノ國民保險ニ協力セザルコトハアリ得ナイト思ヒマス、私ハ御懸念ノコトハナクナルダラウト思ヒマス

○田中(藤)委員 只今全國民ニ對スル健康保險ノ普及ト云フ問題ニ關聯致シマシテ、醫師ノ指定制度ノ關係デアリマス、只今醫師ノ指定制度ノ關係カラサウシタ問題ニ及ンダノデアリマスガ、サウシタ醫師ノ指定ノ場合ニ、醫師ニ對スル待遇ナドハドウ云フ御考ヘデセウカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○平井政府委員 保險醫ノ醫療制度ハ非常ニ大キナ問題デアリマシテ、十八年前ニ社會保險ノ濫觴ト致シマシテ、健康保險ガ初メテ生レテ實施セラレマシタ當時ニ、關係者ノ間ニ大キナ問題ヲ提供致シタノデアリマス、之ヲ他ノ外國ニアル例ニ依リマシヤウニ、囑託醫制度ニスルカ、或ハ自由選擇主義ヲ採用スルカト云フ非常ニ大キナ問題ガアツタノデアリマス、其ノ議論ノ結果現在ハソレ以來ズツ踏襲シテ居リマス自由選擇主義ヲ採用シテ居ル譯デアリマシテ、開業醫五方アレバ五方、六方アレバ六方、總テノ人が、本人ガ希望サヘスレバ保險醫ニナレル、隨テ被保險者ハ制度ニ於テ掛ル醫師ヲ制限セラレルコトナクシテ、開業醫師ノ中デ自分ノ希望スル人ニ診療ヲ受ケルコトガ出來ルト云フ、自由選擇主義ヲ採

用シマシテ、或ル制度、即チ船員保險ニ於テハ此ノ人ト此ノ人ガ保險醫デアル、或ハ健康保險ニ於テハ是ダケノ人ガ保險醫デア

ソレ等ノ制度ニ依ツテ一定ノ保護ヲサレテ居ル譯デアリマスガ、ソレカラ除カレマ

サウシテ事情已ムヲ得ナイ場合ニハ、ユトリヲ付ケテソレノ點數ヲ増スト云フヤ

ヘテ居リマス、此ノ九箇月ノ期間ハ期間トシテハ必ズシモ私短カイトハ申上ガマセ

簡月ニ致シタノデアリマシテ、非常ニオ氣  
ノ毒ナ場合ガアリ得ルノハ結核ノ場合デア  
リマシテ、結核性疾患ニ付キマシテハ法令  
ノ示シテアリマス通りニ、更ニ六箇月間延  
長致シマスノデ、通算致シマスト一年三箇  
月間結核ニ付キマシテハ船員保險デハ療養  
ノ給付ヲ致シマス、一箇年ニ致シマスト結  
核ノ九〇%ハ統計的ニ救ハレテ來ルデアリ  
マシテ、船員保險ニ於テ一年三箇月ニ相成  
リマス場合ニ於キマシテハ、結核性疾患ノ  
大部分ハ之ニ依ツテ保護サレルコトニナル  
ノデハナイカト考ヘテ居リマシテ、要スル  
ニ短期保險ニ於キマシテハ六箇月、或ハ例  
外的ニ九箇月、若シクハ結核性疾患ニ付テ  
ハ一年ト云フコトガ、大體適當デアリヤウ  
ニ吾々考ヘテ居ルノデアリマス

○田中(藤)委員 大體分リマシタ、併シナ  
ガラ結核ノ例カラ申シマスルト、僅カデモ  
尙ホ救ハレナイモノガアルト云フコトハ事  
實ナンデス、斯ウ云フ場合ニ於ケル救済方  
法ガアツテモ宜イノデヤナイカ思フノデ  
アリマス、是ハ本人ノ爲ト云フヨリハ國家  
ノ爲デス、隨テ此ノ點ニ付テハ何カ但書ト  
カ例外的ナ措置ヲ講ズル方法ハアリマス  
イカ、此ノ點ニ付テ御所信ヲ御伺ヒ致シマ  
ス

○平井政府委員 御答ヘ致シマス、一年三  
箇月ニ致シマシテモ尙ホ治癒シナイデ療養  
ガ打切ラレルト云フ場合ハ少イト思ヒマス  
ケレドモ、絶無デハナイト思フノデアリマ  
ス、併シ現在ノ法令ノ建前カラ申シマシテ、  
法制的ノ給付ハ考ヘル餘地ガアリマセヌ、  
但シ船員保險法ノ改正ヲ今回致シマシテ、  
福祉ニ關スル施設ヲスルコトガ出來ルヤ  
ウニ致シタイト考ヘテ居リマスノデ、ソ

レ等ノ事業ニ依リマシテ、法定給付デア  
リマセヌケレドモ、一年三箇月給付シテ、尙  
ホ治癒シナイデ非常ニ御困リナ場合ガアリ  
マスナラバ、福祉施設トシテソレモ、考究  
シテ見テモ宜イト考ヘテ居ルノデアリマス  
○田中(藤)委員 法定給付ニアラザル福祉  
事業トシテ給付セラレルト云フコトデア  
レバ、ソレハ結構ダト思ヒマス、是非サウ云  
フ制度ノ實現ヲ望ミマス、尙ホ此ノ三十二  
條ノ所謂主務大臣ノ指定疾病、是ハ多分結  
核ダケダト思ヒマスガ、更ニ例ヘバ神經痛  
ノ如キモノヲ指定スル御意思ガアリマセヌ  
デセウカ

○平井政府委員 只今ノ所各種ノ社會保險  
ニ於キマシテ、延長給付ヲ認メテ居リマス  
ノハ結核性疾患ノミデアリマシテ、結核撲  
滅ノ國策ノ決定ニモアリマシタヤウナ事情  
モアリマスノデ、社會保險モ社會保險ノ立  
場ニ於キマシテ、結核撲滅ニ協力スルト云  
フ意味合カラ、各社會保險ガソレモ、結核  
性疾患ニ付キマシテ延長給付ヲ致シテ居  
マスシ、又致サントシテ居ルモノモアルノ  
デアリマシテ、現在ノ所結核性疾患ノミヲ  
指定致シタイト考ヘテ居リマスガ、尙ホ船  
員ニ特別ノ疾病ガアリマシテ、其ノ疾病ガ  
著シク長期ノ治療ヲ要スルト云フモノガ  
リマスナラバ、吾々トシテハ將來ノ問題ト  
シテ、ソレモ、調査研究シタ上ニ於テ考究  
ラシテ見タイト考ヘテ居リマス

○田中(藤)委員 大體了承致シマシタガ、  
此ノ指定疾病ニ付テハ、寧ロ醫師ノ認定ニ  
依ツテ主務大臣ガ之ヲ認可スルト云フヤウ  
ナ建前ニ於テ、相當長期ニ互ル疾病ニ對シ  
テハ療養ノ完璧ヲ期スルト云フヤウニ將來  
御考究ヲ願ヒタイト思ヒマス、此ノ點ハ是

非政府ニ望ンデ置キマス  
ソコデ其ノ次ニ御伺ヒ致シタイコトハ、  
今度ノ改正ニ出テ居リマセヌガ、第一條ノ  
所謂療養給付ノ家族ニ及ボス意思ガナイカ  
ドウカト云フコトデアリマス、是ハ健康保  
險法ノ第一條ニ於テモ、被保險者ノ同一世  
帯ニ屬スル家族ニ付テハ療養給付ヲナス  
云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、  
此ノ船員保險ニ於テ特ニ斯ウ云フ點ガ除カ  
レテ居ル理由ハドウ云フ點ニアルノデセウ  
カ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○平井政府委員 船員保險法ヲ制定致シマ  
ス當時カラ非常ニ議論ノアリマシタ一ツハ  
船員ノ家族ニ對シテ給付ヲ致シタラドウカ、  
特殊ノ意味合カラ左様ナ意見ガ非常ニ闊ハ  
サレタノデアリマス、ソコデ政府ト致シマ  
シテハ、以來家族ニ對スル給付ヲ開始シタ  
イト云フ氣持ヲ以テマシテ調査研究ヲ進  
メテ參ツテ居リ、現ニ致シテ居ルノデアリ  
マスガ、船員ノ家族ニ對スル給付ヲ始メマ  
スニ付キマシテハ、工場鑛山ノ労働者ノ狀  
態ト違ヒマシテ、事務的ニ、技術的ニ非常  
ニ困難デアリマシテ、是ハ詳シク申上ゲマ  
スト御諒解ガ行クカトモ思ヒマスガ、御承  
知ノ通りノ船員ノ特殊性ニ鑑ミマシテ、其  
ノ家族ニ給付ヲ致スト云フコトハ、技術的  
ニ事務的ニ非常ニ問題ガアリ、困難ナ事情  
ガアリマスノデ、一定ノ成案ガ今尙ホ得ラ  
レナイト云フ状態ニアルノデアリマス

○田中(藤)委員 御研究中ト云フコトデア  
リマスガ、併シナガラはハ迅速ニ片付ケテ  
戴キタイ問題ダト思ヒマス、私ガ申上ゲル  
マデモナク、船員ハ今ヤ生命ヲ賭シテ海上  
作戦ニ、或ハ海上輸送ニ健闘シツツアルノ  
デアリマス、是ガ後顧ノ憂ヘガアツタノデ

ハ、眞ニ其ノ船員トシテノ使命ヲ果スコトハ  
私ハ出來ナイト思ヒマス、詰リ船員ヲシテ  
後顧ノ憂ヘナカラシムル爲ニハ、ドウシテ  
モ此ノ家族ニ關スル療養給付ト云フコトガ  
緊要デアリ、絶對必要ダト思ヒマス、ソコ  
デ斯クノ如キハ事務的ノ困難モアリマセウ、  
經費ノ問題モ伴ヒマセウ、併シハ勇氣ヲ  
以テヤレバヤレスコトハアリマセヌ、ソコ  
デ速カニ是ハ成案ヲ得テ、少クトモ此ノ次  
ノ議會、或ハソレマデニ御提案戴クヤウナ  
方法ヲ講ジテ戴キタイト思ヒマス、此ノ點  
ニ付テノ次官ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマ  
ス

○武井(群)政府委員 船員保護ノ重要性ニ  
付キマシテハ御説ノ送リデアリマス、而シ  
テ家族給付ノ點ニ付キマシテハ、先程來局  
長ノ述べタ通りデアリマス、重要性ニ付キ  
マシテハ一層加重セラレタコトデアリマス  
ノデ、更ニ鋭意研究ヲ急グコトニ致シマス  
○田中(藤)委員 只今ノ問題ハ是非急イデ  
解決ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ置キ  
マス

其ノ次ニ御伺ヒ致シタイコトハ、是ハ此  
ノ改正案ニ出テ居リマセヌガ、第五十條ノ  
死亡手當ノ問題デアリマス、死亡手當ノ給  
付ニ付キマシテハ、三年以上ノ被保險者タ  
ルコトガ必要デゴザイマス、併シナガラ斯  
ウシタ期間ノ限定ト云フコトハ、被保險者  
ニ取ツテハドウモ淋シイ感ジガスルノデハ  
ナイカト思ヒマス、苟クモ被保險者デア  
ル以上ハ、死シタナラバ其ノ遺族ニ對シテ多  
少ノモノガ與ヘラレテ宜イノデハナイカ、  
健康保險其ノ他ニ於テハ、埋葬料其ノ他ノ  
名義デ人情ニ依ツテ適當ニ支給セラレル途  
ガ講ゼラレテ居ルト思ヒマスガ、船員保險

ニ於テハ、私調ベテ見マシタガ、此ノ點ガドウモ見當リマセヌ、ドウ云フモノデセウカ、此ノ點ヲ伺ヒタイ

○平井政府委員

現在ノ制度ニ於キマシテハ、死亡手當金ハ三箇年被保險者デナケレバ支給シナイト云フコトニ相成ツテ居ルノデ、之ヲサウ云ツタ資格條件ヲ附サナイデ、死亡シタ場合ニ於テハソレモ、給付ヲ致シタラ如何デアラウカ、斯ウ云フ御質問デアラウト思フノデアリマシタガ、實ハ最近ノ死亡者ノ状態ハ極メテ秘密ニセラレテ居リマシテ、吾々ト雖モ十分知り得ナイノデアリマス、隨ヒマシテ先般或ル委員カラ資料ノ御要求モアリマシタガ、船員ノ死亡者ノ數ハ申上ゲテ居ナイ譯デアリマス、ソコデ船員ノ三箇年未滿ノ死亡ニ對シ保險給付ヲ致シマス場合ニ於テハ、當然ソレダケ保險金ノ方ニ響イテ來ル譯デアリマス、保險料ヲ彈キ出ス爲ニハ、大體實情ガドウ云フ狀況ニアルカト云フコトガ分リマセスト、保險料ヲ算出スル譯ニモ參ラナイノデアリマス、サウ云ツタ事務的ナ困難ガアリマス外ニ、

現在ニ於テ戰爭ニ伴フ船員ノ死亡ニ付キマシテハ、單ニ徵用セラレマシタ船員デアリマス場合ニ於キマシテハ特別ノ賜金ノ制度ガアリマスシ、又戰時海運管理令ニ依リマシテ徵用セラレマシタ船員ニ付キマシテハ、其ノ管理令ニ基イテ死亡ニ對スル相當額ノ一時金モアリマスシ、其ノ爲ニ家族ガ生活ニ困ルト云フ場合ニ於キマシテハ、戰時海運管理令ニ依リマシテ家族ノ扶助ガモ見テ居ルノデアリマシテ、戰時ニ於キマシテ船員ガ亡クナリマシタ場合ニ於キマシテハ、ソレノ制度ニ於キマシテ或ル程度ノ保護ガ加ヘラレテ居リマス關係モアリマスノ

デ、先程申シマシタヤウナ事務上ノ困難サモアリマスルカラ、今回ハ改正致サナイデ、從來通り三年間ノ資格ヲ要スルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス

○田中(藤)委員

戰時ノ特例トシテソレノ國家トシテ遇スル方法ガアルト云フコトデアリマス、ソレハ勿論左様デゴザイマセウ、又斯ウシタ死亡手當算出スル基礎ニ付テモ秘密ニサレテ居ル關係デ困難ダト云フコトモ尤モダト思ヒマス、併シナガラ制度トシテ、期間ニ拘ラズ死亡手當ヲヤルノダト云フコトヲ示スコトガ、遺族ニ對スル一ツノ慰藉ト申シマスカ、喜ンデ海員トシテ働イテ戴クト云フ感ジヲ起サス方途デハナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フ譯デアリマスノデ、他ノ色々ノコトデ償ハレルト致シマシテモ、船員保險ハ船員保險トシテ斯様ナ死亡手當ノ制度ガアル以上ハ、普ク及ボスベキデハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ對スル所信ヲ更ニ承ツテ置キマス

○平井政府委員

最初ニ船員保險ヲ目論見ミマス場合ハ別ト致シマシテ、色々制度ヲ起シマス場合ニ於キマシテハ、特別ナ會計ニモ相成リマシテ、收支ヲ彈キ出シテ制度ヲ行フノデアリマスノデ、現在デハ先程申シマシタヤウニ三年間被保險者デアツタ場合ニ死亡手當金ヲ支給スル、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマシテ、只今ノ所ハ吾々トシテ此ノ三年間ノ資格期間ヲ撤廢致シマシテ、船員トナツタ翌日死亡シテモ死亡手當金ヲ支給スルコトニ致スト云フ御約束ハ致シ難イノデアリマスルガ、尙ホ色々情勢ヲ見、且又ソレノ資料ヲ研究致シマシテ、著シク負擔ノ増加ヲ來サ

ナイト云フヤウナ見透シノ付キマシタ場合ニ於キマシテハ、十分考慮シタイト思ヒマス

○田中(藤)委員

只今ノ問題ハ議論ニナリマスカラ、是以上追究ハ致シマセヌ、是非サウシタ條件ノ撤廢ニ進マレンコトヲ望ンデ置キマス、只今保險料算出ノ基礎ノ問題デ御話ガアツタノデアリマスガ、ドウ云フ基準ニ依ツテ保險料ヲ算定サレテ居ルカ、斯ウ云フ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○平井政府委員

現在ニ於キマシテハ保險料率ハ標準報酬一圓ニ付テ八錢二厘、百圓ニ付テ八圓二十錢、斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、此ノ保險料ヲ事業主ト船員ト折半負擔ニ相成ル譯デアリマス、但シ今度ノ改正法ガ實施ニ相成リマス場合ニ於キマシテハ、船員法上ノ扶助ヲ保險ニ取入レマシタノデアリマスカラ、大體ノ見當ハ一圓ニ付テ十錢ニシテ、ソレヲ四錢ト六錢ニ負擔ヲ致シマシテ、船主ヲ六錢、船員ヲ四錢、斯様ニ致シタイト考ヘテ居リマス

○田中(藤)委員

私ノ御伺ヒシタノハ、其ノ保險料ノコトデハナクシテ、サウシタ一圓ニ付テ四錢或ハ六錢ト云フ保險料ヲ算出サレタ基礎、ソレヲ御伺ヒシタイノデス

○菊池(武)政府委員

死亡手當金ノ保險料ノ算出方法ハ、千人ニ付キマシテ死亡率八人ト云フ計算ヲ以テヤツテ居リマス

○田中(藤)委員

此ノ保險料算出ノ問題ハ議論ハ致シマセヌガ、只今ノ死亡手當算出ノ基礎トシテノ千人ニ對スル八人ノ死亡率ト假ニ致シマスト、假ニ百圓ツツノ死亡手當ヲ出シテモ十六萬圓ナンドアル、

(小泉委員長代理退席、委員長着席)

現在ノ保險料ノ積立金ノ状態ハ、大體十七年度ヲ合セマス、恐ラク二千五、六百萬圓ノ金ガアルデヤナイカト思ヒマス、殊ニ所謂運用ノ收入ト云フモノガ今年度ニ於テハ八十七萬二千圓ヲ計上サレテ居ル譯ナンドアリマス、サウ云フ點カラ見ルト、僅カ十六萬圓位ノ死亡手當ニ依ツテ保險ノ經理、保險ノ財源ニ付テ困難ヲ感ズルト云フコトハアリ得ナイト思フノデス、サウ云フ譯デアリマスカラ此ノ問題ハ更ニ御研究ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○平井政府委員

實ハ御言葉ヲ返サヤウデ

恐縮デゴザイマスガ、船員保険ノ積立金ト申シマスノハ純然タル剩餘金デハゴザイマセヌ、健康保険ノ如キ短期保険ニ於キマシテハ、積立金ガ純然タル剩餘金デゴザイマスケレドモ、船員保険ハ御承知ノヤウニ短期保険ト長期保険ト併セテ制度デゴザイマスノデ、長期保険、即チ年金ニ關スル一定ノ積立金ハドウシテモシナケレバナラスモノデアリマシテ、年金ノ開始ニナリマシタ時ニ手ヲ着ケマスカラ、一定ノ積立金ハドウシテモシナケレバナラス、其ノ責任積立金ト云フモノガ御承知ノヤウニ相當ノ額ニ達シテ居リマスガ、其ノ責任積立金ガアルカラト云ツテ之ヲ使フ譯ニハ參リマセヌデ、之ヲ使ヒマスト年金ガ始マリマシタ時ニ金ガナクテ支給ガ出來ヌ、斯ウ云フ責任ノドウシテモ積立テナケレバナラス金デアリマスノデ、是ハ使ヒ得ナイ金デアリマス、更ニ又今死亡者ノ數ハ千人ニ八人ト申シマシタガ、是ハ平時ニ於ケル統計デアリマシテ、最近ノ如キ状態ニ於キマシテハ八人デハ到底納マツテ居リマセヌ、數字ハ極秘ニナツテ居ツテ申上ガ兼ネマススケレドモ、中ソノナ程度デハ納マツテ居リマセヌ、相當死亡者ハ多イノデアリマス

見テ宜イノヂヤナイカト思フノデアリマス、隨テ財源ニ困ルト云フ意見ガ出タコトハドウカト思フノデアリマス、ソコデ私ハ議論シテ居ル譯デアリマスガ、是ハ是以上議論ハ致シマセヌ、ソコデ私ハ進ンデ伺ヒタイコトハ、今度ノ新シイ規定ノ福祉施設ニ關スル問題デアリマス、福祉施設ニ付テハ十八年度ノ豫算ノ示ス所ニ依リマス、所謂保養費、保健奨勵費、健康診断費等合セテ八万三千圓ヲ計上サレテ居ルノデアリマス、金額ニ於テハ極メテ少イ譯デアリマス、斯ウ云フコトデ眞ニ福祉施設ノ完璧ヲ期シ得ルカドウカト云フコトハ私ハ疑問ガト思フガ、先ヅドウ云フ福祉施設ヲナサツテ居ルカト云フコト及ビ將來ノ御方針ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○平井政府委員 福祉施設ノ御質問ニ付テ御答ヘ申上ゲマス、吾々ト致シマシテ、原則トシテ社會保險ハ單ニ病氣怪我ヲシマシタ場合ニ醫療ヲ加ヘ、休ンダ場合ニ手當金ヲ支給スル、斯様ニ致シマシテ速カニ病氣ヲ治癒セシメテ、一日モ早く産業ニ從事シテ貰フ、又生活ノ安定ヲ期スルト云フコトハ、是モ勿論大切ナ目的デアリマスケレドモ、ソレヲ以テ社會保險ノ目的ガ終始スルモノデハナイト思ヒマス、吾々ノ考ヘル所ニ依レバ、更ニ進ンデ病氣怪我ヲ少クスル、即チ健康ヲ保持増進スル、社會保險ノ條文ハ保健施設ト云フ事業ヲ大イニヤリマシテ、現有勞務ノ増強確保ヲ圖リ、戰時下最モ必要ナ戦力増強ニ社會保險モ寄與スルト云フコトガ一ツノ大キナ社會保險ノ使命ガト考ヘマシテ、來年度ノ各種社會保險制度ノ豫算ニ於キマシテハ健康保持増進ノ保健施設ノ經費ヲソレノ増額致シテ居ルノデアリマス、船員保險ニ於キマシテハ御承知ノ通り十三万人足ラズノ被保險者ノ保險デアリマシテ、特別會計ガ小サイノデアリマスカラ、自然福祉施設ノ金モ御話ノヤウニ少額デアリマス、現在行ツテ居リマスルモノハ全國ノ船ノ出入ノ多イ都市、三十九箇所ニ六十名餘リノ健康診断醫ト云フモノヲ囑託致シマシテ、船員ガ長ノ航海カラ上陸致シマシタ場合ニ健康診断ヲソコデシテ貰フ、疲勞ガ甚ダシクテ、保養ヲ要スルト云フ人ニ對シマシテハ十三縣ニ十四箇所ノ保養所ヲ設ケマシテ、其處ニ入ツテ戴キマシテ、心身ノ休養ヲ圖ツテ戴ク、最近モ吾等ノ方カラ職員ヲ派シマシテ寢食ヲ共ニシテ船員ト語ラシタノデアリマシテ、船員ガ數箇月ニ互ル危險區域ヲ航海シテ歸リマシテ、心身共ニ疲勞シテ居ル人ガ斯ウ云ツタ保養所ニ入りマシテ回復ヲ圖ルト云フコトニ付テハ、船員ハ非常ニ喜ンデ居ラレルヤウデアリマス、更ニ吾々ト致シマシテモノレゾレノ希望ヲ聽キマシテ、此ノ保養所ノ擴充強化ヲ圖リタイト思ヒマスガ、現在トシテハ十三縣ニ互リマシテ十四箇所ノ保養所ヲ設ケマシテ、毎月千人餘リモ此處ニ收容致シマシテ、心身ノ回復ヲ御願ヒシテ居ル譯デアリマス、又健康診断ノ結果、榮養劑ノ必要ナ方ニ對シマシテハ榮養劑ヲ支給致シテ居リマス、更ニ又船員ニ特別必要ナ豫防器具ノ配給ナドモ致シテ居リマス、吾等ト致シマシテハ此ノ保健施設モ一層財政ノ餘裕ノ付カ限リ擴充致シマシテ、病氣ニナツテカラノ療養ヨリモ、病氣ニナラナイヤウニ、怪我ニ陥ツテ戴カナイヤウニ、健康ヲ保持増進スルト云フコトニ努メタイト考ヘテ居リマス

更ニ今度ノ改正法ニ依リマシテ福祉施設ヲナシ得ル規定ヲ設ケタイト考ヘマスノハ、先程來御話ガアリマス長期保險ノ準備ノ積立金モ御話ノヤウニ段々増加致シテ參リマスノデ、此ノ積立金ヲ運用致シマシテ、積立金ノ保險經濟上ノ利率ハ比較的低位ノデアリマスカラ、是ガ運用ヲ圖リマス、ソコニ利鞘ガ出來マスノデ、更ニ其ノ金ノ運用ト云フ問題モアリマシテ、此ノ積立金ノ運用ニ依リマシテ、此ノ保健施設ヨリモ更ニ一歩進ンダ船員ノ福祉施設ノ擴充強化ヲ圖リタイ、其ノ爲ニコソ此ノ法律改正ヲ實ハ御願ヒシテ居ル譯デアリマス、大體吾等ノ考ヘテ居リマス福祉施設トシテハ、船員ノ老齡者ノ生活保護ニ關スル施設、或ハ痲疾船員ノ職業再教育ニ關スル施設、或ハ痲疾回復ニ關スル施設、痲疾ニナラレタ方ノ少シデモ機能ヲ回復シテ貰フヤウナ施設、或ハ生活相談、若シクハ授産、職業指導ニ關スル施設ト云フヤウナコトヲ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、船員保險ガ施行サレマシテカラ未ダ日ガ尙ホ淺イノデアリマシテ、積立金モ澤山アリマセヌガ、漸次増加シテ來テ居ルノデアリマシテ、船員保險ニ於テハ之ヲ船員ノ福利施設ニ使ヒタイ、斯様ニ考ヘマシテ、今回ノ法律改正ヲ企畫シタ次第デアリマス

○田中(藤)委員 只今ノ全國三十九箇所ニ六十人ノ健康診断醫ガ囑託サレテ居ルト云フコトデアリマスガ、六十人デ果シテ全部ノ船員ノ健康診断ガ完璧ニ行ハレレデセウカ、之ヲ先ヅ伺ヒタイ

○平井政府委員 十三万ニ近い船員ノ人ガ同時ニ上陸シテ全部健康診断ヲ受ケルトスルナラバ、恐ラク六十人デハ足りナイト思

ヒマスガ、最近ノ船ノ實情ハ御承知ノヤウニ、昔ニ比ベテ船員ノ乗船下船ノ回數ガ非常ニ少イノデアリマシテ、隨テ其ノ乗船期間ガ平時ノ場合ヨリモ著シク長クナツテ居リマス、サウ云フ關係デ内地ヘ歸ラレテ船カラ上ガラレタト云フ場合ニ、強制的デハアルマセヌデ、本人ノ希望ニ依ツテ診斷ヲ受ケテ貰ヒマスガ、現在ノ所ハ六十人デサシテ支障ハナイト見テ居リマスガ、勿論其ノ人數ガ不足デアレバ、吾々トシテハ一層其ノ數ヲ増スコトニ咨カデハナイノデアリマス

○田中(藤)委員 此ノ健康診斷醫ハ更ニ數ヲ相當ニ殖ヤシニナツテ、上陸ノ短イ間ニ速カニ全船員ニ健康診斷ガ及ブヤウニ御計ヒヲ願ヒタイト思ヒマス

尙ホ只今御話ノアツタ所謂營養給付デアリマスガ、是ハ豫算ノ上デハ分ツテ居リマセヌガ、ドウ云フ營養劑、或ハ營養物ヲ給付サレルノデアリマスガ、ソレト之ニ關スル經費ヲ御伺ヒ致シマス

○菊池(武)政府委員 只今ノ藥ハ大體、ヱイタミン」劑ヲ配給致シテ居リマスガ、其ノ費用ハ豫算ニ於テハ八万三千圓ノ費用ノ中カラ、特ニ必要アリト認めテ支出致シテ居リマス

○田中(藤)委員 今ノ八万三千圓ノ中、(ド)位之ニ使ハレマスガ、ソレヲ伺ツテ居ル譯デス

○菊池(武)政府委員 八万三千圓ノ中約一万三千圓バカリデアリマス

○田中(藤)委員 更ニ御伺ヒ致シタイコトハ、全國十四箇所ノ所謂保養所ト申シマスルカ、此ノ保養所ノ状態ハ、私ノ聞ク所ニ依リマスルト、ドウモ満足ノ状態デハナイ

ト聞イテ居ルノデアリマス、例ヘテ申シマスルト、富山縣ノ宇奈月厚生療養被保險者ガ參リマシテモ、ソレナコトハ知ラナイノダト云フコトデ拒マレタ例ガアルヤウデアリマス、或ハ又大阪府ノ生駒ニ於ケル療養所デアリマスガ、是ナドハダダ廣クテ確子ガ壞レテ居ツテ、冬ナドハ迎モ行ケナイ所ダサウデアリマス、而モソコヘ持つテ行ツテ二階デハドンチヤン騒ギヲヤツテ居ルト云フ譯デ眞ニ保養ノ目的ヲ達シ難イト云フノガ現實デアリマス、斯様ナ點ニ付テハ經費ヲ惜シムコトナク、徹底シテ制度デナクテハナラヌノデアリカト思ヒマス、此ノ點ニ付テ將來ドウ云フ方針ヲ御執リニナツテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス、斯ウ云フ營業者ニ任シテ居ルヤウナ所謂厚生療養、保養所制度デアツテハ、是ハ幾ラアツテモ眞ニ保養ノ目的ハ達シ難イノデアリカト思ヒマス、此ノ點ニ對スル御所信ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○平井政府委員 現在アリマス十四箇所ノ保養所ハ、御話ノヤウニ宿屋、其ノ他ノ施設ヲ利用致シテ居リマス、甚ダ不十分デアルトハ思ヒマスルガ、現在ノ船員保險特別會計ノ許シマス最大限ヲ實ハヤツテ居ル譯デアリマシテ、左様ニ不十分ナ施設デアリナガラ、入ツテ居ラレル船員各位ノ意向ヲ聞イテ見マス、非常ニ満足ヲシテ居ラレマス、最近モ二箇所バカリ職員ヲ派シテ、

先程申シマシタヤウニ寢食ヲ共ニシテ色々苦心ノ御話ヲ聽キマシタリ、或ハ保養所ニ關スル希望ナドモ聽イテ參リマシタガ、船員ガ數箇月ニ互ル危険ヲ航海ヲ終リマシテ、陸上ニ上ツテ誰一人歡迎スル者モナイノニ、心身ノ過勞ヲ保養所ニ依ツテ癒ヤサレテ居

リマシテ、サウ云フ非常ニ不完備ナ保養所デアリマシテモ、感謝ヲシテ入ツテ居ラレルノデアリマス、併シソレカト云フテ吾々トシテハ現在ノ不十分ナモノヲ以テ満足シテ居ル譯デハアリマセヌノデ、將來積立金ノ運用ニ依リマシテ、又積立金ノ運用ヲシタ利銷ニ依リマシテ、財源ノ餘裕ノ付キ次第保養所ノ完備ヲ期シタイト思ヒマス

○田中(藤)委員 成程此ノ中ニハ相當良イ所モアリマス、全部ガ惡イト云フ譯デハナイ、併シナガラ結局ハ斯ウ云フ所ヲ管理スル人ノ問題ダト思フ、私ハ今ノヤウナ状態デ營業者ニヤラシテ置ケバ、恐ラク其ノ成果ハ舉ルマイト思フ、例ヘバ海員報國團ト申シマスガ、アアシタ團體ニ管理セシメルト云フヤウナコトモ一ツノ方法デハナイカト

思ヒマス、政府自身ガ管理ニ相成レバ勿論結構デスガ、今ノ形デハ是ハ財團法人ノ船員保險協會ノ管理ニ屬スルヤウデアリマスガ、ドウモ行キ届カナイ點ガ多イノデアリカト思ヒマス、是非ハ管理ノ上ニ於テ相當將來注意セラレタイト思ヒマス、尙ホ經費ノ問題デアリマスルガ、現在ノ經費ノ最大限ヲ用ヒテ居ルト云フ御話デアリマスガ、併シナガラ私ハサウ思ヒマセヌ、ソコデ私ハ財源ノ問題ニ入ル譯デアリマスガ、一定ノ長期準備ノ爲メ積立金ガ必要ダト云フコトデゴザイマスガ、是ハ一體下ノ位ナ長期準備ノ積立金ガ必要デアルカ、其ノ基準ヲ先ヅ一ツ御示シ願ヒマス

○菊池(武)政府委員 船員保險ニ於キマシテハ御承知ノ通り長期給付ト短期給付ト合セテ一本ノ保險デアリマス、隨ヒマシテ積立金ハ長期給付ノ責任準備積立金ト短期給付ノ剩餘金ガ合ハサツテ居ル譯デアリマス

ガ、現在マダ船員保險法ガ布カレマシテカラ約三年近クシカ經タナイノデアリマシテ、隨テ積立金總額ガ千二百十六萬圓バカリ現在ゴザイマス、其ノ内長期給付ノ責任積立金ト致シマシテハ千四百八十五萬圓程度ガ現在積立テラレテ居リマス、殘餘ハ約百六十七萬圓デアリマスガ、短期給付ノ安全率デアリマストカ、其ノ他ノ費用ガ之ニ關聯シテ居ルノデアリマス

○田中(藤)委員 只今ノ御答辯ノ長期準備積立金ハ千四百八十八萬圓ト云フノデアリマスガ、是ハ保險料收入ノ比率カラ言ツテドウ云フ割合デ長期準備金トセラレルノデアルカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○平井政府委員 御答へ申上ゲマス、此ノ責任積立金ト云フノハ、實ハ最初ノ保險經濟ヲ立テマス時、ソレノノ事故ノ率、危険率ヲ取りマシテ、ソレニ基イテ保險料ヲ算定シタノデアリマス、ソコデ例ヘバ十六年度ヲ終リマス、十六年度ニ於ケル標準報酬カラ彈キ出シテ先程申上ゲマシタ最初ニ立テタ所ノ保險經濟ノ率カラ算出シテ、毎年幾ラ責任積立金ヲシテ殘サナケレバイヤカト云フコトヲ計算シテ、毎年積立テ居ルノデアリマシテ、長期給付ノ開始ニナリマシタ場合ニ於テ金ガナイ、年金ガ始マツタガ金ガナイト云フコトデハ困リマスカラ、一定ノ危険率カラ彈キ出シテ、毎年幾ラノ責任積立金ヲスルカト云フコトカラ出シテ居ルノデアリマシテ、現在ノ積立金ノ殆下大部分ハ責任積立金デアリマシテ、短期給付ノ爲メ積立金ト云フモノハ極ク僅カデアリマス

○田中(藤)委員 私ノ伺ヒタイノハ其ノ基準タル危険率如何ト云フコトナンデス、例

○田中(藤)委員 只今ノ御答辯ノ長期準備積立金ハ千四百八十八萬圓ト云フノデアリマスガ、是ハ保險料收入ノ比率カラ言ツテドウ云フ割合デ長期準備金トセラレルノデアルカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○平井政府委員 御答へ申上ゲマス、此ノ責任積立金ト云フノハ、實ハ最初ノ保險經濟ヲ立テマス時、ソレノノ事故ノ率、危険率ヲ取りマシテ、ソレニ基イテ保險料ヲ算定シタノデアリマス、ソコデ例ヘバ十六年度ヲ終リマス、十六年度ニ於ケル標準報酬カラ彈キ出シテ先程申上ゲマシタ最初ニ立テタ所ノ保險經濟ノ率カラ算出シテ、毎年幾ラ責任積立金ヲシテ殘サナケレバイヤカト云フコトヲ計算シテ、毎年積立テ居ルノデアリマシテ、長期給付ノ開始ニナリマシタ場合ニ於テ金ガナイ、年金ガ始マツタガ金ガナイト云フコトデハ困リマスカラ、一定ノ危険率カラ彈キ出シテ、毎年幾ラノ責任積立金ヲスルカト云フコトカラ出シテ居ルノデアリマシテ、現在ノ積立金ノ殆下大部分ハ責任積立金デアリマシテ、短期給付ノ爲メ積立金ト云フモノハ極ク僅カデアリマス

○田中(藤)委員 只今ノ御答辯ノ長期準備積立金ハ千四百八十八萬圓ト云フノデアリマスガ、是ハ保險料收入ノ比率カラ言ツテドウ云フ割合デ長期準備金トセラレルノデアルカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○平井政府委員 御答へ申上ゲマス、此ノ責任積立金ト云フノハ、實ハ最初ノ保險經濟ヲ立テマス時、ソレノノ事故ノ率、危険率ヲ取りマシテ、ソレニ基イテ保險料ヲ算定シタノデアリマス、ソコデ例ヘバ十六年度ヲ終リマス、十六年度ニ於ケル標準報酬カラ彈キ出シテ先程申上ゲマシタ最初ニ立テタ所ノ保險經濟ノ率カラ算出シテ、毎年幾ラ責任積立金ヲシテ殘サナケレバイヤカト云フコトヲ計算シテ、毎年積立テ居ルノデアリマシテ、長期給付ノ開始ニナリマシタ場合ニ於テ金ガナイ、年金ガ始マツタガ金ガナイト云フコトデハ困リマスカラ、一定ノ危険率カラ彈キ出シテ、毎年幾ラノ責任積立金ヲスルカト云フコトカラ出シテ居ルノデアリマシテ、現在ノ積立金ノ殆下大部分ハ責任積立金デアリマシテ、短期給付ノ爲メ積立金ト云フモノハ極ク僅カデアリマス

○田中(藤)委員 只今ノ御答辯ノ長期準備積立金ハ千四百八十八萬圓ト云フノデアリマスガ、是ハ保險料收入ノ比率カラ言ツテドウ云フ割合デ長期準備金トセラレルノデアルカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス



へバ被保険者十三万人アツテ、其ノ中ノ何人ガサウシタ長期或ハ短期ノ危険ヲ生ズルカ、事故ヲ生ズルカト云フ問題、或ハ現在ノ保険料ノ収入カラ見テドノ程度ヲ長期準備金ニ充テルベキカト云フ一定ノ標準率、基準率ヲ伺ヒタイト云フノガ私ノ質問ノ要旨デアリマス

○平井政府委員 此ノ各保険事故ノ危険率ヲ具體的ニ説明ラセヨト云フ御話デアリマシタガ、實ハ今資料ヲ持合セテ居リマセヌノデ申上ゲ兼ネマスガ、保険事業ノ危険率カラ、現在保険料率ト云フモノノ八錢二厘ト云フモノヲ出シテ居リマシテ、其ノ八錢二厘ノ中六錢四厘ガ現在ニ於キマシテハ一定ノ計算ニ基キ責任積立金トナルベキ保険料デアリマス、其ノ残りガ短期給付ニ要スル財源デアリマス

○田中(藤)委員 サウスルト約三割ガ短期給付ニ當ルト云フ譯デスネ、サウ伺ツテ宜シウゴザイマスカ  
○平井政府委員 八錢二厘ノ保険料ノ中六錢四厘ガ責任積立金ノ方ニナリマス  
○田中(藤)委員 只今ノ六錢四厘ト云フノハ長期積立金デスネ、其ノ餘ノ部分ガ短期經費ニ充テルト云フ譯デスネ、サウスルト凡ソマア三割ニナル譯デスナ、ソコデ此ノ豫算ヲ見マスルト、保険料収入ガ、例ヘバ十八年度ニスレバ九百五十二万八千圓アルノデゴザイマス、サウスルト其ノ三割二百八、九十万圓ト云フモノガ短期ノ經費ニ出シテ宜イト云フコトニ相成ル譯ナンデス、サウ致シマスルト十八年度ノ豫算カラ見マスルト、保険給付ニ關スル費用ハ二百萬圓、福祉施設ニ關スル費用ガ八萬三千圓ニナル、サウ致シマスルト尙ホ相當ノ餘裕ガアル譯

ダト思ヒマス、斯ウ考ヘテ見マスルト、先程費用ノ關係デ最大限ニヤツテ居ルノダガ、ドウモ困ルノダト云フコトハ當ラナイノデヤナイカト思フノデス、此ノ點ニ對スル御所信ヲ伺ヒマス

○菊池(武)政府委員 只今三割相當額ヲ御舉ゲニナリマシタガ、是ハ保險料收入ノ三割ハ保險給付ノ費用モ含シテ居ル譯デアリマスカラ、其ノ中カラ保險給付ニ要スル費用ヲ差引キマシタ殘額ガ結局剩餘額トシテ出テ來ル譯デアリマス、併シナガラ其ノ殘額ノ中ニモ、如何ナル事態ガ生ズルカモ分リマセヌカラ、保險料ヲ算定スルニ際シマシテハ、各社會保險共ニ安全率ト云フモノヲ見込シテ居ル譯デアリマシテ、隨テ其ノ安全率ヲ喰込ムト云フコトハ、非常ニ危険性ガアリマスノデ、ソレハ成タケシナイヤウニ致シテ現在ヤツテ居ル次第デアリマス

○田中(藤)委員 安全率ノ大デアルト云フコトハ勿論結構デス、併シ是ハ營利保險デハナイ譯デアアル、其ノ點ヲ特ニ御考慮願ヒタイト思ヒマス、今ノ約三割ヲ長期費用ニ充テルト致シマシテモ、十八年度ノ豫算ヲ見マスルト、二百三十萬圓デ、尙ホ五、六十万圓餘裕ガアル譯ナンデス、豫算ノ上ニ於テ餘裕ガアル、實績ヲ見マスルト、先程私ガ申上ゲマシタ如クニ、十六年度ノ事情カラ申シマスルト、豫定給付金ノ三分ノ一シカ出テ居ナイ譯ナンデス、百五十八萬圓ニ對シマシテ、五十一萬餘圓シカ給付サレテ居ナイノデス、サウスルトソコニ百萬以上ノ餘裕ガ十六年度ニ於テ既ニアル譯ナンデス、ダカラ既ニ初メカラ一定ノ基準ニ依ル長期積立金ガアリ、而モ短期積立金ノ餘裕ガアリ、而モソコニ尙ホ五十數萬圓ノ餘

裕ガアルト云フコトニ相成ツテ居リマス、而モ是デ財源ガナイノダ、所謂安全率ヲ昂メルノダト云フコトデハ、是ハ全ク營利保險ト變ラナイノデヤナイカ、即チ私共ハ更ニ斯ウシタ財產ガアル以上ハ、積極的ニ海員ノ重責ニ鑑ミテ、相當計畫ガアツテ然ルベキデヤナイカト思フノデアリマス、其ノ點ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○武井(群)政府委員 先程來段々ト質問應答ノアツタノヲ承ツテ居リマス、結局船員ノ福祉増進ニ要スル費用ガ少イデヤナイカト云フ御尋ネノヤウデアリマス、御趣旨ハ篤ト了承致シマシタ、先程來他ノ政府委員カラ申上ゲマシタヤウニ何分ニモ船員保險ハ始メテカラ僅カニ三年デアリマス、而シテ漸ク今度ノ改正法案ニ於テ船員ノ福祉施設ヲササウト云フ法律ノ規定ヲ立案致シマシテ御審議ヲ得テ居ルト云フヤウナ實情ナノデアリマシテ、政府ト致シマシテハ此ノ法律ノ規定ニ依ツテ更ニ船員ノ福祉増進ニ乗出サウ、斯様ニ致シテ居ル次第デアリマス、先程來色々ト各地ノ福利増進施設等ニ付キマシテノ御話モアツタノデアリマスガ、政府ト致シマシテハ此ノ法ノ協賛ヲ得、制定ノ曉ニ於キマシテハ、更ニ一層此ノ方面ニハ力ヲ注グ積リテ居リマス、別途加算等ノ爲ニ要スル費用ハ、假ニ戰爭五年ト致シマシテモ、千何百萬圓ト云フ國家負擔ヲ新タニ負擔スルト云フコトニ政府トシテハ相當ノ決意ヲ致シテ居ル次第デアリマスカラ、若シモ今御意見ノヤウニ民間ノ營利ノ保險ト同様ナコトガアリトスルナラバ、是ハ速カニ改ムベキコトダト思ツテ居リマス、何分ニモ茲ニ初メテ法ノ規定ヲ拵

ヘテ福利施設ヲヤラウト云フ譯デアリマス、ノデ、其ノ當初ノ豫算トシテ八万何千圓カヲ計上シタ次第デアリマス、此ノ實績ニ鑑ミマシテ、更ニ必要ガアリマスナラバ豫算ヲ取ルコトハ敢テ厭フモノデハアリマセヌ、御趣旨ノ點ハ篤ト了承致シマシタノデ、セインノ政府ト致シマシテハ誠意ヲ以テ船員ノ福祉増進ニ當ル積デアリマス、此ノ點御諒承ヲ願ヒマス

○平井政府委員 只今ノ點ハ吾々トシテハ財源ヲ隱スト云フコトハ全然アリマセヌ、民間保險ノヤウナ嫌ヒガアルト仰セニナリマシタノデ、私ハドウシテモ御答辯申上ゲタイト思フノデアリマスガ、社會保險ハ何處マデモ國家ノ保險デアリマシテ、民間保險ノヤウナ氣持ヲ以テ吾々ハ全然運營致シテ居リマセヌ、只今ノ短期保險ニ要スル財源ヲ三割ト仰セニナツテ御彈キニナリマシタガ、三割マデハアリマセヌノデ、二割ニ三分デアリマスノデ、ソレカラ計算シテ戴キマス、ソコニ五十萬圓隱シテ居ルト云フヤウナコトハ全然ゴザイマセヌ、誠心誠意國家ノ施設トシテ船員保險ノ運營ヲ致シテ居リマスカラ、其ノ點十分御諒承願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ短期給付ノ方デ金ガ殘ルト云フ御話デアリマス、是ハ施行後マダ二、三年デアリマシテ、趣旨ガ普及シナイ點モアリマシテ短期給付ノ方ハ多少殘ツテ居リマス、併シ殘ツテ居ルノハ過渡的ノ現象デアリマスカラ、ソレヲ財源ニシテ恒久的ノ施設ヲスルト云フコトハ考ヘナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、財源ガ確實ニ殘ルト云フコトニナレバ、福利施設ヲ致シマスコトニ聊カモ吝カデハアリマセヌ、更ニ積立金ガ、

多額ニナツテ参リマスレバ、是ガ運用ヲ致シマシテ十分ニヤツテ行キタイト考ヘマス  
○田中(藤)委員 次官カラノ御話モアリマシタカラ、財源論ニ付テハ兎ヤ角ハ申上マゲセヌ、唯相當ノ餘裕ガアルト云フコトハ豫算ヲ一寸見テモ分ル譯デアリマスカラ、思切ツテ船員ノ福利ノ爲ニ相當ノ計畫ヲ立テテ實行シテ貰ヒタイ、之ヲ政府ニ要望致シマス

尙ホ御伺ヒシタイコトハ、積立金ノ運用ニ付テノ問題デアリマスルガ、此ノ運用ノ面ニ於テ相當ノ收入ヲ得テ福利施設、其ノ他ヲ擴充シタイト云フ御意見モアツタヤウデアリマス、私共ノ考ヘデハ只今十八年度ニ於テハ八十七万圓ノ運用收入ガアル譯デス、十七年度ニ於テハ五十三万圓モアル譯デスガ、少クトモ斯ウ云フ積立金ノ運用收入全部ヲ擧ゲテ福利施設ニ充テルヤウナ計畫ガアツテモ宜イノデナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テノ所信ヲ伺ヒマスト同時ニ、積立金ノ運用ニ關シマシテハ、會計法規デハ何デモ政府預金、或ハ有價證券ニ限定サレテ居ルヤウニ思ヒマスルガ、此ノ點ニ對スル改正ハ出テ居ナイガ、是ハ勅令カ何カ出來ルノデセウカ、此ノ點併セテ御伺ヒ致シマス

○平井政府委員 運用收入ノ全部ヲ福利施設ニ充テラドウカト云フ御話ガアリマシタ、本年度カラ運用ニ當リマシテ三分七厘五毛バカリノ利子ガ僅カ出マシガ、其ノ中ノ三分五厘ト云フモノハ保險經濟ノ場合ニ於テノ當然ノ收入トシテ計畫ノ中ニ入ツテ居リマスカラ、三分五厘ノ積立金ノ運用利子ト云フモノハ、保險經濟ノ中ニ割込マシテ居リマスノデ、其ノ三分五厘ノ利子ヲ食フト云フ譯ニハ參リマセヌ、唯出來マス所

ノ二厘五毛ダケハ豫定以上ノ收入デアリマスノデ、之ヲ保健施設ナリ、或ハ福利施設ニ充テルト云フコトハ吾々トシテモ考ヘテ居ル譯デアリマス、更ニ大藏省トノ關係ハ現在大藏省ト交渉中デゴザイマス

○田中(藤)委員 其ノ點ハ是非福利施設ニ付テ保險經濟ノ許ス限リ最大限ノ努力ヲ拂ツテ戴キタイト云フコトヲ望ンデ置キマス  
ソコデ更ニ御伺ヒ致シタイコトハ、養老年金制度ト云ヒマスカ、廢疾手当金制度、斯ウ云フモノガ海員保險ニ執ラレテ居ルコトハ海員ニ對シテ大變結構ナコト思ヒマスケレドモ、斯ウ云フ制度ヲ更ニ國民大衆ニ及ボス意思ガアルカドウカ、健康保險組合ニ於キマシテ所謂療養網ハ完璧ノ期セラレテ居リマス、併シナガラ老後ニ於ケル、或ハ廢疾後ニ於ケル不安ニ付テハ國民大衆ハ尙ホ免レ難イト思ヒマス、勞働者年金制度ニ依リマシテ勞働者大衆ハ或ハ救ハレルカモ知レマセヌガ、併シナガラ農民大衆、或ハ中小商工業者、或ハ自由職業者ナドノ如キハ斯ウシテ養老年金制度ノ上カラハ除外サレテ居ル譯ナノデアル、勿論郵便年金制度ニ依リマシテ救ハレマセウ、併シナガラ郵便年金制度ニ於ケル負擔ト云フモノハ極メテ重イ譯デアアル、現在郵便年金制度ニ加入シテ居ル方々ノ實情ハサウシク年金制度ニ入ラナクテモ老後ノ心配ノナイ人ガ多イノデハナイカト實際ニ於テ私共考ヘテ居ル譯デアリマス、ソコデ私ハ斯ウシク商工業者、自由職業者、其ノ他ノ國民大衆ニ對シテ斯ウ云フ廢疾年金制度ヲ擴大シテ、少クトモ此ノ船員保險ト同様ナ率ニ於テ老後ニ於ケル不安ナカラシムルト云フ方法ヲ御執リニナル意思ハナイカドウカト云フコト

ヲ伺ヒタイノデアリマス  
○平井政府委員 長期保險、社會保險ニ付テノ御意見デアリマスガ、現在短期保險ト致シマシテハ略、完備致シテ居リマス、長期保險ト致シマシテハ工場、鑛山ニ勤メテ居ル勤勞者ニ對スル年金制度ガ昨年六月カラ實施ニ相成ツテ居リマス、吾々ト致シマシテハ更ニ現在アリマス工場、鑛山ニ於ケル勞務者ニ對スル年金制度ノ擴充ヲ圖リマシテ、年金制度ノ整備ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○田中(藤)委員 年金制度ノ整備ヲ圖ツテ戴クコトハ結構デアリマスガ、私ノ聽キ違ヒカモ知レマセヌガ、自由職業者、商工業者、農民大衆、廣ク國民大衆、斯ウ云フモノニ及ボ長期年金制度ヲ御考ヘ願ヒタイ、而モ其ノ負擔ハ郵便年金制度ニ比シテ遙カニ輕イモノデナクテハナラヌガ、

〔委員長退席、小泉委員長代理着席〕  
例ヘバ現在郵便年金制度ニ於テハ年額三百圓ノ給付ヲ五十歳以上ニ於テ受ケルノニ、二十九歳カラ三十歳程度デ毎月十二圓四、五十錢ノ負擔ニナツテ居ルト思ヒマス、私詳シク調べテナイノデ分リマセヌガ、船員保險ニ於テハ船員ノ負擔ガ其ノ三分ノ一デ、四圓十錢位ニナツテ居ル、斯ウ云フコトカラスレバ三倍デアアル、船員保險ニ於テハ三分ノ一デ同様ノ給付ヲ受ケ得ル、然ルニ郵便年金ニ於テハ眞ニ老後ノ年金ニ止ツテ料金が三倍デアアルト云フノガ實際デアアル、ソドイツナドニ於テハ六%ハ或ハ七%強ニ依ツテサウシク年金制度ガ行ハレテ居ルト云フコトヲ聞キマスガ、斯ウシク制度ヲ國民大衆ニ及ボシテ貰ヒタイ、又是ガアツテ然ルベキデハナイカ、今ヤ自由職業者、或ハ商工業者ト

云フモノハ其ノ職業ヲ失ヒツツアル、轉落シツツアル、而モ斯ウ云フ階級ハ現在ドチラカト云ヘバ、從來ノ資産ヲ賣拂ツタ所ノ僅カナ蓄財ニ依ツテ其ノ日ノノ過シテ居ツテ、老後ニ於ケル生活ト云フモノハ全ク不安デアアル、凡ユル經濟ガ統制サレテ居リマスケレドモ、サウシク中小商工業者、自由職業者ト云フモノハ自己責任ノ原則ニ依ツテ生活ヲ守ツテ居ル、戦ヒ抜イテ居ル、斯ウ云フ者ノ老後ニ對シテ更ニ國家ガ親心ヲ加ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯ウ云フ建前カラ是非此ノ問題ハ緊急ニ調査ヲ遂ゲテ、凡ユル部面ニ此ノ制度ヲ及ボスト云フコトニ付テノ方針計畫ナドガアレバ具體的ニ伺ヒタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 此ノ問題ハ重大ナ問題デアリマス、率直ニ申上ゲマスガ、御趣旨ハ能ク分リマシタ、篤ト拜承致シマシテ、實ハ有體ニ申シマスト勞働年金保險法ノ如キモノデモ昨年ノ六月一日カラ初メテ施行ニナツタヤウナ状態デアリマス、而モ此ノ年金保險法ノ施行ニ付キマシテモ昨年春以來此ノ戰時中ニ於テハ施行ヲ延バスベキデハナイカト云フ意見スラモ相當各方面ニアリマシタ、政府當局ニ於テハ種々考究ノ結果、斯クノ如キモノハ決戰體制下ニ於テモ實施スベキモノナリト云フ最後ノ結論ニ達シマシテ、六月一日ヨリ施行シ始メタト云フ實情デアリマス、斯クノ如ク勞働年金方面ガ漸ク實施ニ入ツタト云フ譯デアリマスノデ、御話ニモアリマシタ如ク、各方面ノ年金制度ト云フモノハ無論必要デアリマスケレドモ、自ラソコニハ研究ノ順序ガアリ、緩急モアルノデアリマス、是等ノ年金保險ノ施行ト相竝ビマシテ、更ニ急速度ニ研究ヲ進メ

云フモノハ其ノ職業ヲ失ヒツツアル、轉落シツツアル、而モ斯ウ云フ階級ハ現在ドチラカト云ヘバ、從來ノ資産ヲ賣拂ツタ所ノ僅カナ蓄財ニ依ツテ其ノ日ノノ過シテ居ツテ、老後ニ於ケル生活ト云フモノハ全ク不安デアアル、凡ユル經濟ガ統制サレテ居リマスケレドモ、サウシク中小商工業者、自由職業者ト云フモノハ自己責任ノ原則ニ依ツテ生活ヲ守ツテ居ル、戦ヒ抜イテ居ル、斯ウ云フ者ノ老後ニ對シテ更ニ國家ガ親心ヲ加ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯ウ云フ建前カラ是非此ノ問題ハ緊急ニ調査ヲ遂ゲテ、凡ユル部面ニ此ノ制度ヲ及ボスト云フコトニ付テノ方針計畫ナドガアレバ具體的ニ伺ヒタイト思ヒマス

テ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○田中(藤)委員 大體政府ノ御意見ハ諒承

致シマシタガ、先程來申シマスヤウニ、所謂中小商工業者、自由職業者ト云フモノハ統制ニ依ツテ凡ニ生活規制ヲ受ケテ、將來ノ不安ニ惱ンデ居ル、而モソレハ自分ノ働キデ生活ヲ守ラナケレバナラヌト云フ建前ニアル譯デアリマス、ドウシテモ其ノ老後ニ於ケル不安ト云フモノハ解消シ難イ譯デアリマス、是非共斯ウシク國民大衆ノ惱ミヲ解消スル爲ニ、速カニ此ノ制度ヲ實現サレルヤウニ要望致シテ私ノ質問ヲ打切りマス

○小泉委員長代理 次ハ渡邊君ニナツテ居リマスケレドモ、時間ノ關係デ是ニテ休憩ニ入りマス、午後ハ一時カラ再開致シタイト思ヒマス

午前十一時五十分休憩  
午後一時九分閉議

午後一時九分閉議

○清水委員長 休憩前ニ引續キ船員保險法中改正法律案ニ對スル質疑ヲ繼續致シマス——渡邊君

○渡邊(健)委員 現在政府ノヤツテ居ル保險制度ハ非常ニ澤山アルノデアリマス、健康保險、國民保險ハ勿論、職員保險、船員保險、共濟組合、詰リ遞信省ノ共濟組合、勞働者災害保險、教員共濟組合ト云フ風ニ、此ノ外ニモアルカト思ヒマスガ、一寸數ヘタダケデモコンナ風ニ色々ナ組合ガ澤山アルノデアリマス、是ハ政府ノ方デモ、種々雜多ニ分レテ御困リト思フノデアリマスガ、之ヲ取扱ツテ居ル開業醫ノ方デハ可ナリ混亂シテ居リマス、詰リ請求書モ多種多様ニナリマシテ、赤イ紙、青イ紙、黄色イ紙ト云フ風デ困ルノデアリマス、是ハ毎年議會

ノ問題ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、之ヲ統合シテ一ツノ組織ニスルヤウナ御者ヘガアルカドウカ、又是ガドウシテ統合出來ナイノカ、其ノ理由ヲ承リタイト思ヒマス

○平井政府委員 現在社會保險、又ハソレト類似ノ制度ハ只今御述べニナリマシタヤウニ非常ニ多イノデアリマス、之ヲ統合シテ事務ノ簡捷ヲ圖リ、保險醫ノ便宜ヲ圖ツタラドウカト云フ御話、洵ニ御同感デアリマシテ、現在ニ於キマシテ、色々制度ガアリツテ、保險醫ノ方ニ非常ニ御迷惑ヲ掛ケテ居ルコトモ吾々承知致シテ居ルノデアリマス、社會保險トシテハ單一保險ガ現在四ツスルシ、可能ナ方面カラ統合スルト云フノデ、昨年ノ通常議會ニハ職員保險ト健康保險トノ統合ノ改正案ガ出マシテ御協賛ヲ經テアリマスノデ、此ノ四月カラハ社會保險トシテハ一ツ減ル譯デアリマシテ、職員保險ト健康保險トガ統合ヲ見ルノデアリマス、更ニ進ンデ其ノ他ノ船員保險、或ハ勞働者災害扶助責任保險ノ統合ノ問題モ當然ニ考ヘラレル譯デアリマスケレドモ、是等ノ統合ハ非常ニ事務的ニモ性質上異ナル對象ニ對スル制度デアリマスノデ、一概ニ統合モ致シ兼ネルノデアリマス、ソレト特殊ノ事情ヲ帶ビタ共通の方面ヲ一固リニシテ保險制度ヲ布カケレバ相成リマセスノデ、船員共濟ト健康保險トノ統合スル、形式的ノ統合デアレバ比較的樂デアリマスケレドモ、完全ニ統合スルト云フコトハ、ソレトノ對象ノ勞働狀況、其ノ他ノ事情ガ非常ニ違ヒマスノデ困難デアリマスケレドモ、吾々トシテハ常ニ研究ヲ進メテ居ルノデアリマス、更ニ又政府職員ノ共濟

組合、或ハ官業勞働ノ共濟組合、若シクハ教職員ノ共濟組合、是等ノ共濟組合ハ何レモ社會保險の性質ヲ帶ビタ共濟組合デアリマスガ、ソレト特殊ナ實情ニ應ジテ出來テ居リマスノデ、統合ハ可ナリ困難ダトハ思ツテ居リマスノデ、吾々トシテハセメテモ保險醫ノ方々ノ事務ノ簡捷ヲ圖ルト云フ意味デ、何等カノ手續上デモ共通のナモノニシタイト云フノデ、努力ハ致シテ居ルノデアリマスルケレドモ、吾々トシマシテハ社會保險ヲ主管スルノミデアリマシテ、共濟組合ノ所管ガ違フ關係モアリ、思フヤウニハ今マデ進ンデ居リマセスガ、サウツツタ聲ヲ吾々モ隨分聞キ、吾々モ承知致シテ居リマスカラ、將來出來ルダケ統合出來ルモノハ統合スル、統合出來ナイモノデモ事務ノ簡捷ヲ圖ル意味ニ於キマシテ、何等カ事務方面ノ統制ヲ圖ルヤウニ努力シテ行キタイト考ヘマス

○渡邊(健)委員 段々統制シテ行クト云フ御心掛ノヤウデ、大變結構デアリマスガ、今ノ御話ガト、色々業態ガ違フ、其ノ他ノ事情ガ違フカラ中々困難ダト云フ御話デアリマシタガ、ソナ方面ヲ考ヘルト、ヤハリ國民保險ノ實施モ、ソレハ農村ハ農家バカリダカラヤリ宜イノデアリマスガ、ソナ條件カラ考ヘタラ都會地ノ國民保險ト云フモノモ可ナリ不公平デ、各被保險者ノ負擔ト云フヤウナ點カラ言ツテモ、可ナリ不公平ナ點ガアルト思ヒマス、唯住民稅ヲ標準ニシテ負擔サセルト云フダケデハイカヌノデヤナイカト思フノデアリマス、ガカラサウ一々細カイトコトヲ考ヘナクテモ、或ル程度顧慮シテヤツタラ出來ルノデヤナイカト思フノデアリマス、例ヘバ同ジク負擔ラシテモ教員ノ共濟組合ノ方デハ一割シカ負擔シナイ、他デハ二割負擔スル、自分ガ實費ヲ負擔スルノハ一割トカ二割トカ、保險醫ニ言ハセルト一々帳面ヲ擴ゲテ見ナケレバ分ラヌト云フ状態デ、此ノ人カラ一割貫ツタラ宜イカ、二割貫ツタラ宜イカ、普通ノ開業醫ハ非常ニ混亂ヲ來シテ居ルヤウナ状態デアリマスカラ、是ハ是非早ク畫一的ニ統合シテ戴キ、ソレカラ又請求ノ書類ノ形式モ一々違ツテ居ルノデアリマス、是モ成ベク直スト云フ御話デアリマスカラ、出來ルダケ、統合ハ出來ナカッタラ一時其ノ請求ノ形式等トカ、或ハ負擔ノ率トカ云フコトハ全部一律ニスルヤウニ御願ヒシタイト思ヒマス

○清水委員長 渡邊君、アナタノ質問ハ長引クヤウデゴザイマシタラ、丁度大臣ガ出席サレマシタノデ、大臣ニ對シ保留サレテ居ル質問ニ移リタイト思ヒマスガ、簡單ナラバ繼續ヲ願ヒタイト思ヒマスガ……

○渡邊(健)委員 ソレデハ後ニ致シマス

○清水委員長 藥事法案ニ對シテ大臣ニ對シ保留サレテ居リマスル質疑ヲ此ノ場合許シタイト思ヒマス——藤生安太郎君

○藤生委員 昨ハ昨日大臣ガ御出席ニナリナカッタノデ他ノ政府委員ノ方々ニ種々御尋ネ致シマシタ、ソレニ對シテ懇切ナル御答辯ヲ戴イタノデアリマスガ、其ノ中デ大日本武德會ハ大キナ陣容、大キナ機構ノ下ニ新タニ結成セラレテ既ニ一年ニモナルガ、其ノ一年間ニドウ云フ活動ヲサレタノデアリカ、申スマデモナク今日戦力増強ノ爲ニハ精神力ヲ大イニ昂揚シナケレバナラナイ、其ノ精神力昂揚ノ大本山、總本山トモ言フベキ此ノ大日本武德會ガ、而モ大キナ陣

容ニ於テ誕生シタノデアリマスカラ、吾々ハ非常ニ此ノ大日本武徳會ノ活動、活躍ト云フモノニ對シテ期待シテ居ツタノデアリマス、ソコデ其ノ活動ノ内容ニ付テ御尋ネ致シタノデアリマシタガ、私共ノ期待ガ全ク外レテシマツタノデアリマシテ、御説明ニナツタ活動ノ内容ト云フモノハ、從來ノ舊武徳會ガヤツタ所ノモノヲ唯線返シテヤツテ居ルニ過ギナイヤウニ承ツタノデアリマス、ノミナラズ寧ロ却テ京都ノ武徳專門學校長ノ如キハ一年前ニ辭メタノニ、其ノ後任ノ校長ハマダ決定サレテ居ナイヤウナ状態デアツテ、精神ノ増産ヨリハ、寧ロ精神ノ減産ニナツテ居ルヤウナ風ニ考ヘラレテ、洵ニ期待外レノ感ヲ禁ジ得ナカツタノデアリマス、斯ウ云フ風ニ武徳道ト云フモノハモツト高く評價サレテ、モツト振興サレナケレバナラナイ、然ルニモ拘ラズ高く評價モサレナケレバ、振興モサレナイト云フヤウナ根本ノ原因ハ何處ニアルカト云フト、武徳行政ノ指導ノ立場ニアラレル所ノ政府役人諸公ニ於テ、或ハ武徳ニ對スル誤解デモアルデハナカラウカ、隨テ武徳振興ト云フコトニ對シテ熱意ヲ缺イテ居ルノデハナカラウカト云フヤウナコトヲ疑ハザルヲ得ナイ、ソコデ私ハ武徳振興ノ根本問題ト致シマシテハ、武徳行政ニ携ハル所ノ役人諸公ハ勿論ノコト、一般國民ニ對シテ武徳ニ對スル所ノ理解、武徳觀ト云フモノヲ此ノ際確立スルト云フコトガ極メテ必要デアルカラシテ、ドウカ其ノ點ニ付テ大臣カラ御答辯ヲ御願ヒシタイト云フコトヲ、次官ヲ通ジテ御願ヒシテアツタノデアリマス、デアリマスカラ先づ第一ニ只今申上ゲマシタヤウナ意味ニ於キマシテ、大臣ノ日本武徳ニ對

スル指導ノ信念、即チ武徳觀竝ニ此ノ武道ヲドウ云フ風ニシテ指導シテ行クカ、其ノ指導ノ根本方針ニ付テ大臣カラ御所見ヲ聽カシテ戴キタイノデゴザイマス  
尙ホ其ノ際次官カラ、其ノコトニ付テハ此ノ前ノ議會ノ體力法委員會ニ於テ既ニ君ト大臣トノ間ニ於テ論議ガ交ハサレテ居ツテ、大臣ガ武徳ニ對スル信念ヲ御披露ニナツテ居ラレルノデアアル、ソレハ承知ノ筈デアルト云ツテ、モウ此ノ問題ニ關スル論議ハ必要デナイカノヤウナ御答ヘガアツタノデアリマス、ソコデ私モソレハ記憶致シテアノ時ノ委員會ニ於ケル此ノ問題ニ關スル論議ト云フモノハ極メテ斷片的ナ、極メテ小部分ナ問題デアリマシテ、私ガ今聽カウトスルヤウナ内容ノモノデハナカツタト思ヒマス、ニモ拘ラズ次官ガアノヤウナ斷片的一小部分ノ武徳論議ニ對シテサヘ、ソレハモウ濟ンデ居ラレト云フコトソレ自體ガヘラ持ツテ居ラレト云フコトソレ自體ガ私ハ武徳ニ對スル熱意ト云ヒマスカ、考ヘ方ガ吾々トドウモ同ジデハナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、私ハ此ノ際ドウシテモ武徳觀ト云フモノヲ確立シテ置ク必要ガアルト思フ、從來ノ議會ニ於テ武徳問題ガ取扱ハレテ居ナイ、日本ノ帝國議會ニ於テ此ノ武徳問題ガ餘リニ論ゼラレナサ過ギル、斯ウ私ハ考ヘテ居リマス、デアリマスカラ其ノ武徳行政ノ指導ノ立場ニ居ラレル内閣役人ノ諸公ノ爲ニモ、又一般國民ノ爲ニモ、議會人ノ爲ニモ、此ノ際私ハ此ノ武徳觀ヲ確立致シテ置キタイト思ヒマスカラ、之ニ對スル大臣ノ御所見ヲ御聽カセ願ヒタイノデゴザイマス

○小泉國務大臣 日本武徳ハ申上ゲルマデモナク我ガ國體ニ其ノ源ヲ發シタモノデアリマシテ、直接武徳ノ向上ノ爲ニ力ノアリマシタ色々ノ面ニ於キマシテハ、驍國以來ノ色々ノ時勢ノ變遷ニ伴ヒマシテ、武徳ノ技術的面ニハ、色々ノ形ノ違ヒハアリマスルガ、根本ノ日本武徳ト云フモノノ眞髓、精神ニ於キマシテハ國體マツテ以來微動モシナイ、確乎不拔ナルモノダト考ヘテ居リマス、殊ニ中世ニ於キマシテハ武家政治ノ盛ントナリマシタ時ニ、又支那等ノ大陸ノ文化ノ交流ニ伴ヒマシテ、其ノ技術面、或ハ形ノ上ニ於テハ色々ノ變遷モゴザイマシタガ、兎ニ角明治御一新後、殊ニ十五年明治大帝ヨリ陸海軍人ニ賜リマシタ御勅諭ノ中ニハ、此ノ點ニ付テ洵ニ明カニ御示シ、御勅諭ノ中ニモ仰セラレテアリマスヤウニ、此ノ武徳ト云フ御言葉ハゴザイマセヌガ、此ノ道ハ上下一致、國民ノ總テガ之ニ進ムモノデアリ、汝軍人ハ之ニ率先、先ニヤツテ行ケト云フヤウナ意味ノ御言葉ガ多

多拜セラレル次第デアリマシテ、決戰體制下ニ於ケル今日ノ日本武徳ハ正ニ此ノ國體ニ發シ、建國以來微動モセズ參リマシタル此ノ精神ニ基キマシテ、億兆一心、此ノ武道精神ノ昂揚、武徳ノ益、國民全部ニ遍ク普及致シヤウニ致シテ行カナケレバナラナイモノト信ズル次第デアリマス、併シナガラ只今申上ゲマシタヤウニ、精神ニ於テハ全ク一ツデアリマスルガ、形或ハ技術ノ上ニ於キマシテモ歴史ノ進展ニ伴ヒマシテ、武徳ニモ色々ノ形アリ、或ハ流派アリ、流祖アリ、色々ゴザイマシテ、殊ニ幕府政治ノ下ニ於キマシテハ、各藩ニ於テ又藩自己

ノ形ヲ整ヘルト云フコトカラ、之ニ色々ノ流儀、流派ガ生ジマシテ、大日本武徳會ガ過去ニ於テ是等ノ善イモノヲ取上ゲテ進マレタ其ノ功績ハ大ナルモノガアリマスルガ、更ニ只今申上ゲマシタヤウナ意味ニ於テ、國家トシテ大日本武徳ノ昂揚ヲ圖リ、之ニ依ツテ國民ノ全部ガ武徳精神ヲ解シテ御仕ヘラスルト云フ所ニ參リマス爲ニ、法律的ニハ是ハ同一人格ガ繼續サレタト云フコトニハナツテ居リマスガ、根本ニ於キマシテハ全ク今日ノ時局ニ即應スルヤウナ武徳ノ昂揚ト云フコトガ願ハシイコトデアルト云フコトニ依リマシテ、新シク構成致シマシタル大日本武徳會トシテハ、取敢ヘズ日本武徳トシテ取上ゲマシタモノハ、御承知ノ通り先ツ手近ク取上ゲラレルモノヲ取上ゲタ次第デアリマス、隨テ銃劍道ト云フヤウナ新シイモノスラ此ノ中ニ取上ゲラレテ居ル次第デアリマス、又一面ニハ當然此ノ武徳會ノ中ノ科目ニ取上グベキ色々ノモノモマダ多々殘サレテ居ルト存ズルノデアリマスルガ、今一應此ノ方面ノ體制ヲ整ヘテ、之ニ依ツテ現時局下ニ最モ相應シイ日本武道ノ精神ノ昂揚ヲ期ス、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○藤生委員 只今大臣カラ續、武徳ニ對スル御信念ノ程ヲ承リマシタガ、ドウモ私ガ御尋ネ致シマシタ質問ノ「ピント」ニ合ツテ居ナイノデ、一寸私モ判斷ニ苦シム點モアリマスガ、併シナガラ厚生大臣ハ武人デアラセラレルカラシテ、日本武徳ニ對スル信念トカ、理解トカ、熱意トカ云フヤウナコトハ、十分御持チニナツテ居ルモノデアルト云フコトハ、私ガ固ク信ジテ居ルノデアリマス、併シナガラ只今ノ御答辯ハ私ノ質

只今大臣カラ續、武徳ニ對スル御信念ノ程ヲ承リマシタガ、ドウモ私ガ御尋ネ致シマシタ質問ノ「ピント」ニ合ツテ居ナイノデ、一寸私モ判斷ニ苦シム點モアリマスガ、併シナガラ厚生大臣ハ武人デアラセラレルカラシテ、日本武徳ニ對スル信念トカ、理解トカ、熱意トカ云フヤウナコトハ、十分御持チニナツテ居ルモノデアルト云フコトハ、私ガ固ク信ジテ居ルノデアリマス、併シナガラ只今ノ御答辯ハ私ノ質

問ニ對スル「ピント」ガ、合ツテ居ナイ、モツト手取早ク、武道ト云フモノハ斯ウ云フモノダト云フ風ナ内容ニ於テ御説明ガ願ヒタカツタノデアリマス、例ヘバ何遍モ言葉ヲ重ネテ御話ニナリマシタガ、武道ハ肇國以來我が國ニ非常ニ貢獻シテ居ルノダ、サウシテ武道ハ國體ニ淵源ヲ發シテ居ルノデアルト云フヤウナコトヲ御述ベニナリマシタガ、ソレハ其ノ通りデアリマス、武德會ノ結成式場ニ於テ賜ハリマシタ旨ノ中ニモ、其ノ事ハ書イテアルノデアリマス、併シナガラ只今ノヤウナ御説明デハ何ダカ隔靴搔痒ノ感ガアツテ、餘リニ觀念的ナ抽象論ノヤウナ氣持ガスルノデアリマス、私ハ此ノ際武道ヲ理解スル上ニ於テ最モ必要ナモノハ、只今大臣ガ御述ベニナリマシタヤウニ、武道ハ正シク日本ノ國體ニ淵源ヲ發シテ居ルト云フコトヲハツキリシナケレバナラヌノデヤナイカト思ヒマス、ソコデ私ハ此ノ問題ニ付テ、是ハ私ガ是カラ色々御尋ネヲシテ行ク根本ノ問題ナリ、中心ノ問題デモアリマスカラ、煩ヲ厭ハナイデ、武道ガドウ云フ風ニ我ガ國體ニ淵源ヲ發シテ居ルカト云フコトヲ明カニシタイト思フノデアリマス、是ハ非常ニ必要ナコトデアリマスカラ、私ハ武道ガ如何ニ國體ニ淵源ヲ發シテ居ルカト云フコトノ大臣ノ御説明ヲ承リマス前ニ、先ヅ私ノ意見ヲ申述ベサセテ戴キタイト思ヒマス、是ハ此ノ前ノ委員會ニ於テモ、武道觀ニ對スル論議デハナカツタノデアリマスカ、一寸私ガ觸レタコトガアリマス、其ノ時ニ私ガ述ベマシタコトハ、即チ北畠親房卿ノ神皇正統記ノ劈頭ニ於テ喝破セラレタヤウニ、大日本ハ神國デアアル、神國デアアルト云フコトハ日本人ハ誰モ知ラナイ者ハナ

イ、皆知ツテ居ル、ケレドモ我ガ國ハ神國デアアルト云ツタダケデハ、我ガ國體性ハ明徴ニハナラナイ、ソコデ私ハ茲ニ山鹿素行先生ノ中朝事實ニ於テ述ベラレタコトヲ引用シナケレバナラヌノデアリマス、山鹿素行先生ハ中朝事實ニ於テ「大八洲ノナルコト天ノ瓊茅ニ出ズ、其形乃チ瓊茅ニ似タリ、故ニ細戈千足國ト號ク、宜ナル哉、中國ノ雄武ナルオヤ、凡ソ開闢ヨリ神器靈物甚ダ多シ、而シテ天ノ瓊茅ヲ以テ初トナス、是乃チ武德ヲ尊ビ以テ雄義ヲ顯ス也」ト斯ウ言ツテ、日本ノ國ガ正シク武ノ國デアアルト云フコトヲ立派ニ闡明シテ居ラレルノデアリマス、只今大臣ガ仰セラレマシタヤウニ、肇國以來武ト云フモノハ非常ニ國家ノ隆昌發展ノ爲ニ貢獻ヲシテ來テ居ルノダ、其ノ通りダガ、日本ノ國ヲ肇メラレタ所ノ神々ハ、只管武ニ依ツテ國ヲ建テラレタノデアリマス、儒教トカ、佛敎ガ渡來スル前ハ、治亂共ニ神々ガ武ニ依ツテ治メラレテ居タト云フコトハ申スマデモナイノデアリマシテ、此ノヤウニ神ト武ト云フモノハ、肇國以來切離スコトノ出來ナイ密切不可分ノ一元一如ノ關係ニアルノデアリマス、即チ之ニ依ツテ見マシテモ日本ノ國ハ神ノ國デアアルト同時ニ武ノ國デアアル、即チ神武ノ國デアアルト説クコトニ依ツテ、我ガ國體ハ明徴ニナルモノト私ハ固ク信ジテ居ルノデアリマス、又斯ウ云フ風ニ言フコトニ依ツテ、武道ガ國體ニ淵源ヲ發シテ居ルト云フコトガ明徴ニナツテ來ルト私ハ思ヒマス、而シテ此ノ神武ノ關係、神武ノ一元一如ノ密切不可分ノ關係ヲ最モ明カニ御顯揚遊バサレテ居ラレルノガ、此ノ前申シマシタヤウニ天照大神様ノ御尊像デアリマス、天照大

神ハ女性ノ御神デオ在シマスニモ拘ラズ、弓ヲ御手ニ劍ヲ佩カセ給ヒ、背ニ千箭ノ矢ヲ負ハレテ、凛々シキ御武裝ヲ遊バサレテ居ルト云フコトハ、神ニシテ武、武ニシテ神デアアル、神武一元一如ノ關係ヲ立派ニ御顯揚遊バサレテ居ルト拜察シ奉ルノデアリマス、又畏多クモ 天皇陛下ニ於カセラレマシテモ現人神トシテ神ニオ在マスト同時ニ、大元帥陛下トシテ武ノ最高ノ地位ニオ在マスト云フコトハ、神ニシテ武、武ニシテ神デアアル、我ガ神武ノ國體ヲ御一身ニ御顯揚遊バサレ給フモノト拜察シ奉ルノデアリマス

又吾々下々國民ト致シマシテモ、一旦御召ニ應ジテ戰場ヘ勇躍スル、サウシテ戰場ニ於テ武ヲ働キ、武ヲ發揮シ、武ニ死スル場合ハ護國ノ神トシテ靖國神社ニ永久ニ生キル光榮ニ浴シ得ルノデアリマス、此ノヤウニ神ト武ト云フモノハ密切不可分ナル關係ガアルノデアリマス、隨テ武道ト云フモノハ昔カラ神ナガラノ道トセラレテ居ルノデアリマス、即チ武ノ精神ハ其ノ儘是ガ神ノ御心デアアル、神意デアアルノデアリマス、換言スレバ神ノ慈悲、天皇ノ御仁慈ノ御精神、之ヲ修行シ、實踐スル所ノ道、此ノ神ノ慈悲心、天皇ノ御仁慈ノ御精神ヲ積極的ニ發動スル道ガ武道デアアル、斯様ニ武道ト云フモノハ實ニ嚴肅崇高ナルモノデアリマス、一般ニ文武兩道ト云フコトガ言ハレテ居リマスガ、文武兩道ト云ツテ、之ヲ二元的一解釋スルガ如キハ眞ニ武道ヲ解釋シタ言葉トハ私ハ思ヒ得ナイノデアリマス、文武ハ一元デアリ、一途デアアル、不岐デアアル、私ハ斯様ニ考ヘマス、此ノ間ノ委員會ノ雜談ノ場合デモ、色々委員諸君カラモ武道ニ對スル御尋ネガアリマシタガ、私ハサウ云フ御尋ネニ照ラシテ考ヘテモ、ドウモ議會ニ於テ斯ウ云フ武道觀ヲ確立シテ置クコトハ極メテ必要ナコトデアアル、例ヘバ議會ニ於テ一向武ガ論ゼラレスト云フコトハ、果シテ議會ニ武道ガ理解サレテ居ルカドウカラ疑ハザルヲ得ヌノデアリマス、恐ラク議會人ノ多數ノ方々ハ、武道ト政治ト云フモノヲ全然別個ノモノデ、關係ノナイモノヤウニ考ヘラレテ居ル人多イヤウニ思フ、サウデハナイ、武道ハ政治デアアル、政治ハ武道デアアル、密切不可分ノ關係ガアル、昔カラ先程モ申シマシタヤウニ、武道ハ神ナガラノ道デアアル、其ノ神ヲ祭ルコトガ祭事即チ政治デアアル、祭政一致ト云フ言葉ハ斯ウ云フ所カラ出テ居ルノデアリマシテ、隨テ祭政一致ノ精神ヲ積極的ニ發動スルモノガ武道デアアル譯デアリマス、隨テ武道ハ政治ト密切ナル關係ガアルノデアリマシテ、昔カラ幾多ノ賢人、聖人カラ武道ハ小ニシテハ修身齊家、大ニシテハ治國平天下ノ要道デアアルト云ハレテ居ルノデアリマス、要スルニ神ト云ヒ、武ト云ヒ、政治ト云ヒ、是ハ同一内容ノ異レル表現デアアルノデアリマス、然ルニ政府ノ方々モサウデアラウト思ヒマスガ、一般ニ武道ト云ヘバ、吉田松陰先生ガ戒メラレタヤウニ、劍戟矛槍ノ技藝ノミヲ考ヘ兵法ト云ヘバ權謀術數ヲ專ラニスルモノノヤウニ考ヘテ居ル、唯板張りデ叩合ヒヨスル、疊ノ上デ投合ヒヨスル、締合ヒヨスル、アレガ武道デアアル、アレガ眞ノ道場デアアルト云フヤウニ考ヘラレテ居ルノガ非常ニ多イノデハナイカ、固ヨリアノ道場ハ武道ノ道場デアリ、アスコデヤル技衛モ武道ノ一部分デアアルノミナラズ、武道

修行ノ必須根本ノ條件デアアルコトハ申上ガ  
ルマデモアリマセヌ、併シナガラ其ノ技術  
ナリ精神ナリガ、アノ道場ダケニ踞シテ、  
道場カラ一步モ出ナイ、即チ實生活ニ實踐  
サレヌト云フヤウナモノデアツタナラバ、  
ソレハ決シテ眞ノ武道ト云フコトハ出来ナ  
イ、板張ヤ、鼻敷ノアノ道場ト云フモノハ  
謂ハバ樂屋デアアル、舞臺デハナイ、其ノ樂  
屋ダケノ武道ヲ一般ニ武道ダト言フモノデ  
スカラ、武道ノ品位ガ高ク考ヘラレナイノ  
デアアル、然ラバ樂屋デナイ舞臺トハ何デア  
ルカト云フト、政治生活、或ハ經濟生活、文  
化生活、此ノ生活舞臺其ノモノガ舞臺デア  
ルノデアリマシテ、此ノ舞臺ニ於テ演ゼラレ  
ル武道ガ私ハ眞ノ武道デアルト考ヘテ居ル  
ノデアリマス、此ノ前大臣ハ「ソコガ武道ダ」ト  
云フ御話ガアリマシタ、私モ是ハ興味深ク拜  
聽致シタノデアリマスガ、ソレト同ジヤウナ  
コトガ武道ノ聖書ト言ハレテ居ル宮本武藏  
ノ五倫書ニ書イテアル、即チ「兵法ノ身ヲ常ノ  
身トナシ常ノ身ヲ兵法ノ身トナスコト肝要  
也」是ガ大臣ガ「ソコガ武道ダ」ト言ハレタ  
言葉ノ内容ト全ク同ジモノダラウト思フ、  
此ノ宮本武藏ノ五倫書ニ書イテアル言葉ヲ  
大臣ハ「ソコガ武道ダ」ト云フ言葉ニ依ツテ御  
説明ニナツタノダト思ヒマスガ、更ニ此ノ  
五倫書ニ於キマシテハ「兵法ノ利ニマカセテ  
諸藝諸能ノ道トナセバ吾ニ匠師ナシ」ト云フ  
コトヲ言ツテ居リマスガ、是ハ武道ヲ解釋ス  
ル上ニ於テ洵ニ味ハフベキ言葉ダト考ヘル  
ノデアリマス、然ルニ從來ノ武道ハ唯技  
術的ニ又精神的ニ道場ニノミ踞シテ、隨  
テ仕合第一義ニ解サレ、勝チサヘスレバ  
宜イ、勝テバ段ガ上リ、段ガ上レバ自分ノ  
生活ガ保障サレル、ダカラ勝星ヲ稼ギサヘ

スレバ宜イト云フ試合第一主義ニ墮シテシ  
マツテ、精神ノ修練トカ、人格ノ陶冶ト云  
フコトハ第二義的、第三義的ニシカ取扱ハ  
レテ居ナカッタノデアリマス、ソレデア  
カラ從來ノ武道ガ「スポーツ」武道トカ、體  
育武道トカ云フヤウナ非難マデ受ケルヤウ  
ニ相成リ、或ハ一般ノ體育運動ト對等視サ  
レ、或ハソレ以下ニ取扱ハレルヤウニナツ  
タノデアリマス、武道家モ、武道團體モ亦  
政府ノ指導的立場ニ居ラレル人々モ擧ゲテ  
此ノ流弊ニ陥ツテ居ル、ソレガ爲ニ武道界  
ニ種々ノ惡弊ガ生ズル原因ヲ作ツタト云フ  
コトハ否ムコトノ出来ナイ從來ノ武道界ノ  
實情デアツタノデアリマス、今大臣ノ御言  
葉ノ通り、武道ハ肇國以來非常ニ貢獻シタ  
ノダ、而モ是ハ國體ニ淵源ヲ發シテ居ル  
ノダ、洵ニ其ノ通り、ソコデ私ハ只今申上  
マシタヤウニ、嚴肅崇高ナ武道デアリマシ  
テ、其ノ武道ハ道場ダケニ踞シテヌデ、之  
ヲ生活舞臺ニ於テ活用シテ行クヤウニセナ  
ケレバナラナイ、斯ウ云フ風ニ武道ニ對ス  
ル信念ヲ持ツテ居ルノデアリマス、私ハ昨  
日文部省當局ニ武道ニ對スル信念、武道觀  
ヲ質シタノデアリマス、ソレニ對シテ文部  
省ハ技術ヤ身體ノ強健ト云フコトモ其ノ目  
的ノ一ツデハアリマスガ、最モ大キナ目的  
ハ旺盛ナル精神力、剛健不屈ノ氣魄、進取  
ノ氣象、必勝ノ信念、正義、廉恥、仁義等ノ  
精神ヲ養フニアル、即チ精神訓育ガ其ノ第  
一義デアルトノ明快ナル御答辯ヲ承ツタノ  
デアリマス、此ノ際私ハ一寸御斷リシテ、  
此處テ速記ニ止メテ置イテ戴キタイノデア  
リマス、私ハ實ハ文部當局ノ御答辯ヲ感違  
ヒヲ致シマシテ、ドウモ只今ノ文部當局ノ  
御答辯ニ對シテハ少シ私ハ異見ガアルカノ

ヤウニ私ノ意見ヲ言ツタノデアリマスガ、  
ソレハ私ノ間違デアリマスカラ、此ノ機會  
ニ私ハ取消シテ置キマス、全ク文部當局ノ  
御答辯ニ對シテハ全幅ノ同意ヲ表スル次第  
デアリマス、今マデ私ノ武道ニ對スル愚見  
ヲ概略デアリマシタガ一應申述ベタノデ  
アリマス、之ニ對シテ大臣ハ固ヨリ私ノ意  
見、文部省ノ意見ニ對シテモ御同感ノ意ヲ  
表シテ戴ケルト思ヒマスガ、之ニ對シテ大  
臣ノ御所見ヲ伺ヒマス  
○小泉國務大臣 只今藤生君カラ武道ノ本  
旨ニ付テ信念ヲ御吐露ニナリマシタ點ハ傾  
聽致シマシタ、洵ニ御同感ノ至リデアリマ  
ス、又文部當局ノ申上ガマシタコトモ當然  
然ルベキモノト存ジテ居リマス、要スルニ  
此ノ時局ニ於キマシテハ、先程モ申上ガマ  
シタヤウニ此ノ日本武道ノ精神ニ徹底ヲ  
シ、即チ國民生活ガ、悉ク實生活ニマデ武  
道ノ精神ガ徹底シナケレバナラヌ、是ハ私  
ガ十數年前ヨリ青少年ニ「ラジオ」ナリ、其ノ  
他デ呼掛ケマシタ所ノ、藁工品ヲヤツテ藁  
ヲ切ツテ居ル其ノ時ニ、蜘蛛ノ巢ノ張ツテ  
居ルノヲ見テ詩ヲ作ルコトモ、悉クソレガ  
武ノ精神ヲ練リ、武道ヲ磨ク所以デアルト  
云フコトヲ申シテ居ルノハ、即チ生活自體ヲ  
通シテ武道ト云フモノガ磨カレルモノデア  
ル、唯道場ニ踞スルノデハナイ、ソレハ  
一ツノ順序デアルト云フコトヲ申シテ居ル  
ノデアリマシテ、只今藤生君ノ御話ノ通り  
全ク同感デアリマス

○藤生委員 大臣ノ御同意ヲ得マシタヤウ  
ナ、サウ云フ武道觀ニ立脚致シマシテ、私  
ハ武道ト體育運動ト云フモノガ混同サレル  
ヤウナコトガアツテハナラヌト云フコトヲ  
昨日ノ委員會ニ於テモ強調シタノデアリマス、  
此ノ點ヲ一ツ大臣モ能ク吞込シテ戴イテ、大  
臣ノ英斷ヲ切望シテ已マナイノデアリマ  
ス、體育運動トハ日本ノ權威者、或ハ西洋ノ  
其ノ方面ノ權威者モ齊シク同ジ見解ヲ下シ  
テ居ラレルヤウニ「フイジカル・エジケーン  
ン」即チ身體ノ強健ヲ第一ノ目的トスル、  
是ガ體育運動ノデアリマス、然ルニ武  
道ハ生カ死カ、生死ヲ一瞬ノ間ニ決シヨ  
ウト云フ技術、即チ武術デアアル、此ノ武  
術ノ千鍊萬鍛ニ依ツテ先程モ大臣カラ御話  
ガアリマシタヤウニ、大義武士道ノ精神、  
即チ軍人勲諭ノ御精神ヲ修行シ、實踐シ  
顯揚スル所ノ道ガ即チ武道デアアルノデア  
リマス、昔ノ各藩ニ於テ武道ニ對シテハ罰  
則ヲ設ケテ強制的ニ之ヲ修行サシタ、ソレ  
デ體育運動ナドト違ツテ武道ヲ修行道、苦  
行道トサヘ言ツテ居ルノデアリマス、ソ  
コデ吾々ガ體育運動ト武道トヲハツキリ  
區別ヲシナケレバナラヌト云フコトニ付テ、  
即チ體育運動ハ身體ノ強健ヲ第一ノ目的ト  
スル、武道ハ精神訓育ガ第一義デアアル、  
此ノ點ニ付テ「講孟剋記」ニ斯ウ云フコト  
ヲ書イテアル、「武士ノ武士タル所ハ國ノ  
タメニ命ヲ惜マヌコトナリ、弓馬刀槍ノ技  
藝ニ非ズ、國ノタメニ命ヲ惜マヌバ技藝ナ  
シト雖モ武士ナリ、技藝アリト雖モ國ノタメ  
命ヲ惜ムハ武士ニ非ズ、然レドモ武士ノ武  
士タル所ヲ知ル上ハ技藝固ヨリ捨ツベキニ  
非ズ」ト精神第一主義ノコトヲ明瞭ニ致シ  
テ居ルノデアリマス、故ニ武道ニ於ケル體  
育的ノ價值ト云フモノハ此ノ生カ死カ、生  
死ヲ一瞬ノ間ニ決スルノダ、其ノ武術ノ千鍊  
萬鍛ノ過程ニ於テ體育的價值ハ副産物的ニ、  
必然的ニソレニ伴ツテ來ルノデアリマス、  
デアリマスカラ武道ヲウント獎勵スレバ

獎勵スル程體育的價值ハ之ニ伴ツテ高クナルノデアリマス、所ガ從來ノ政府ノヤリ方ヲ見マス、昨日私ハ色々例ヲ擧ゲテ御説明申上ゲタノデアリマスガ、色々ナ制度、組織ノ上ニ於テ、從來ノ政府ハ武道ヲ體育以下ニ取扱ツテ來テ居ル、體育ト同等若シクハ同等以下ニ取扱ツテ來テ居ル、時間ガ掛リマスカラ詳シクハ申述ベマセヌガ、タツタニツシカナイ政府ノ武道教師養成機關デサヘモ、高等師範學校ノ體育部ノ中ノ一部トシテアル、今度出來タ東京高等體育專門學校ノ中ニ武道養成機關モアリマスガ、同ジク東京高等體育專門學校ノ如ク體育ノ名ニ包容サレテ居ル、此ノ間武道ノ先生、高野劍道範士、磯貝柔道範士、是ガ武道ニ多年ノ功勞ガアツタト云フノデ表彰サレタガ、武道功勞者トシテデハナク、體育功勞者トシテノ體育功勞者デアル、既ニ斯ウ云フヤウニ體育ト云フ名ニ於テ武道ガ取扱ハレテ居ルト云フコトハ、武道ガ體育以下ニ取扱ハレテ居ルヤウニ私ハ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、私ハ斯クノ如ク我が國體ニ淵源ヲ發スル嚴肅、崇高ナル、神ト一元一如ノ關係ニアル所ノ精神訓育ヲ第一義トスル所ノ武道ト、自由主義、個人主義、或ハ共產主義トカ云フヤウナ、我が國體ト相容レザル所ノ精神、思想ノ祖國、其ノ外國ニ最モ流行シ、發達シタ所ノ體育運動、興味ヲ追求スル「スポーツ」性ヲサヘ内容トスル所ノ體育運動、身體強健ヲ第一ノ目的トスル其ノ體育運動同一ノ水準ニ於テ論ジ、或ハ水準以下ニ之ヲ論ズルト云フコトハ斷ジテ日本主義的デハナイ、皇道ヲ振起スル所以デハナイト考ヘマス、此ノ點ニ於テ私ハ重大ナル質疑ヲ大臣ニ致シタイト思ヒマ

ス、此ノ間下ナタカニ配付ニナリマシタ厚生省ノ官制ヲ拜見致シマシタガ、厚生省ノ官制ノ示スヤウニ、厚生省ト云フモノハ國民ノ衛生、保健ヲ專ラ主管スル所ノ役所デアリヤウニ私ハ了解致シテ居リマス、其ノ厚生省ニ於テ精神訓育ヲ第一義トスル武道行政ヲ御取扱ヒニナルト云フコトハ、——是ハ私ガ只今ズツト述ベテ來タ、其ノ述ベタ所ニ對シテ大臣モ御同感ノ意ヲ表シテ下サツテ居リマスガ、其ノ武道ノ本質ニ照ラシテ甚ダ不合理デナイカト思フ、私ハ多年之ヲ念願致シテ居ルノデアリマスルガ、宜シク厚生省ノ武道行政ニ關スル所ノ事務ト云フモノハ、内閣若シクハ文部省ニ返上或ハ移管スベキコトガ當然デアアル、又武道ニ忠實ナル所以デアルト、私ハ斯様ニ考ヘマス、是ハ中々重大ナ問題ト思ヒマ

ス、之ニ對スル大臣ノ御考ヘハ如何デゴザイマスカ、承リタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 武道ト體育運動トニ付テ御話デゴザイマシタガ、體育運動ハ、只今モ御話ノ中ニアリマシタヤウニ、其ノ發達ガ外國等カラ其ノ結果ヲ採ツタト云フヤウナ點ガアリマシテ、體育運動ノ實際面ニ於キマシテハ、國體或ハ日本ノ姿ニ相應シクナイモノガ過去ニ於テ多々アツタト云フコトハ事實デアルト存ジマス、又サウ云フモノガ一ツノ興味本位ニ、即チ自由主義的ナ興味追求ノ觀念カラ斯ウ云フモノノ流行ヲ來シタト云フコトモ是亦事實デアリマシテ、其ノ結果恰モソレガ主デアツテ、武道ガ其ノ下ノモノデアルト云フヤウナ風ニ考ヘラレヤウナ節ガ多々アツタコトモ甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマス、今日武道ハ先程來御話ノ通り、又體育運動ニ於キマシテモ、ア

メリカ」或ハ其ノ他ノ外國ガ考ヘテ居リマ

スルヤウニ、唯單ニ身體ノ教育、肉體的教

育ト云フヤウナ意味ノモノカラ蟬脫致シマ

シテ、茲ニ日本精神ニ立脚シ、基調ヲ求

メタル、而モ刻下ノ要請ニ即應スルヤウ

ナ一ツノ體育運動ト云フモノガ茲ニ生レテ

來ナケレバナラナイ、即チ今日ハ從來ノ體

育運動ハ體道ト云フ一ツノ道ニマデ及ンデ

來ナケレバナラナイト存ジテ居ル次第デア

リマス、此ノ意味ニ於キマシテ、厚生行政

ノ機構ノ上ニ於キマシテ武體道——從來

ノ體育運動ヲ更ニ日本的ニシ、日本化ス

ト云フ御國振リノ明カナル體育運動トスル

ト云フコトノ爲ニハ、強ク此ノ行政ノ指導

力ヲ及ボシタイ、斯ウ考ヘテ機構ノ上ニ勸

案ヲ致シテ居ル次第デアリマス、而シテ健

民、健兵、此ノ本ハ精神ト肉體、全ク一如ノ

發達育成ニ依ツテ初メテ全ウスルコトガ出

來ル次第デアリマシテ、此ノ意味ニ於キマ

シテ、今日行政上ニ於キマシテ、厚生省ニ

於テ武道ノ一課アリ、又將來ノ體道ヘノ

一課アリト云フ風ニシテ、政府部内ニ於

テ、教育トシテノ文部當局トノ間ニ茲ニ緊

密ナル一體的ノ行政ノ運営ヲ全ウシテ行キ

タイ、斯ウ考ヘテ、先般ノ行政機構ノ改革

ニ於テモ處置致シタヤウナ次第デアリマス、

其ノ實體ハ只今申上ゲマシタヤウナ次第

デアリマスノデ、其ノ間文部ニアリ、厚生ニ

アリ、體鍊課ニアリ、武道課ニアリ、練武

課ニアリト云フコトニ依ツテ、其ノモノガ

違ツテ居ルト云フヤウナコトデナク、全ク

一ツノ道トシテ進メテ行キタイ、唯其ノ運

營ノ爲ニ行政機構上最モ都合ノ好イヤウニ

處置シテ居ル次第デアリマス

○藤生委員 只今大臣ノ御答辯デ、從來ノ

體育ハ成程君ノ言フ通りノ弊害ガアツタノ

ダ、併シナガラ最近ノ體育ハモウ必ズシモ

サウデハナイ、殊ニ日本ノ體育ト云フモノ

ハ、體道ト云フ風ナ名前ニ依ツテ取扱ツ

テ、所謂御國振リニ之ヲ指導シテ行カタク

チヤナラスト云フヤウナ理想ヲ御述ベニナ

リマシタガ、併シナガラ體道トシテ、如何

ニ御國振リニ直シテモ、本當ノ武道ノ水準ニ

マデ引上ゲルコトハ出來ナイ、ヤハリ武道

ノ方ハ山鹿素行先生ガ「本朝武ヲ以テ先ト爲

ス」ト云ハレテ居ルガ、飽クマデモ本朝武ヲ

以テ先トナサナケレバナラス、體育ト武道

ト何レヲ先ニスルカ、其ノ先後緩急ノ度ト

云フモノハ自ラ明瞭デアアル、曖昧ナル言葉

ヲ以テ、體育運動ト武道、其ノ獎勵ノ先後

緩急ノ度ヲドウスルカト云フコトニ對シテ、

私ハ不明確ニシテハイケナイト思フ、其ノ

コトニ對シテハ昨日モ次官ニ追究致シマシ

タ、次官モ明確ニ第一ニ武道ヲ獎勵スルコ

トハ當リ前ノコトデアルト言ツテ、力強イ

言明ヲ得タノデアリマス、ソコデ第一ニ武

道ヲ獎勵スルト云フコトデアレバ、ソレダ

ケノ熱意ガアレバ當然厚生省デ扱フ所ノ武

道行政ト云フモノハ武道ノ本質ニ照ラシテ、

内閣ナリ、文部省ナリニ移管シ、返上スル

コトガ本當ノ處置デハナイカト、斯ウ考ヘ

テ實ハ御尋ネ致シタノデアリマス、之ニ對シ

テハツキリシタ御答辯ヲ戴クコトノ出來ナ

カツタノハ洵ニ殘念デゴザイマスガ、私ハ

ソレハ只今厚生大臣トシテノ御立場ニ居ラ

レルカラ無理モナイコトダト思ヒマスケレ

ドモ、併シナガラ行政長官ト云ツタツテ、

サウ何時マデモオヤリニナル譯デヤアルマ

イシ、サウ行政長官トシテノ小サイ情實、

感情ニ囚ハレナイデ、本當ノ武人トシテノ

面目ヲ沈黙考シテ、此ノ際勇斷シテ武  
行政ヲ文部省ナリ、内閣ナリニ返上サレタ  
ナラバ、厚生省ノ今ノ役人諸君ハ怪シカラ  
ヌ大臣ダト言ツテ或ハ不平ヲ言フカモ分リ  
マセヌガ、ソレナコトハ言フニ足ラヌト思  
フ、是ハ大キキ國家的意義ガアルト思フ、  
私ハモウ一度御再考願ヒタイ、元來厚生省  
デ武道ヲ取扱フヤウニナツタノハ、吾々ガ  
第七十三議會デ各派共同提案トシテ武道振  
興ニ關スル決議案、此ノ決議案ノ結果、厚生  
省ガ武道ヲ取扱フヤウニナツタケレドモ、

ナイ昔ニ還ス意味ニ於キマシテモ、又國家  
的意義カラ言ツテモ、私ハ此ノ際大ニ厚生  
生大臣ニ頑張ツテ決心シテ戴キタイト思ヒ  
マスガ、ドウデスカ、御決心ニハナリマセ  
ヌカ  
○小泉國務大臣 御答へ致シマス、只今ノ  
政府ニ於キマシテハ、各行政大臣其ノ各、ノ  
行政長官トシテノ責任ノ重大ナルヲ感ズル  
ト共ニ、國務大臣トシテ國家ノ重要國策ニ  
對シマシテハ、全部私心ヲ微塵モ持ツテ居  
リマセヌ、而シテ心身一如、國民ノ眞ノ鍊  
成、眞ノ保健ト云フコトハ、唯外國式ノ形  
ヲ逐ウテ居ルモノデハゴザイマセヌ、肉體  
ト心ト何處ニモ岐レルコトノ出來ナイ立派  
ナ日本本來ノ國民ノ體力ヲ鍊成シヨウト云  
フコトガ厚生省ノ大キキ目的デアリマス、  
此ノ意味ニ於テ國民全般ニ對スル武道ノ精  
神ヲ體得セシメテ、之ニ依ツテ日本式ノ本  
當ノ精神ヲ體得シテ身體ノ持主トラシムル  
爲ニ、厚生省ト致シマシテ此ノ武道ト云フ  
コトノ面ニ大キキ行政力ヲ拂ツテ居ル次第  
デアリマシテ、決シテ文部省、或ハ厚生省ト  
云フヤウナ、ソレナケテチナ考ヘテ今日  
ノ時局ヲ乘切ツテ行カウトハ思ヒマセヌ、  
隨ヒマシテ教育ノ方面カラ智育、德育、體  
育ト云フモノヲ三位一體トシテ教育ハ進メ  
テ行ク、即チ國民鍊成ノ意味カラ心身一如  
ノ鍊成ヲヤツテ行ク、其ノ行政ノオヒヒノ  
分擔ニ於キマシテ共ニ相提携シテ國家目的  
ニ副ヒタイト云フノニハ、斯ウ云フ風ナ行  
政機構ガ最モ宜イト信ジテヤツテ居ル次第  
デアリマシテ、其ノ他ハ御意見トシテハ拜  
承ヲ致シテ置キマスガ、只今吾々ハサウ考  
ヘテ居リマス

決議案ヲ出シタ吾々ノ精神ハ斷ジテ武道ヲ  
厚生省デ取扱ツテ貫ヒタイト云フ意思ハ少  
シモナカツタ、ソレデ私ハ時ノ文部大臣ニ  
向ツテ精神訓育ヲ第一義トシ、第一ノ目的  
トスル武道ヲ國民保健衛生ヲ主管トスル厚  
生省ニ取扱ハセルト云フコトハ吾々ハ大反  
對デアアル、ナゼ文部省ニ之ヲ取ラヌカト言  
ツテ、時ノ文部大臣ニ喰ツテ掛ツタ、所ガ  
君ノ言フ氣持ハ分ル、併シナガラ君ノ言フ  
本當ノ武道ハ、僕ハ學校武道トヲ持ツテ居  
ルカラ、學校武道ヲ獎勵シ、振興スルカラ  
宜イデヤナイカ、併シ厚生省ガ頻リニヤカ  
マシク言フカラ、アノ位ハ向フニヤツテモ  
宜イデヤナイカト言ハレタ、非常ニ私ハ其  
ノ時ニ不満足デアツタノデス、聞ク所ニ依  
ルト、是ハ厚生省ニ所管スベキカ、或ハ文  
部省ニ所管スベキカト云フコトハ、内閣ノ  
法制審議會デモ非常ニ問題ニナツタ、法制  
審議會デモ反對デアツタ、所ガ厚生省ハ豫  
算ヲ取ツテ居ツタノデ仕方ガナイト云フノ  
デ、豫算ヲ取ツタ方ガ強イト云フノデ、是  
ガ厚生省ノ所管ニナツタ、厚生省ノ所管ニ  
ナツタ経緯ヲ考ヘテ見ルト無理ガアツタ、  
不自然ガアツタ、ダカラ此ノ無理ヲ無理デ

スコトハ私ハ行政長官トシテアナタガ私心  
ガアルト云フ風ナコトハ少シモ微塵モ考ヘ  
テ居リマセヌ、唯人情トシテ斯ウ云フ風ナ  
コトハアリ得ルコトデアリマスカラ、ソレ  
デ私ハサウ云フ人情ガアルトスルナラバ、  
サウ云フモノハ棄テテ、大所高所カラ國家  
的ニ勇斷サレテハ如何デスカト云フ意味デ  
アツテ、決シテ私心トカ何トカ云フ氣持ハ  
更々ナイ譯デアリマスカラ、誤解ノナイヤ  
ウニ願ヒマス  
ソコデ今ノ御答辯ニ對シテモ意見ヲ申上  
ゲタイト思ヒマスガ、尙ホ更ニ進マナケレ  
バナリマセヌカラ、其ノ問題ニ對シテハ其  
ノ位ニ致シテ置キマスガ、此ノ武德大會  
ノ結成式ニ於テ賜ハリマシタ令旨ノ中ニ、  
武道ハ節義廉恥ノ志操ヲ涵養スルモノデア  
ルト述ベテアリマス、固ヨリ其ノ通りデア  
リマス、然ラバ節義廉恥ノ志操ト云フモノ  
ハ、是ハ何デアルカト云フコトヲ申上ゲマス、  
ト、是ハモウ諄々シク申上ゲルコトハナイ、  
簡單ニ申上ゲマスガ、一言ニシテ言ハバ皆  
サンモ御承知ノ通り正シキコトヲ行ツテ耻  
ヲ知ル、武士道ノ言葉デ言ヘバ「進退ニ義  
ニ就ク」ト云フ言葉ノ意味ニ外ナラナイト思  
ヒマス、サウシテ見ルト、節義廉恥ノ志操  
ヲ涵養セシムベキ厚生省ノ責任ハ極メテ重  
且ツ大ト言ハナケレバナラスノデアリマス、  
「人能ク道ヲ弘メ道人ヲ弘ムルニアラズ」ト云  
フ言葉ガアリマスガ、其ノ局ニ人ヲ得ルト  
云フコトハ中々大切ナコトデアリマス、武  
教本論ニ「政治ノ要諦ハ其ノ局ニ立派ナ人物  
ヲ得ルコトニ在ル、ソレ故ニ人物ノ如何、  
ソノ正偽ヲ明ニスル事ハ主タルモノノ勤メ  
デアル、文武百官ハ必ズ人物ヲ選ンデ任用  
スベク、選任正シカラザルハ國家亂ルルニ

至ル」斯ウ述ベテアルノデアリマスガ、是ハ  
多クノ部下ヲ持ツテ居ラレル厚生大臣トシ  
テ、是非味ハツテ戴キタイト思フノデアリマ  
ス、ト申シマスノハ、是ハ此ノ前ノ綜合武道  
團體組織ニ關スル審議委員會ニ付テ、其ノ  
委員會ハ先程申上ゲマシタヤウニ、吾々ガ  
出シタ決議案ノ精神ニ依ツテ出來テ居ル、  
謂ハバ其ノ委員會ノ生ミノ親ハ衆議院ナン  
デス、其ノ衆議院カラ一名ノ委員モ其ノ委  
員會ニ加ヘテナイト云フコトハ是ハ怪シカ  
ラヌデヤナイカト云フヤウナコトデ、吾々ノ  
議員武道聯盟ノ實行委員ノ委員會ニ於テ問  
題ニナツタ、ソコデ怪シカラヌカラ藤生君  
一ツ糾明シテ呉レト云フ實行委員會ノ決議  
ニ從ツテ、體力法委員會ニ於テ質問スルコ  
トニシテ居ツタ、所ガ豫メ私ハ厚生省ノ方  
方ニ御用意ヲ願フト云フ意味ニ於テ、披討  
ハ武士道ニアラズト思ツテ、御用意願ハウ  
ト思ツテ、斯ウ云フ質問スルカラト云フ  
コトヲ申上ゲタ所ガ、厚生省ノ役人ノ方々  
ハ——人口局長ガイヤソレハモウ聽テ衆議  
院カラモ委員ニナツテ戴クコトニシテ居リマ  
スカラト言ツテ、私ガ其ノ問題ニ付テ質問  
スルコトヲ好マザル風デアリマシタカラ、私ハ止  
メタ、所ガ一向今日マデ實現シナイ、實現シ  
ナイノミナラズ、其ノ後鍊武課長ノ如キハ、會  
ノ度ニモウ直ガ發令ニナリマスカラト言ツテ  
居ツタニモ拘ラズ、實現シナイ、實現シナカ  
ツタコトニハ何等一言ノ釋明モナケレバ、辯明  
モナイ、私ハ是ガ實現シナカツタコトヲ咎  
メテ居ルノデヤナイ、人ヲ僞ハル、人ヲ瞞  
シタ、ソレヲ私ハ言フノデス、即チ節義廉  
恥ノ志操、恥ヲ知ル精神ガ健在デアルカト  
云フコトヲ私ハ問ヒタイ、サウ云フ者ガ鍊  
武課長ト云フヤウナ地位ニ居ルト云フコト

藤生委員 御斷リシテ置カナケレバナラ

至ル」斯ウ述ベテアルノデアリマスガ、是ハ  
多クノ部下ヲ持ツテ居ラレル厚生大臣トシ  
テ、是非味ハツテ戴キタイト思フノデアリマ  
ス、ト申シマスノハ、是ハ此ノ前ノ綜合武道  
團體組織ニ關スル審議委員會ニ付テ、其ノ  
委員會ハ先程申上ゲマシタヤウニ、吾々ガ  
出シタ決議案ノ精神ニ依ツテ出來テ居ル、  
謂ハバ其ノ委員會ノ生ミノ親ハ衆議院ナン  
デス、其ノ衆議院カラ一名ノ委員モ其ノ委  
員會ニ加ヘテナイト云フコトハ是ハ怪シカ  
ラヌデヤナイカト云フヤウナコトデ、吾々ノ  
議員武道聯盟ノ實行委員ノ委員會ニ於テ問  
題ニナツタ、ソコデ怪シカラヌカラ藤生君  
一ツ糾明シテ呉レト云フ實行委員會ノ決議  
ニ從ツテ、體力法委員會ニ於テ質問スルコ  
トニシテ居ツタ、所ガ豫メ私ハ厚生省ノ方  
方ニ御用意ヲ願フト云フ意味ニ於テ、披討  
ハ武士道ニアラズト思ツテ、御用意願ハウ  
ト思ツテ、斯ウ云フ質問スルカラト云フ  
コトヲ申上ゲタ所ガ、厚生省ノ役人ノ方々  
ハ——人口局長ガイヤソレハモウ聽テ衆議  
院カラモ委員ニナツテ戴クコトニシテ居リマ  
スカラト言ツテ、私ガ其ノ問題ニ付テ質問  
スルコトヲ好マザル風デアリマシタカラ、私ハ止  
メタ、所ガ一向今日マデ實現シナイ、實現シ  
ナイノミナラズ、其ノ後鍊武課長ノ如キハ、會  
ノ度ニモウ直ガ發令ニナリマスカラト言ツテ  
居ツタニモ拘ラズ、實現シナイ、實現シナカ  
ツタコトニハ何等一言ノ釋明モナケレバ、辯明  
モナイ、私ハ是ガ實現シナカツタコトヲ咎  
メテ居ルノデヤナイ、人ヲ僞ハル、人ヲ瞞  
シタ、ソレヲ私ハ言フノデス、即チ節義廉  
恥ノ志操、恥ヲ知ル精神ガ健在デアルカト  
云フコトヲ私ハ問ヒタイ、サウ云フ者ガ鍊  
武課長ト云フヤウナ地位ニ居ルト云フコト

至ル」斯ウ述ベテアルノデアリマスガ、是ハ  
多クノ部下ヲ持ツテ居ラレル厚生大臣トシ  
テ、是非味ハツテ戴キタイト思フノデアリマ  
ス、ト申シマスノハ、是ハ此ノ前ノ綜合武道  
團體組織ニ關スル審議委員會ニ付テ、其ノ  
委員會ハ先程申上ゲマシタヤウニ、吾々ガ  
出シタ決議案ノ精神ニ依ツテ出來テ居ル、  
謂ハバ其ノ委員會ノ生ミノ親ハ衆議院ナン  
デス、其ノ衆議院カラ一名ノ委員モ其ノ委  
員會ニ加ヘテナイト云フコトハ是ハ怪シカ  
ラヌデヤナイカト云フヤウナコトデ、吾々ノ  
議員武道聯盟ノ實行委員ノ委員會ニ於テ問  
題ニナツタ、ソコデ怪シカラヌカラ藤生君  
一ツ糾明シテ呉レト云フ實行委員會ノ決議  
ニ從ツテ、體力法委員會ニ於テ質問スルコ  
トニシテ居ツタ、所ガ豫メ私ハ厚生省ノ方  
方ニ御用意ヲ願フト云フ意味ニ於テ、披討  
ハ武士道ニアラズト思ツテ、御用意願ハウ  
ト思ツテ、斯ウ云フ質問スルカラト云フ  
コトヲ申上ゲタ所ガ、厚生省ノ役人ノ方々  
ハ——人口局長ガイヤソレハモウ聽テ衆議  
院カラモ委員ニナツテ戴クコトニシテ居リマ  
スカラト言ツテ、私ガ其ノ問題ニ付テ質問  
スルコトヲ好マザル風デアリマシタカラ、私ハ止  
メタ、所ガ一向今日マデ實現シナイ、實現シ  
ナイノミナラズ、其ノ後鍊武課長ノ如キハ、會  
ノ度ニモウ直ガ發令ニナリマスカラト言ツテ  
居ツタニモ拘ラズ、實現シナイ、實現シナカ  
ツタコトニハ何等一言ノ釋明モナケレバ、辯明  
モナイ、私ハ是ガ實現シナカツタコトヲ咎  
メテ居ルノデヤナイ、人ヲ僞ハル、人ヲ瞞  
シタ、ソレヲ私ハ言フノデス、即チ節義廉  
恥ノ志操、恥ヲ知ル精神ガ健在デアルカト  
云フコトヲ私ハ問ヒタイ、サウ云フ者ガ鍊  
武課長ト云フヤウナ地位ニ居ルト云フコト

至ル」斯ウ述ベテアルノデアリマスガ、是ハ  
多クノ部下ヲ持ツテ居ラレル厚生大臣トシ  
テ、是非味ハツテ戴キタイト思フノデアリマ  
ス、ト申シマスノハ、是ハ此ノ前ノ綜合武道  
團體組織ニ關スル審議委員會ニ付テ、其ノ  
委員會ハ先程申上ゲマシタヤウニ、吾々ガ  
出シタ決議案ノ精神ニ依ツテ出來テ居ル、  
謂ハバ其ノ委員會ノ生ミノ親ハ衆議院ナン  
デス、其ノ衆議院カラ一名ノ委員モ其ノ委  
員會ニ加ヘテナイト云フコトハ是ハ怪シカ  
ラヌデヤナイカト云フヤウナコトデ、吾々ノ  
議員武道聯盟ノ實行委員ノ委員會ニ於テ問  
題ニナツタ、ソコデ怪シカラヌカラ藤生君  
一ツ糾明シテ呉レト云フ實行委員會ノ決議  
ニ從ツテ、體力法委員會ニ於テ質問スルコ  
トニシテ居ツタ、所ガ豫メ私ハ厚生省ノ方  
方ニ御用意ヲ願フト云フ意味ニ於テ、披討  
ハ武士道ニアラズト思ツテ、御用意願ハウ  
ト思ツテ、斯ウ云フ質問スルカラト云フ  
コトヲ申上ゲタ所ガ、厚生省ノ役人ノ方々  
ハ——人口局長ガイヤソレハモウ聽テ衆議  
院カラモ委員ニナツテ戴クコトニシテ居リマ  
スカラト言ツテ、私ガ其ノ問題ニ付テ質問  
スルコトヲ好マザル風デアリマシタカラ、私ハ止  
メタ、所ガ一向今日マデ實現シナイ、實現シ  
ナイノミナラズ、其ノ後鍊武課長ノ如キハ、會  
ノ度ニモウ直ガ發令ニナリマスカラト言ツテ  
居ツタニモ拘ラズ、實現シナイ、實現シナカ  
ツタコトニハ何等一言ノ釋明モナケレバ、辯明  
モナイ、私ハ是ガ實現シナカツタコトヲ咎  
メテ居ルノデヤナイ、人ヲ僞ハル、人ヲ瞞  
シタ、ソレヲ私ハ言フノデス、即チ節義廉  
恥ノ志操、恥ヲ知ル精神ガ健在デアルカト  
云フコトヲ私ハ問ヒタイ、サウ云フ者ガ鍊  
武課長ト云フヤウナ地位ニ居ルト云フコト

至ル」斯ウ述ベテアルノデアリマスガ、是ハ  
多クノ部下ヲ持ツテ居ラレル厚生大臣トシ  
テ、是非味ハツテ戴キタイト思フノデアリマ  
ス、ト申シマスノハ、是ハ此ノ前ノ綜合武道  
團體組織ニ關スル審議委員會ニ付テ、其ノ  
委員會ハ先程申上ゲマシタヤウニ、吾々ガ  
出シタ決議案ノ精神ニ依ツテ出來テ居ル、  
謂ハバ其ノ委員會ノ生ミノ親ハ衆議院ナン  
デス、其ノ衆議院カラ一名ノ委員モ其ノ委  
員會ニ加ヘテナイト云フコトハ是ハ怪シカ  
ラヌデヤナイカト云フヤウナコトデ、吾々ノ  
議員武道聯盟ノ實行委員ノ委員會ニ於テ問  
題ニナツタ、ソコデ怪シカラヌカラ藤生君  
一ツ糾明シテ呉レト云フ實行委員會ノ決議  
ニ從ツテ、體力法委員會ニ於テ質問スルコ  
トニシテ居ツタ、所ガ豫メ私ハ厚生省ノ方  
方ニ御用意ヲ願フト云フ意味ニ於テ、披討  
ハ武士道ニアラズト思ツテ、御用意願ハウ  
ト思ツテ、斯ウ云フ質問スルカラト云フ  
コトヲ申上ゲタ所ガ、厚生省ノ役人ノ方々  
ハ——人口局長ガイヤソレハモウ聽テ衆議  
院カラモ委員ニナツテ戴クコトニシテ居リマ  
スカラト言ツテ、私ガ其ノ問題ニ付テ質問  
スルコトヲ好マザル風デアリマシタカラ、私ハ止  
メタ、所ガ一向今日マデ實現シナイ、實現シ  
ナイノミナラズ、其ノ後鍊武課長ノ如キハ、會  
ノ度ニモウ直ガ發令ニナリマスカラト言ツテ  
居ツタニモ拘ラズ、實現シナイ、實現シナカ  
ツタコトニハ何等一言ノ釋明モナケレバ、辯明  
モナイ、私ハ是ガ實現シナカツタコトヲ咎  
メテ居ルノデヤナイ、人ヲ僞ハル、人ヲ瞞  
シタ、ソレヲ私ハ言フノデス、即チ節義廉  
恥ノ志操、恥ヲ知ル精神ガ健在デアルカト  
云フコトヲ私ハ問ヒタイ、サウ云フ者ガ鍊  
武課長ト云フヤウナ地位ニ居ルト云フコト



ハ、甚ダ吾々多少武道界ニ微力ヲ致シテ居  
ル者ト致シマシテハ迷惑千萬デアル、ソレ  
バカリデハアリマセヌ、今厚生次官ガ立ツ  
テ行カレタガ、私ハ厚生次官ノ居ラレル所  
デ中上ガタイト思ツテ居ツタガ、ヤハリ其  
ノ委員會ニ於テ相撲ハ武道デアル、アナタ  
ノ仰シヤルヤウナ内容ヲ持ツ相撲、即チ武  
道トシテノ相撲ヲ今後育成シテ行ク方針デ  
アルト云フコトヲ言明サレタ、サレタニモ  
拘ラズ、其ノ後ハヤハリ東條總理大臣モ言  
ハレルヤウニ娛樂ノ相撲、興行、職業相撲ト  
シテノ相撲ヲ明治神宮外苑邊リデ學生ニヤ  
ラセテ居ル、依然トシテ之ヲ獎勵シテ居ル  
ト云フコトハ心外千萬デアル、然ルニ文部  
省ハドウカト云フト、文部省ハ此ノ前ノ議  
會ニ於ケル吾々ノ論議ニ耳ヲ傾ケラレテ、  
又吾々ノ要求ヲ容レラレテ、去年ノ夏糧原  
神宮ニ於テ大日本學徒體育振興會ノ相撲部ノ  
大會ニ職業相撲ノ弊風ヲ一掃シテ、吾々ノ  
主張スル武道トシテノ相撲ヲ實行セラレタ、  
洵ニ吾々ハ感謝ニ堪ヘナイ、其ノ文部省ガ  
敢然トシテ實行サレタコトニ對シテ世間ノ  
評判ハドウデアツタカ、之ニ對シテハ絶讚  
ノ聲ガ浴セ掛ケラレ、非常ニ文部省ノ態度  
ヲ世間ハ禮讚シタ、所ガ文部省ガ之ヲヤツ  
テ非常ニ人氣ヲ博シタノデ、本當ニ武道ト  
シテノ相撲ヲ主張シテ居ル一部ノ人々ハ非  
常ニ心配シテ來タ、文部省ガ餘リ世間カラ  
好評ヲ得タモノダカラ、厚生省ハ或ハ此ノ  
文部省ノ好評ニ燒餅ヲ焼イテ、來ルベキ明  
治神宮ノ國民鍊成大會ニ於テ行ハレル所ノ  
相撲ノヤリ方ヲ又從來ノヤウナ職業相撲式  
ナヤリ方ヲヤラセルノデハナカラウカト云  
フヤウナコトヲ言ヒ出シタ、ソレデ私ハソ  
シナ馬鹿ナコトハナイ、ソレハ議會ニ於テ

約束モアリ、言明モアルコトダカラ、ソ  
シナ馬鹿ナコトハアルモノデヤナイ、心配要  
ラヌト言ウタ、併シ氣ニ掛ルモノデスカラ、  
私ハ役所ニ行ツテ體鍊課長ヤ、事務官ニ會  
ツテ、世間ニハ斯ウ云フ噂ガアルガト言ウ  
タ所ガ、冗談言ツテハイケマセヌヨ、吾々  
ハ文部省ヨリモツト進ンダ相撲ヲ今計畫實  
施シヨウトシテ居ル、ソナ心配ハ要リマ  
セヌヨト言フ、私ハ大イニ安心シテ、ソレ  
等ノ人ニ大丈夫ダ、心配ハ要ラヌト言ウタ、  
所ガ案ノ定明治神宮國民鍊成大會ニ於キマ  
シテハ從來ト少シモ變ラヌ職業相撲、娛樂  
相撲ノ様式ニ依ツテ學生相撲ガ行ハレタ、  
ソコデソレ等ノ人々ハ私ニ向ツテソレ御覽  
ナサイ、此ノ頃ノ代議士ハ役人カラ馬鹿ニ  
サレテ居リマスネト言ツテ冷ヤカサレタ、厚  
生省ノ爲ニ辯護シタ私ハ斯様ニ冷ヤカサレ  
ルヤウナ醜態ヲ演ジタノデアリマス、斯ウ  
云フ風ナ實例ヲ擧ゲルナラバマダ他ニモア  
リマスケレドモ、此ノ問題ニ直接關係ガア  
リマセヌカラ私ハ述ベマセヌガ、斯ウ云フ  
風ニ帝國議會ニ於ケル言明ヲ無視シ、人ヲ  
偽ツタリ、約束ヲ破ツタリシテ、恥ヲ知ラ  
ヌヤウナ行動ヲナス者ガ武道行政ノ衝ニ立  
ツテ、節義、廉恥ノ志操ヲ涵養スル武道ヲ  
指導シ之ヲ教育スル所ノ資格ハ斷ジテ私ハ  
ナイト思フ、昨今政府ノ役人ノ中ニハ東條  
總理大臣ヲシテ議會ニ於テ頭ヲ下ゲサセル  
ヤウナ非行ヲナス者ガアルト聞イテ居リマ  
スガ、苟クモ武道ヲ論ズル者ハ濱職收賄ト  
云フヤウナモノノミヲ非行トスルノデハナ  
イ、斯ノ如キ人ヲ騙シ、約束ヲ破リ、恥ヲ  
知ラヌヤウナ行ヲナス者ハ、濱職收賄等ノ  
一步手前ノ非行トシテ之ヲ糺彈致スノデア  
リマス、東條總理大臣ハ結成式席ニ於テ

武道ノ振興ハ官民一致協力シテ行カカクチ  
ヤイカヌ、昨日モ厚生次官ハ大同團結シテ  
行カネバヤイカヌト、大同團結官民一致デナ  
クテハ出來ナイト言ハレタ、ソレハ其ノ通  
リデスガ、サウ云フコトヲ言フ人ソレ自體  
ガ大同團結ヲ破ツテ居ル、私ハ甚ダ遺憾ニ思  
フ、議會人モ一般人モ時局ガ時局デアリマ  
スカラ、戰爭ニ勝タナクチヤナラヌト云フ  
譯デ、不平等アツテモ、不平等アツテモ  
ジツト我慢シテ居ル、其ノ我慢シテ居ルコ  
トヲ宜イコト、幸ヒニシテ獨善不遜ノ態度  
ヲ今後繼續スルヤウナコトガアツタラ、其  
ノ結果ハ恐ルベキデアリマス、私ハ今日ノ  
如ク國民ガ、殊ニ議會人デモ物ノ言ヘナイ  
ヤウナ時代ニ於キマシテハ不平等デアリマシ  
テモ、不平等デアリマシテモ、ソレガ表ニ現  
ハレナイ、其ノ現ハレナイ不平等ガドウ  
云フ所ニドウ云フ形デ現ハレテ行クカト云  
フコトニ對シテハ、慎重ナル態度ヲ取ツテ行  
カナクチヤナラヌト思フ、聲ナキニ聲ヲ聞  
キ色ナキニ色ヲ見ルト云フ心構ヘト、反省  
ト云フモノハ今日ノ政府ノ役人諸公ニハ特  
ニ私ハ痛切デアリヤウニ考ヘルノデアリマ  
ス、以上私ノ意見ヲ述ベタノデアリマスガ、  
部下監督ノ責任ヲ持ツテ居ラレル大臣ノ之  
ニ對スル御所見ヲ承リタイノデゴザイマス  
○小泉國務大臣 只今節義廉恥ノ思想ノ根  
本ニ付テ御話ガゴザイマシタ、私ハ先程申  
上ゲマシタ陸海軍人ニ賜ハリマシタ 御勅諭  
ノ御言葉ニ對シマシテ節義、廉恥ノ元ハ  
要スルニ、誠ノ一字ニアルト考ヘマシテ、  
全ク御話ノヤウナ氣持デ居リマス、而シテ  
此ノ武道精神ニ徹スルト云フ上ニ於テハ、  
要スルニ唯誠ノ一字、之ニ徹スルト云フコ  
トガ根本デアアルト思ヒマス、而シテ只今御

指摘ニナリマシタ綜合團體ヘノ委員ト云フ  
ヤウナコト、是ハ私ノ承知致シテ居リマス  
ル所デハ其ノ衝ニ當リマシタ所カラ議院ノ  
方ヘ委員ノ推薦方ヲ、御相談致シタノデア  
リマスガ、御推薦ガナカウツタ爲ニ議院ノ方  
ノ委員ガナカウツタ云フ風ニ承知致シテ居  
リマス、併シ是等ノ點ハ尙ホ篤ト調ベマス、  
私ハ今日部下ノ者ニ此ノ誠ノ一字ニ缺ケル  
ヤウナ行爲ハ絶對ニナイコトヲ確信致シテ  
居リマスガ、萬一ニモ其ノ間ニ何かアツ  
タト云フヤウナコトデモゴザイマシタナラ  
バ、十分ニ將來ハ注意ヲシテ戒飭シタイト  
考ヘマス、今日ニ於テ敢テ鍊武課ノ者ト限  
ラズ、厚生行政全般、其ノ點ニ於テ誠ノ一  
字ニ缺ケルヤウナコトハナイト確信致シテ  
居リマス  
○藤生委員 私ハ先程申上ゲマシタヤウ  
ニ其ノ實現シナカウツタコトヲ言フノデハナ  
イ、實現シナカウツタニ付テハ實現シナカウ  
タ事情モアツタラウト云フコトハ承知致シ  
テ居リマス、併シナガラ、サウナラサウノ  
ヤウニ一應ノ御言葉ハアツタ然ルベキダ、  
ソレヲ放ツタラカシテ置クト云フコトガイ  
ケナイノダ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ譯デ  
アリマス、尙ホ只今申上ゲマシタヤウニ、  
厚生省ハ議會ニ於テ武道ダトハツキリ確認  
サレテ、其ノ武道デアアル相撲ヲ維持育成ス  
ルト言ハレテ居ツタニモ拘ラズ、今度大日  
本武徳會ガ結成セラレテ、其ノ大日本武徳  
會ガ取扱ツタ武道ノ種目ノ中カラ相撲ガ除  
外サレテ居ルノデアリマス、ナゼ相撲ガ除  
外サレタカ、ソレニ付テハ此ノ雜誌ニ書イ  
テアル所ヲ見ルト、委員會ニ於テ二三反對  
ガアツタ、斯ウ書イテアリマスガ、ドウ云  
フ意見ノ反對ガアツタノデアアルカ、御聽カ

セテ願ヒタイノデアリマス

○小泉國務大臣 サウ云フ細カイ所ヲ私能ク承知シテ居リマセヌガ、私ノ知ツテ居ル所デ申上ゲマス、相撲ハ私實ハ個人トシテモ非常ニ力ヲ入レテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、唯先程モ御話ノアリマシヤウニ、今ノ興行ノ相撲ヲヤリ出サレテハ困ル、本當ノ相撲ヲ——私言葉ハ分リマセヌガ、本當ノ相撲ト自分デ言ツテ居リマス、本當ノ相撲ヲヤリタイト云フ氣持デ私ハ委員會ニ於テ種目ノ決定ノ時ニハ自分ノ意見ヲ申シテ置キマシタ、必ズシモ此ノ武道ノ種目ノ中ニ相撲ヲ入レナイト云フ氣持ハ持つテ居リマセヌ

○藤生委員 今大臣ガ仰シヤツタヤウニ、本當ノ相撲、私ガ聞イタ所ニ依リマス、恐ラク、其ノ委員會ニ於テハ私ハ反對意見ハタツタ一ツデアルト云フコトガ能ク分ツテ居ル、ト云フノハ、私ガ武道振興委員會ノ特別委員ヲヤツテ居リマシタ時ニ、其ノ特別委員會ノ席上ニ於テ或ル人ガ反對シタ、其ノ反對ノ理由ハ斯ウデアル、今日ノ相撲ハ兩國ノ相撲ガ代表シテ居ルノデハナイカ、アノ相撲ヲ日本ノ正シイ相撲デアルカノヤウニ一般ハ考ヘテ居ルガ、アノ相撲ハ興行ノ相撲デアルサウ云フヤウナ相撲ヲ柔道、劍道ト同列ニ取扱フコトハ出來ヌデハナイカト云フ意見アガツタ、ソレニ對シテ、其ノ委員會ハ武道種目ヲ決定スル委員會デナカッタカラ、私ハ之ヲ聞キ流シテ居ッタノデアリマスガ、私ガ居ラヌ場合ニ是ガ正式ニ決定サレルト云フヤウナコトハ、夢ニモ考ヘテ居ナカッタノデアリマス、動モスルトサウ云フ偉イ人デサヘモ、アノ兩國ノ相撲ガ本當ノ日本ノ相撲デアルカノ如ク誤解ヲ

シテ居ル、ソレガカラ厚生省モ、文部省モアノ相撲ハ日本ノ正シキ相撲デハナイ、アレハ動進相撲ノ末流ヲ汲ム娯樂相撲、興行相撲デアル、正シキ相撲ハ斯クナクテハナラヌ、今言ツタ本當ノ相撲ハ斯ウ云フモノデアルト云フコトヲ、ナゼ研究シテ、其ノ規範ヲ御示シニナラヌカ、御作りニナラヌカト云フコトヲ、私ハ建議委員會ニ於テモ、他ノ委員會デモ、要求シテ居ルガ、ソレガ何時マデ經ツタツテ一向實現サレナイ、今日ノヤウナ時局ニ於テハ物資ハ極度ニ制限サレテ居ル、其ノ今日ニ於テモ相撲ハ道場ヲ作ル必要モナケレバ、防具ヲ用意スル必要モナイ、砂ト藁ト禪一本アレバ、是デ直グヤレル、厚生省ハ體力々々ト云ツテ居ルガ、時間的ニ言ツテモ、效果的ニ言ツテモ、量的ニ言ツテモ、是レ位效果ノアルモノハナイ、他ノ武道ヨリモ遙カニ優レテ居ル、精神的ニ於テモ、兎ニ角引カバ押セ突カバ押セ、押サバ押セ、押シノ一手デ、土俵ヲ二分シテ相手ノ陣地、吾レノ陣地ト決メテ、立上ルヤ否ヤ直チニ敵陣地ニ逸早く突入シテ飛ビ入ツテ勝敗ハ敵ノ陣地デ決メル、ソレハ丁度今支那ニ於テ南方ニ於テ我が皇軍ガヤツテ居ルアノ精神、即チ突撃挺身ノ肉彈精神、是ガ相撲ノ精神デアル、攻撃的、精神の價值カラ言ツテモ、他ノ武道ニ勝ルトモ劣ラヌ、又其ノ普及性ニ至ツテハ「スポー

ツ」以上ノ普及力ヲ持つテ居ルト私ハ思フ、ダカラスウ云フ相撲ハ大イニ獎勵シテ戴カナケレバナラヌ、厚生省ハ私ガ居ナクナツタ委員會ニ於テ一委員ノ反對意見ニ從ツテ、折角議會デ言明シテ約束シテ居ルニ拘ラズ、武道種目ノ中カラ削除シテシマツタト云フコトハ、私ハ洵ニ遺憾ニ存ジマス

ソレカラ今度厚生省ハ武道章ト云フモノヲ御作りニナルヤウニ聞イテ居リマスガ、武道章ニ付テ一應大臣ノ御説明ヲ承リマス

○小泉國務大臣 今回武道章ヲ制定致シマシタノハ、ヤハリ武道ノ振興ヲ期スル爲ニ致シタ次第デアリマシテ、體力檢定ヲシ、體育運動等ヲ獎勵致シマシタノデ、ソレト此ノ武道章ト一緒ニスルノモ、先程カラ御話ノヤウナ工合デ出來マセヌノデ、武道章ト云フモノヲ新クニ制定致シタ次第デアリマス

○藤生委員 其ノ武道章ヲ制定サレルニ付テ、聞ク所ニ依ルト軍部ノ方デハ柔道ト劍道ノ武道章ヲ戴ク試験ニ合格シテモ、基本的ニ劍道ト射撃道ニ合格シテ居ナケレバ武道章ハ得ラレナイト云フ風ニ軍部ノ方ノ意向ガ決メラレテアルヤウニ聞キマスガ、ソレハ本當デセウカ

○小泉國務大臣 只今御尋ネノ點ハ、マダ私ハ承知致シテ居リマセヌ、恐ラクサウ云フ細カイ小サナ考ヘカラ出發シタモノハナイト思ツテ居リマス

○藤生委員 私モサウデアツテ欲シイト思ヒマス、若シソレガサウダトスルト、又一ツ議論シナケレバナラヌノデアリマスガ、サウデナイヤウニシテ戴キタイ、此ノ際若シサウ云フヤウナコトガ今後問題ニナルヤウナコトガアリマシタナラバ、一ツ此ノ機會ニ大臣ニ御願ヒ致シテ置キマスガ、基礎的のナモノハ、劍道、射撃道、即チ武器ヲ持つ所ノ武術ヨリモ、武器ヲ持タザル相撲トカ柔道、特ニ體捌キヲ修練スル爲ニハ最モ理想的ノ柔道ノ如キモノガ、寧ロ基礎的ノ條件ノ武道トシテ適當デアル、斯様ニ考ヘテ居リマス、私ハ私ノ體験ニ照ラシテ、基礎目的ノ體捌キガ出來テ居レバ、是ハ基礎工事が出來タヤウナモノデ、其ノ上ニハ如何ナル建築ヲヤツテモ立派ニ建築出來ル、ソレハ事實デス、斯ウ云フコトヲ言ツテハ變デスケレドモ、私ニハ基礎工事が相當出來テ居ルカラ何デモ出來ル、何デモヤツタノデス、砲丸投ゲデモ、槍投ゲデモ、或ハ自轉車デモ「ポート」デモ、野球デモ庭球デモ「オフイシャル」ニハ出ナカッタガ、一流選手程度ノ「レコー」ドヲ持つテ居タノデアリマス、ト云フノハ、私ハ體捌キ、基礎工事が柔道ニ依ツテ出來テ居ル、柔道ニ依ツテ體ノ捌キヲ心得テ居ルカラト私ハ確信スル、其ノ體捌キヲ教ヘルニハ柔道ガ最モ適當ダト思ヒマス、ダカラシテ、サウ云フ話ガアル場合ニハ、一ツ大臣カラ特ニ柔道ヲ御主張下サルヤウニ、特ニ此ノ機會ニ御願ヒシテ置キマス

更ニ御尋ネ致シタイコトハ、武德殿ノ僭稱問題デアリマス、之ニ付テハ前ノ議會ニ於テ其ノ僭稱ノ不可ナル理由ヲ私ハ十分述ベテ置イタノデアリマス、ソレデ其ノ理由ハモウ述ベマセヌガ、其ノ際厚生大臣ハ、其ノ問題ハ武德殿ノ僭稱問題ハ新武德會結成ノ時マデニハ是等ガ解決サレルヤウニ期待致シテ居ルト御答辯ニ相成ツタノデアリマス、是ガドウ云フ風ニ解決サレマシタカ

○小泉國務大臣 武德殿ト云フ名ガ從來ノ武德會、又其ノ支部等ニ於キマシテ武德殿ト稱セラレテ居ルト云フコトハ、研究ヲ要スル問題ト致シマシテ、新クニ出來マシタル大日本武德會ノ今後ノ道場ニ對シマシテハ、此ノ點ハ十分ニ研究ヲシテ、唯從來武德殿ト云ツテ居ツタカラ其ノ儘武德殿ト云フヤウナコトノナイヤウニシヨウト考ヘテ居リマス

○藤生委員 サウスルト、マダ解決サレテ居ナイノデスカ、今後解決ナサルノデゴザイマスカ

○小泉國務大臣 從來アリマシタ例ヘバ京都ノ武徳殿ヲ、今日武徳殿ト云フ名稱ヲ廢止サセルト云フコトハ致シテ居リマセヌ、是ハ過去ニ於ケル發達モゴザイマスルシ、色々ノ信仰のナモノモアリマスルノデ、今後ニ於ケル新道場ニ付テハ考ヘルト云フコトニ致シテ居リマス

○藤生委員 私ハ甚ダ不滿ナノデスカ、過去ノ因縁ガアルトカ、信仰ガアルトカ、ドナナ因縁、ドナナ信仰ガアツタツテ、武徳殿ト云フヤウナ名ヲ言フト云フコトハ、是ハモウ斷ジテ許サレナイ、其ノコトハ私ガ前議會ニ於テ詳シク申述ベテ置イタノデアリマス、私ハ之ヲ再ビ繰返シマセヌガ、ソレハイケナイノデスカ、過去ニ於テドウ云フ因縁ガアラウトモ、ドウ云フ信仰ガアラウトモ、斷ジテ武徳殿ト云フヤウナコトハ稱シテハ相成ラヌト思ヒマス、是ハモウ既ニ識者ノ間ニ於テモ問題ニナツテ居ル、折角今後解決スルト云フ御言葉デアリマスカラ、私ハソレヲ信賴致シマシテ、是非是カラ出來ル道場デナシニ、今武徳殿ト稱シテ居ル古イ道場ニ對シテモ、直チニ武徳殿ト云フ稱號ヲ撤廢サレヤウニ御願ヒ致シマス、特ニ地方ニ於ケル武徳會ノ支部ノ道場ノ中ニハ甚ダシキニ至ルト公會堂ノニ使用サレテ居ルモノモアル、尙ホ甚ダシキニ至ルト宴會場ニ使ハレテ居リ、其ノ會場ニ藝者、酌婦ト云フヤウナ類ノ人間ガ出入シテ居ル、武道ノ神聖ヲ冒瀆スルモ甚ダシイ、サウ云フコトハ絕對ニナイヤウニ、大日本武徳會ニシカト御願ヒシテ置ク次第デアリマス、

ソレカラ此ノ武徳殿ノ稱號問題ニ關聯致シマシテ、私ハ前議會ニ於テ國技館ノ攝政益ノ問題ニ付テ意見ヲ述ベタノデアリマス、ソレハ其ノ後、此ノコトニ關聯シテ最モ其ノ當時ノ事情ヲ熟知シテ居ラレル所ノ權威者モハツキリ私ノ意見ヲ裏書キシテ、サウシテ攝政益ト申上グベキ何等ノ根據モナイト云フコトヲ明カニサレタノデアリマス、是ハ相撲協會ノ潛亂増長ノ結果デアルト私ハ斷ゼザルヲ得ナイノデアリマス、前議會ニ於テハ私ハ此ノ問題ノ性質上敢ヘテ大臣ニ御答辯ヲ要求シナカッタノデアリマスガ、併シナガラ善處方ヲ要望シテ居ツタノデアリマス、之ニ對シテドウ云フ風ニ善處ニ相成ツタノデアアルカ、御答辯ヲ煩ハシタイノデアリマス

○小泉國務大臣 攝政益ニ付テハ、私共其ノ後聞イテ見タノデアリマスガ、相撲道御獎勵ノ思召シカラ賜リマシタモノト云フコトデ、之ヲ特ニ賜ハリマスルヤウニ申上ゲマシタト云フヤウナ者ノナイコトヲ承知致シマシテ、有難キ御獎勵ノ思召シト拜シマシテ、是ノ取扱ヒ方等ニ對シマシテハ特ニ注意フスルヤウニ考ヘマシテ、攝政益ヲナクシテシマフト云フヤウナ處置ニハ出デナカッタ次第デアリマス

○藤生委員 只今ノ大臣ノ御言葉デハ相撲道ノ思召シデ攝政益ヲ御下賜ニナツタ、斯ウ云フ意味ニ於テ諒承シテ宜シウゴザイマスカ

○小泉國務大臣 是ハ盃ヲ賜ツタノデハナイト私共ハ承知致シテ居リマス、オ上ヨリ金一封ヲ賜ツタト思ヒマス、之ヲ以テ當局ニ伺ヒマシテ盃ヲ製作致シテ、之ヲ攝政益ト謹稱スルコトニナツタト存ジマスガ、ソ

コニ研究スル問題ガアリマスノデ、只今申上ゲマシタヤウニ、取扱ヒ等ニ注意ヲ致シテ居ルノデアリマス

○藤生委員 ソコデ次ニ御伺ヒ致シタイコトハ段位稱號ノ問題デアリマス、此ノ段位稱號ノ問題ハ、武道獎勵、振興上極メテ重要ナモノデアリマス、隨テ其ノ取扱ヒハ慎重ヲ期サナケレバナラスコトハ申スマデモアリマセヌ、新武徳會ガ結成サレタ理由ノ中ニ、從來ノ武徳會ハ明朗ナラザル點ガアツタ、一抹ノ不明朗サガアツタ、其ノコトニ付テハ昨日モ政府委員ノ方モ、此ノ段位稱號ヲ繞ツテ芳バシカラザル事情ガアツタト云フコトヲ是認セラレテ居ルノデアリマスガ、今度ノ新武徳會ハ從來ノ段位ト變リマシテ、等制ヲ採用セラレタノデアリマス、即チ五段以下、五段ヲ一等トシテ初段ヲ五等ニスルト云フヤウニ御決定ニナツタノデアリマスガ、私ハ特ニ段ヲ避ケテ、サウシテ等制ヲ御採用ニナツタト云フコトハ、從來段制度ヲ採ツテ居ル民間ノ武道團體ガ、多年致々營々、苦心經營シテ來タ此ノ武道界ノ武道振興ニ對スル功績ヲ御認めニナツテ、更ニ是等ノ團體ノ將來ノ發展ヲ促ス意味ニ於テ、摩擦相剋ヲ避ケタイト云フ心持カラ、段ヲ民間ノ團體ノ方ニ委ネテ、サウシテ等制ヲ御採リニナツタ、斯ウ云フヤウニ解釋スルノデアツテ、是ハ洵ニ結構デアリマス、サウナケレバナラナイ、本當ニ今日マデ武道ガ盛シニナツテ來タト云フコトハ、官ノ力ハ少シモナイ、民間團體ノ御蔭ナノデアリマス、民間團體ノ苦心經營ニ依ルモノデアアル、其ノ民間團體ノ功績ヲ御認めニナツテ、ソシテ摩擦ヲ避ケル意味ニ於テ、段ニ代ツテ等制ヲ御採用ニナツタ

ト云フコトハ洵ニ結構ダト考ヘマス、所ガ實ハ茲ニ非常ナ意外ナ問題ガ惹起シテ居ルノデアリマス、或ハ大臣ハ御存ジデアアルカモ分リマセヌ、併シ御存ジデアリトスルナラバ怪シカラヌコトデアリマスシ、御存ジトスルト尙更怪シカラヌト思フ、ソレハ只今申上ゲタヤウニ民間團體トノ摩擦相剋ヲ避ケル意味ニ於テ等制ヲ御採リニナツタ、サウシテ其ノコトハ其ノ當時各新聞ニ賑々シク發表セラレタノデアリマスガ、其ノ等制ニ對シテハ實ハ大臣ノオ耳ニハ入ツテ居ルコトト思ヒマスガ、武道界ノ中デハ非常ニ評判ガ惡イ、人間ヲ恰モ鷄ノ品評會ノヤウニ心得テ、斯ウ云フ扱ヒマスルトハ怪シカラヌト云ツタヤウナ批評マデシテ、非常ニ等制ニ對シテ攻撃シテ居ル向キガ相當アルノデアリマス、サウ云フ不人氣ノ爲ニ、或ハ斯ウ云フヤウナコトヲヤラレタカドウカハ知りマセヌガ、是ハ東京府廳内ニアル大日本武徳會東京府支部ナデスカ、審査要綱ニ五等ノ所ニ初段、一等ノ所ニ五段、斯ウ云フヤウニ等ヲ段ニ代ヘテアル、一體ドウ云フ譯デ等ヲ段ニ代ヘテアル、ノカ、何故代ヘタノナラ代ヘタト云フヤウニ御發表ニナラナイノカ、非常ニ皆不思議ニ思ツテ居ル、此ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ

○小泉國務大臣 段位稱號ニ對スル御話ハ、御話ノ通りノ次第今同等制ト致シタノデアリマス、只今御指摘ニナリマシタヤウナ、支部ニ於テ等ヲ段位ニ代ヘタト云フヤウナコトハ、是ハ甚ダ變ナコトダト私ハ思ヒマス、抑、此ノ機會ニ申上ゲテ置キマスガ、武ト云フコトヲ道トシテ實生活ニ修メマスノニハ、サウ云フ不純ナコトデアツテハイケナイ、モツト眞直グニ、純ニ行カ

ナケレバナラス、先程モ柔道ノ御話ガ出マシタガ、私ハ高等専門學校ノ柔道ノ試合ヲ見マシテ、實ハ御願ヒシテ居ルノデアリマス、柔道ハ寝技デ勝ツノガ柔道デハナイノダ、高等専門學校ノ學生ノ柔道ハ何タル姿ダ、劍道ニ於テモ、恰モ「ボクシング」ヲヤルヤウナ姿ヲ以テ、短劍ヲ持ツテ相手ニ向フト云フコトハ劍道ノ精神ニ反シテ居ル、斯クノ如キモノハ全部止メテ貰ヒタイ、サウシテモツトハツキリト、本當ノ武道ヲヤツテ貰ヒタイ、斯ウ云フ積リデ指導ハシテ居リマスガ、或ハ何カサウ云フヤウナコトガアツタカハ知りマセスガ、是ハ決メマシタコトニ從ツテ、ハツキリサウ云フ風ニヤル、若シ誤リガアリマスレバ適當ニ是正シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○藤生委員 ドウカ左様ニ御願ヒ致シテ置キマス、ソレカラ段ニセヨ、等ニセヨ、苟モ皇族殿下ヲ總裁ニ奉戴シテ居ル團體ガ民間團體ト對立シ相剋シ、競争スルヤウナ立場ニ立ツテ段トカ、等トカ出スト云フコト即チ一流一派のニ偏シテサウ云フモノヲ取扱フト云フコトハ是ハ宜クナイノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘル、唯之ニ對シテ大臣ノ御答辯ヲ求メマシテモ一寸御困リデアラウト思ヒマスガ、段ト云フノハ御承知ノヤウニ講道館ガ之ヲ始メタ、嘉納先生ガ御始メニナツタ、所ガ講道館ノ嘉納先生ノ弟子デアアル磯貝範士ガ京都ノ武德會ノ柔道部ノ方ノ大將、主任デアアル、初メノ間ハ京都側モ講道館ニ段ヲ貰ヒニ來テ居ツタ、所ガ段段武德會ガ勢力ヲ得ルニ從ツテ講道館ト對等的ナ態度ヲ執ツテ、段ヲ出スヤウニナツタ、以前ハ京都ノ武德會ハ總裁ヲ奉戴シテ居ルノデアアルカラ稱號ダケニシテ居ツタ、範

士、教士、練士ト云フ稱號ダケデ、段ハ出シテ居ナカツタヤウニ記憶シテ居リマス、ソレガ本當デアアル、ソレガ段々勢ヒヲ得テ來テ、講道館ト對抗的ニナツテ、講道館ト始終問題ガ起キタ、問題ヲ起スバカリデナク、競争スルモノデアラカラ、段ノ値打ガ段々下ツテ來タ、ダカラ段ト云フモノハ講道館ニ取ツテハ既得權デアアル、講道館ハ功勞者デアアル、ダカラソレヲ御認メニナツテ、只今大臣カラ仰シヤツタヤウニ段ヲ民間團體ニ御任セニナツテ居ルコトハ結構ナコトデアリマスタ、私ハ只今申上ゲマシタヤウニ、總裁官殿下ヲ奉戴シテ居ル團體ガ一流一派ノ如キ態度ヲ執ツテ、民間團體ト對立的ノ行動ヲ執ルト云フコト宜クナイ、其ノ意味ニ於テ大日本武德會ハ等トカ段ト云フモノハ取扱ハヌ方ガ宜イデハナイカト考ヘマス、又是ト關聯致シマシテ練士以上ノ稱號ハ總裁官殿下ノ御名ニ於テ授與サレルノデアリマス、今同モサウ云フ風ニ決定サレタヤウデアリマスガ、畏クモ 總裁官殿下ノ御名ニ於テ授與サレル稱號デアラカラ、之ヲ拜受スル者ニ取ツテハ感佩之ニ過グルモノハナイノデアリマス、併シ此ノ稱號ガ從來ノヤウニ舊武德會ノ幹部ニ依ツテ行ハレテ居ツタ「ブローカー」的情實ヤ、請託ニ依ツテ取扱ハレルコトガアリマシタナラバ、其ノ累ヲ畏レ多クモ 總裁官殿下ニ及ボシ奉ルヤウナコトニ相成ルノデアリマス、ソコデ私ハ先程申シマシタヤウニ一流一派のノ態度ヲ執ラナイデ、段トカ、等トカ一切ヲ取扱ハナイデ、稱號ダケヲ大日本武德會ニ於テ其ノ大キナ機構、大キナ陣容ニ相應シイ大ナル見地カラ大ナル稱號ヲ範士、教士、練士ト云フヤウナモノダケヲ取扱ツテ、而モ其ノ取

扱、其ノ授與ノ名義ハ 總裁官殿下ノ御名ニ於テデハナクシテ、會長ノ名ニ於テヤツタラドウカト云フコトヲ考ヘルノデアリマスタ、此ノ點ニ對シテ大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○小泉國務大臣 只今ノ御意見ハ洵ニ御尤モニ感ズル點ガ多クゴザイマス、今後十分研究シテヤリタイト思ツテ居リマス

○藤生委員 是非サウ云フ風ニシテヤツテ戴カスト大變ナ問題ガ起ル、實ハ吾々武道ニ關係シテ居ル者ト致シマシテハ、敢テ恥ヲ忍ンデ申上ゲルノデスガ、中々「ブローカー」的ノ情實ヤ、請託ニ依ツテ武道界ヲ汚ナクスルト云フコトハ明治、大正、昭和ノ時代ニ限ツタコトデハナイ、是ハ昔ナガラノ惡習デアリマシテ、昔ハ御金目録或ハ義理目録、永年目録、不憫目録ト云フヤウニ情實ニ依ツテ只扱ハレタ目録ガアツタ位デアリマスカラ、一朝一夕ニ武道界ノ不明朗ヲ明朗ニスルト云フコトハ出來ナイ、ソレデ私ハ將來此ノ大日本武德會ノ稱號問題ニ付テ若シ怪我人デモ起ルヤウナコトガアツテハイカスト云フノデ、切ニ大臣ニ御考ヘテ願フノデアリマス、是ハ御聽キ置キテ願ヒタイノデスガ、私ハ難刀問題ガ起キタ時ニ、當時ノ武德會ノ會長デアツタ林銑十郎閣下ノ御宅ヲ議員武德會ノ實行委員數名デ訪問シタ、ソシテ大體難刀問題ガ起ルト云フコトハ舊武德會ノ幹部ガ腐ツテ居ルカラダ、之ヲ改革シナケレバ、閣下、ソレヲ改革シナサシ、若シアナタガ愚圖愚圖シテ居ラレルヤウナコトナラバ吾々ハ勢ヒ之ヲ議會ノ問題トシテ議會デ取扱ヒマス、サウ云フコトニナルト勢ヒノ赴ク所總裁ノ御名ニ於テ授與サレル所ノ段位ノ稱號ト云フモノニ關聯シテ、若シ具體的ノ事實

デモ出テ來タト云フコトニ相成ツタナラバ、是ハ容易ナラヌコトニナリマスカラ、サウ云フコトニナラス内ニ一ツ改革ヲ斷行シタラ如何デスカト言ツタ、其ノ時林閣下モ僕モソレニハ困ツテ居ルト云フヤウナ御話モアツタ、山本副會長モ同一ノコトヲ言ハレタ、或ル程度サウ云フコトガアルト御認メニナツテ居ル、是ハ人口局長ガ來テ居ラレマスカラ申上ゲテ置キマスガ、此ノ前ノ武德會大會ニ於テ審査ガ行ハレタガ、其ノ審査員三名ノ中ノ二人ハ利害ト情實ノ密接ナ關係ガアル、ダカラ審査ノ決ハ初メカラ二對一デ明白デアラカラ、演武者ノ方ハ一生懸命ヤツテ居ルガ、其ノ方ハ見向キモシナイデ、私語ニ耽ツテ居ルト云フ狀況ヲ眞面目ナ人が見テ、折角立派ナ武德會ガ出來タノニ舊態依然タル審査ノ方法ハドウダト、言ツテ憤慨シタ人ガアル位、私ノ心配シテ居ルコトハ既ニ萌シテ居ル、ダカラシテ私ハサウ云フヤウナコトガナイヤウニト云フ譯デ御願ヒシテ居ルノデアリマスカラ、私ノ希望申上ゲマシタヤウナ形ニ於テナサレルヤウニ極力御盡力ヲ願ヒタイト云フノデアリマス、餘リ長クテ恐縮デアリマスガ、最後ニ御伺ヒ致シマスノハ、私ハ國家ノ官吏タル者ハ、即チ 陛下ノ官吏トシテノ責任ノ重大ナルコトヲ深く願ミル所ガナケレバナラスト云フコトハ、是ハ申上ゲルマデモアリマセス、吉田松陰先生ガ「君ハ國ノ幹、民ハ國ノ本ナリ、臣ハ君臣ノ間ニ立チテ、君ヲシテ仁ニ民ヲシテ業ニ勤メシム、而シテ美ナルトキハ之ヲ君ト民トニ歸シテ刺ヲ己レニ收ム、朝典此ニ因リテ亂レズ、治教之ニ因リテ日ニ明ラカナリ、是人臣ノ上ニ奉ズル所以ナリ」斯ウ云フ風ニ言

一六六

ツテ居ラレ、又一士タル者ハ三民ノ業ナクシテ三民ノ上ニ立チ人君ノ下ニ居リ、君意ヲ奉ジテ民ノ爲ニ災害禍亂ヲ防ギ財政輔相ヲナスヲ以テ職トセリ、而ルニ今ノ士タル者、民ノ膏血ヲ絞リ、君ノ俸祿ヲ攘ミ、此ノ理ヲ思ハザルハ、實ニ天ノ賊民ト云フベシ、此ノ處人々自ラ考ヘ、三民ノ長タルニ背カヌ如ク覺悟スベシ斯ウ云フヤウニ言ツテ居ラレルノデアリマス、洵ニ味ハウベキコトデアリマス、陛下ノ官吏タル者ハ此ノ業ナクシテ、三民ノ長トシテ、三民ノ上ニ立ツタルノ覺悟ト教養ト云フコトガ絶対必要デアルト思フノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ、私ハ將來官吏トシテスル者ニシテ國家試験ヲ受ケル者ニ對シテハ、愈益、武道ニ對スル所ノ理解ヲ持ツテ戴キタイト云フコトヲ念願スル意味ニ於キマシテ、國家試験ニ武道科目ヲ採用スルト云フコトノ必要ヲ痛感致シテ居ルノデアリマス、是ハ或ハ厚生大臣ノ御答ヘニナル範圍デハナイ、内閣ニ關係スルコトカモ知レマセヌガ、併シ大臣ノ御考ヘヲ承ハルコトガ出來レバ幸ヒデアリマス

業者ニ對シテハ更生金庫ヨリ特ニ共助金ヲ出サセルト云フコトヲ條件トシテ、昨年來熱心ニ整理ヲ促進セラレテ參ツテ居リマシテ、是ガ爲ニ業者一同モ政府ノ趣旨ヲ體シ、係官ノ御指導ニ從ツテ着々整備ニ努メテ參ツタノデアリマス、然ルニ最近ニナリマシテ特別ニ出サレルト云ハレテ居リマシタ、共助金ノ支出ノ問題ニ何等カノ行惱ミデモ生ジタノデハナイカト云フヤウナ風説ガ行ハレテ參リマシタガ爲ニ、業者一同ハ非常ナ心配ヲ致シ、或ハ是ガ爲ニ企業整備ノ進行ガ難カシクナルノデハナイカト云フヤウナコトマデ考ヘラレルニ至ツテ參ツタノデアリマス、洵ニ私ハ殘念ナコトニ存ズルノデアリマス、若シサウ云フコトニナリマスナラバ、此ノ整備ヲ指導セラレタ政府當局ノ責任問題モ起ラネバナラス筈ダト思ヒマス、先祖傳來ノ家業ヲ轉廢業致シマスル者ノ心持、如何ニシテモ忍ビ難イモノガアルデアラウト思フノデアリマス、就キマシテハ、ドウシテモ厚生省トシテ此ノ問題ニ付テハ格別ノ御配慮アツテ然ルベキモノダト存ジマス、數日前ノ委員會ニ於キマシテ此ノ問題ヲ具體的ニ指摘致シテ政府ノ御取調ト御所信トヲ伺ツテ置イタノデゴザイマスガ、其ノ後ノ經過ニ付キマシテ此ノ機會ニ承リタイト思ヒマス、唯經過ト云フコトニ付キマシテハ私密カニ知ツテ居リマスル所デハ、厚生省ニ於カレマシテモ段々ト此ノ問題解決ノ爲ニ御盡力中ト存ジテ居リマス、隨ヒマシテ其ノ途中ニ於ケル經緯等ノコトヲ承ルノモ却テ如何カト存ジマスノデ、經過ト云ハシヨリハ寧ろ此ノ問題ノ善後策、如何ニ之ヲヤルカト云フ御所信ヲ承ルコトガ出來テモ結構ダト思ヒマス

○難尾政府委員 御答へ申上ゲマス、先達テノ本委員ニ於キマシテ中井委員カラ御指摘ニナリマシタ事實ニ付キマシテハ、政府ノ方ニ於キマシテモ實情ヲ取調ベマシタ、就キマシテハ政府ト致シマシテ、今回ノ賣藥業ノ整備ニ伴フ共助金ノ問題ニ付キマシテハ業界ノ實情ニ即シマシテ、十分親切ニ盡力致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ其ノ問題ニ關聯致シマシテ更生金庫トノ間ニ於キマスル事柄ニ付キマシテハ、目下色々折衝中デゴザイマスガ、只今申上ゲマシタヤウナ氣持ニ於キマシテ極力共助金支出ニ付キマシテハ實情ニ即スルヤウニ善處致シタイト考ヘテ居リマス

○中井(一)委員 局長カラ明確ナ御答辯ヲ承ツテ結構ニ存ジマシタガ、幸ヒ大臣モ御出席デゴザイマスルカラ、此ノ點ニ付キマシテ更ニ大臣ノ御所見モ承ツテ置キタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 只今御話ノゴザイマシタ大阪ノ賣藥業者ノ企業整備ニ付キマシテ、實ハ具體的ノコトハ私只今初メテ伺ヒマシタヤウナ次第デゴザイマスガ、企業整備致シマシタ轉廢業者ニ對シマシテハ、政府トシテ共助金或ハ更生金庫ノ國家ノ恩典ニ何處マデモ浴シ得ルヤウニシナケレバナラナイ、又責任ヲ以テサウシテ行カナケレバナラナイト云フ決意ヲ持ツテ居リマスノデ、只今御話ノコトニ付キマシテハ私ト致シマシテモ、此ノ線ニ沿ヒマシテ今マデニ何カソコニ工合ノ惡イコトガゴザイマシタナラバ、其ノ惡カウツコトヲ排除スルト云フコトニ全力ヲ盡シタイト考ヘマス

○中井(一)委員 大臣ノ御懇篤ナ御答辯ヲ賜ハリマシテ洵ニ有難ウゴザイマシタ、何卒一層ノ御盡力ヲ下サレマスルヤウニ此ノ機會ニ御願ヒ致シテ置キマス、私ノ質問ハ更ニ大藏省ノ方ニ引續イテ致シタイト思ヒマス、中小商工業者ノ企業整備ノ問題ニ付キマシテハ、政府ガ積極的ニ指導者トナリ、促進者トナリ、自ら要請シテ一日モ其ノ結果ノ速カニ現ハレンコトヲ希望シテ居ラレルノデアリマス、戰時下我が國ノ國策ノ一ツデアリマシテ、國民一同其ノ御趣旨ニ協力致スコトヲ否ムモノデハゴザイマセヌ、唯併シナガラ何分ニモ先祖傳來ノ家業、或ハ自ら營々辛苦シテ作り上ゲマシタ老舗、之ヲ一朝ニシテ轉廢業致スト云フコトハ凡ソル意味ニ於キマシテ非常ナ苦痛デアリマス、物心兩方面カラ見テ洵ニ是レ一ツノ戰時下我が國ノ犠牲デアルト申シテ宜イ譯デアリマス、隨ヒマシテ、ソレ等轉廢業ヲ致シテ參ル者ノ將來ニ付キマシテハ、政府トシテ格別ノ親心ヲ以テ御臨ミニナルベキ筈デアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ只今大臣カラモ御懇篤ナ御言葉ガゴザイマシタ通りデアリマス、唯併シ廢メマシタ者ガ廢メルコトニ依リマシテ、或ハ更生金庫カラ金ヲ得ル、或ハ其ノ營業ヲ他人ニ賣リマシタ其ノ金ヲ他人カラ得ル、斯ウ云フヤウナ場合ニ於キマシテ、地方ノ稅務署ノ人達ガ中央ノ政府當局ノ如キ御考ヘヲ以テ接シラレマスルナラバ、事ガ洵ニ穩ヤカニ參ルダラウト思ヒマスルガ、動モ致シマスルト、中央ノ親心ハ地方末梢ノ官吏ノ方々ニ及ビマセヌ、整理ハ整理、統合ハ統合、税金ノ取上ゲトハ別ダト云フヤウナ態度ガ間々現ハレルノデアリマシテ、是ハ洵ニ殘念ナコトダト考ベテ居ルノデアリマス、此ノ機會ニ主稅局長ニ御伺ヒ致シタイトコトハ、賣藥業者ノ整理

統合ニ付キマシテ税金ノ減免、又税額ノ認定ト云フヤウナモノニ對スル手帳、ドレダケノ親心ヲ示サレルカト云フコトニ付テ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○松隈政府委員 只今ノ御尋ネハ、賣藥業者ノ轉廢業ノ場合ニ於キマスル課税ノ取扱ノ問題デアリマスルガ、時局ノ要請ニ依リマシテ企業ノ整理統合ガ行ハレマシテ、依ツテ生ジマスル轉廢業者ニ對シマシテハ、課税ノ特ニ寛大ナル取扱ヲ致スコトニ致シテ居ルノデアリマシテ、臨時租稅措置法ニ於キマシテ各種ノ規定ガ設ケラレテ居ルノデアリマス、尙ホ此ノ規定ヲ實際ニ運用シテ參リマスルニ當リマシテ、ソレガ苛酷ニ互ラナイヤウニ行政上注意ヲ致スベキデアリマスルコトハ御説ノ通りデアリマシテ、之ニ付キマシテモ十分戒心致シテ參リタイト思フノデアリマス、賣藥業者ノ具體的ナ整理方法ニ付テハ詳細承知致シテ居リマセヌノデ、具體的ニ御答ヘヲ申上ケル譯ニハ行カナイノデアリマスルガ、大體轉廢業ノ場合ニ於キマスル課税ノ處置ト致シマシテハ、轉廢業ヲ致シマシタ者ガ政府ノ指導斡旋等ニ依リマシタ場合、即チ國策ニ從ツテ轉廢業ヲ致シタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、臨時租稅措置法ニ依リマシテ、轉廢業ヲ致シマシタ場合ニ、普通デアレバ前年ノ實績ニ付テ課税サレルノデアリマスルガ、特ニ實績課税ニ對シマシテ租稅ヲ輕減又ハ免除スルト云フヤウナ方法ヲ執ツテ居リマス、尙ホ轉廢業ヲ致シマシタ者ニ對シマシテ、統合體又ハ殘存業者ノ組合カラ支出セラレマスル各種ノ金ガアルト思フノデアリマス、其ノ金ニ對シマスル課税ノ取扱ニ付キマシテハ、モノニ依ツテ多少扱ヒ方違

ツテ居ルヤウデアリマス、普通ニ營業ヲ廢止致シマシタ場合ニ、營業補償金ト呼バレテ居ルモノガアルノデアリマスガ、之ニ對シマスル扱ヒハ個人ノ場合ト法人ノ場合ト違ツテ居リマス、先ツ個人ノ場合ニ付テ申上

ゲマスルト、轉廢業ヲシタ者ニ對シテ統合體トカ、或ハ殘存業者ノ組合ガ補償金ヲ拂ヒマスコトハ、其ノ轉廢業シタ者ノ所得ノ減ツタコトニ對シテ補償スル意味ガアルノデアリマス、此ノ場合ニ於キマシテ、其ノ金ガ一時ニ支拂ハレテ居リマスル場合ニ於キマシテハ、現在ノ稅法ニ於テハ一時所得トシテ課税外ニ置イテ居リマス、唯同ジヤウナ金デアリマシテモ、之ヲ年賦金デ支拂フト云フヤウナコトニナリマス云フト、現在ノ稅法ニ於キマシテハ、資産ノ賣却益ノヤウナモノハ別デアリマスケレドモ、サウデナイ場合ノ所得ニ於キマシテハ、年々反復シテ收入ノアリマスモノハ、乙種ノ事業所得トシテ課税シ得ル建前ニナツテ居ルノデアリマス、ソコデ普通ニ放ツテ置キマス云フト、乙種ノ事業所得トシテノ課税ガ行ハレマスノデ、ソレデハ一時ニ貫ツタ者トノ釣合モ或ル程度惡イト云フコトニナリマスノデ、今回特ニ臨時租稅措置法ヲ改正致シマシテ、第一條ノ二十三ト云フ規定ヲ追加致シマシテ、補償金ノ總額ガ一萬圓以下デアリマシヤウナ場合ニハ所得稅ヲ全免シテシマフ、三萬圓以下デアリマス場合ニハ五割引イテ課税スル、三萬圓ヲ超エルヤウナ多額ノ金額ヲ貫フ場合ニ於テハ、相當擔稅力モアルノデアリマスカラ、二割ヲ引イテ課税スルト云フヤウナ、緩和規定ヲ設ケテ居ルノデアリマス、尙ホ補助金ト申シマス中ニハ、轉廢業者ガ直グニ轉職モ出來ズ、生活上困難

ヲ感ジテ居ルト云フヤウナ所カラ、生活補助ノ意味ニ於テ補助金ガ出サレル、其ノ金額ノ半分ヲ政府デ補助シテ居ルト云フヤウナ性質ノ金モアルヤウデアリマス、是等ハ何レモ轉廢業シテ、他ニ就職ヲ斡旋シテ、收入ヲ擧ゲ得ルマデノ極ク短期間ノ問題デアリヤウデアリマス、豫算ニ於キマシテモ、サウ云フ場合ハ極メテ短期間業者ガ半分出シ、政府ガ半分出シテ生活保障ヲスルト云フヤウナ建前ニナツテ居ルヤウデアリマス、サウ云フ種類ノ金デアリマスレバ支給ノ期間モ短ク、且ツ金額モ少イノデアリマスカラ、是ハ課税外ト致シテ居リマス、ソレカラ轉廢業者ニ付テ起リマスル問題ハ、營業者ノ持ツテ居リマス設備等ノ賣却代金、ソレカラ營業用ノ殘品ノ處分ノ問題デアルト

思フノデアリマス、營業用ノ設備ヲ賣却致シマシタオ金ハ、是ハ個人ニ取リマシテハ營業ノ所得デアリマセヌカラ、課税外ト致シマス、假令其ノ場合年賦ニナツタトシテモ、是ハ課税外ニ扱ヒタイト思ヒマス、殘品處分ノ代金ニ付キマシテハ、是ハ殘品處理ノ態樣ト申シマスカ、ヤリ方ニ依ツテ多少相違ガ出テ參リマスケレドモ、大體轉廢業致シマスルマデニ大部分ノ商品ヲ整理シ、殘ツテ居ル品物モ少イト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、轉廢業ガ確定致シマシタ時ニ後ニ殘ツタ殘品ハ、是ハ設備ノ處分ニ準ジマシテ、殘品處分ノ代金ハ普通ノ營業ノ利益ト同様ニハ見ナイ、即チ一時的ナ所得ト見テ課税外ニ置クヤウニ致シテ居ル次第デアリマス

テ解散ヲシテシマフト云フ場合ニ於キマシテハ、臨時租稅措置法ニ於キマシテ、其ノ場合法人ニ對シマスル清算所得ニ對シテ、資本ノ大小ニ依リマシテ或ハ百分ノ五、或ハ百分ノ十ト、清算所得ニ對シテ特ニ輕減スルコトニ致シテ居リマス、又解散シナイヤウナ場合デアリマスルト、例

ハバ事業ノ設備ヲ統合體ニ讓渡シタ、或ハ營業權ヲ讓渡シタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、其ノ代金トシテ、時ニ更生金庫ノ債券デアルトカ、或ハ國債ノヤウナモノヲ受取ルヤウナ場合ガアリマス、又現金ヲ貫ツタト致シマシテモ、其ノ現金デ國債等ヲ買ツタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、元ノ資産ノ價格ニ其ノ新タニ得マシタ國債等ノ有價證券ヲ同ジ價格デ記帳ヲシテ置キマシテ、即チ特ニ評價益ヲ出サケレバ課税ニナラス、斯ウ云フヤウナ扱ヒニナルノデアリマス、此ノ點少シク具體的ニ申上ゲマスナラバ、營業ノ設備ガ一萬圓アル、而モ相當價却ラシタ後ニ、今一萬圓ト云フ記帳價格ニナツテ居ル、ソレヲ更生金庫ニ買ツテ貫フ爲ニ差出シタ所ガ、ソレニ對シテ五萬圓ノ代金ガ貫ヘタト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、其ノ五萬圓デ國債等ヲ買ヒマシテ、其ノ五萬圓ノ國債ヲ一萬圓ト云フ元ノ價格デ記帳シテ置ケバ、即チ強ヒテ評價益ヲ出サケレバ、評價益ガ出タモノトシテノ課稅ヲ受ケナイ、斯ウ云フ譯デアリマス、尙ホ法人ニ付キマシテハ、營業權ト云フヤウナ資産ノ計上シテアル場合ガアルノデアリマス、其ノ營業權ヲ讓渡シタ場合ニデモ、設備ヲ讓渡シタ場合ト同ジヤウナ扱ヒガナサレルノデアリマシテ、例ハ或ル法人ノ營業權ガ元ハ十萬圓デアツタケレド

モ、段々ニ營業權ヲ償却シテ、今ハ三萬圓ト云フ記帳價格ニナツテ居ル、其ノ營業權ヲ營業ノ整理統合ニ依ツテ新シク生レタ統合體ニ出資シタト云フヤウナ場合ニ於テ、元々十萬圓ノ價值ノアル營業權デアルカラ、十萬圓ニ相當スル出資證券ヲ貰フ、或ハ現金ヲ貰ツタト云フ場合ニ於テ、ソレデ國債等ヲ買ツタト云フ場合ニ於キマシテハ、七萬圓ノ利益ガ出テ、課税ニナルト云フ心配ガアルノデアリマスガ、其ノ場合尙ホ十萬圓ノ出資證券又ハ國債等ヲ三萬圓ト云フ元ノ記帳價格ニ記帳シテ置ケバ課税ニハナラヌ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、時ニ法人ニ依リマスト、營業權ガ償却濟デアツタリ、或ハ計上シテナイヤウナ場合モ稀ニハアルカト思フノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ於テモ尙ホ營業權ノ對價トシテ金ヲ貰ツタト云フ場合ニハ、零デアルカラ、マルノ利益ガ出ルノカ、斯ウ云フ場合ガ起リマスルガ、サウ云フヤウナ場合、即チ營業權ガ償却濟デ零ニナツテ居ツタ、或ハ元元記帳價格ガナカツタト云フ場合ニ於キマシテモ、現在ノ扱ヒト致シマシテハ、受ケマシタル所ノ出資證券トカ、或ハ買ツタ國債等ヲ二割位ノ程度ニ記帳スルト云フコトヲ認メルコトニシテ居リマスルカラ、隨テ課税ヲ受ケル割合ハ極メテ僅カニ過ギナイト思フノデアリマス、以上大體御答へ申上ゲマス

○中井(一)委員 御説明ニ依リマシテ大體了承致シマシタガ、共助金ノ問題ニ付キマシテハ、只今ノ御説明ノ中ニ指摘サレマシタモノハ、政府ガ半分補助金トシテ出スト云フモノニ付テノ御話デゴザイマシタ、是ハ殘存業者、若シクハ組合カラ出スヤウナ場合ニ於キマシテハ、ヤハリ同様ノ取扱ヲ受ケルモノトシテ宜シイノデアリマスカ  
○松隈政府委員 重ネテノ御尋ネデアリマスルガ、賣藥業者ノ方々ノ轉廢業ノ場合ニ於キマスル共助金ノ出シ方ヲ私ハ承知致シテ居リマセヌガ、私ノ所管シテ居リマスル酒類小賣業者ノ轉廢業ノ例ヲ申上ゲテ見マシテ、或ハサウ云フ場合ニ該當スレバ丁度同ジ扱ヒニナルカト思フノデアリマス、酒類小賣業者ノ整理統合ニ當リマシテハ、轉廢業者ノ中ニハ、轉廢業ガ決マツタケレドモ、他ヘ就職スルマデノ間ニ暫ク間ガアル、或ハ就職シテモ思フ程ノ收入ガ得ラレナイデ、生活困難ニ陥ルト云フ場合ヲ豫想致シマシテ、殘存業者ヲシテ生活困難ナ者ニ對スル生活共助金ヲ出サシメルコトニナツテ居リマス、其ノ場合ニ於テ政府ハ業者ノ出シマスル金額ノ半額ヲ補助スルト云フノデ豫算ヲ組ンデアルノデアリマス、大體一月五十圓業者ヲシテ出サシメル、隨テ其ノ場合ニ於テ政府ハ一月二十五圓ノ割合デ補助スルコトニナツテ居リマス、其ノ期間ハ最初四箇月先ヅ支給スル、其ノ間ニハ多分新シイ就職、新シイ生活方法等ガ考ヘラレルデアラウケレドモ、若シ其ノ期間ニ尙ホ職業ノ轉換ガ行ハレナイコトニ依ツテ依然生活ノ補助ヲ續ケル必要ガアルナラバ、更ニモウ四箇月出シテモ宜シイト云フ風ニ致シマシテ、政府ト致シマシテハ一應八箇月分位マデノ豫算ヲ見積ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、斯ウ云フ種類ノ生活困難ナ者ニ對スル共助金ニ付テハ、先程申上ゲマシタヤウニ課税外ニシテ居ルノデアリマス、其ノ他ニ殘存業者ガ轉廢業者カラ營業ヲ引繼イダト云フコトニ對シマシテ金ヲ與ヘルコト

ニナツテ居リマス、是ハ補償金トモ申スベキモノデアリマスガ、其ノ場合ニ於キマシテ標準ト云フモノガゴザイマセヌカラ、一應ノ標準ト致シマシテハ、從來取扱ツテ居リマシタ實績石數一石當リ三十圓ト云ツタヤウナ標準ヲ假ニ設ケテ居リマスルガ、ソレニシマシテモ別ニ之ヲ營業權ノ處分、即チ資産ノ賣却ト見ルノハ當ラナイノデアリマシテ、營業者ガ轉廢業ヲスルト云フ爲ニ所得ガ減ツタ、其ノ所得ノ減ツタモノヲ殘存業者ガ補償シテヤラウト云フ其ノ一應ノ標準ニ使ツタノニ過ギナイ、斯様ニ見テ居リマスノデ、サウ云フ種類ノ補償金ハ假令一石三十圓ト云ツタヤウナ計算デ出シテ、一寸營業權ノ賣却見タイナ性質ヲ帶ビテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、是ハ課税ヲスル方ノ性質ノ金デアアル、但シ其ノ場合ニ於テモ一時ニ之ヲ支拂ツタノデアラナラバ、現行法上課税ハ出來ナイコトニナツテ居ルカラ課税シナイ、ソレガ年賦金ニナルト、是ハ現行法上ハ課税スル建前デアアル、其ノ場合ニ於テモ一時拂ヒトノ釣合モ多少アルシ、又氣ノ毒ナ點モアルト云フノデ先程申上ゲマシタヤウニ今回特ニ法律ヲ改正致シマシテ、一定金額以下ナラバ全然課税シナイ、相當金額ヲ貰フノデ、而モ年賦ヲ續クト云フヤウナ場合ニハ、或ル程度ノ課税ニ甘ンジテ戴キタイ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス、冒頭ニモ申上ゲマシタヤウニ、賣藥業者ノ方々ノ場合ニ果シテドウ云フヤウニ御出シニナルカ、ソレハ分ラナイカラ、他ノ例ヲ以テ一應課税上ノ扱ヒヲ説明シタヤウナ次第デアリマス

○中井(一)委員 共助金ニ關スル御説明ハ能ク了承致シマシタ、サウスルト先程營業權ノ賣却ト云フ問題ニ付テ御話ガアツタノデアリマスガ、ソレハ法人ニ付テノ御説明デアリマシタノデ、個人ニ付テノ場合ノ御説明ヲ承リタイト思ヒマス、即チ個人ガ轉廢業ヲ致シマス、賣藥ノ製造販賣ヲスル爲ニハ免許ガ要ルノデアリマシテ、所謂免許權ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、轉廢業ヲ致ス者ハ殘存業者ニ對シテ此ノ免許權ヲ賣却シテ、商賣ヲ止メテシマフト云フコトガ今日行ハレテ居ル普通ノ場合デアリマス、是ハ俗ニ言フヤハリ營業權ノ賣却ト云フモノノ中ニ含まレテ居ルト思フノデアリマスガ、先程局長ノ御話ノ中ニハ、營業補償金ト云フ言葉ヲ使ハレテ居リマスガ、只今私ガ申上ゲマシタヤウナ場合ガ、即チ營業補償金ヲ與ヘルト云フ場合ニ該當スルノデゴザイマセウカ、假ニ該當セズト致シマシテモ、只今私ガ申上ゲマシタヤウナ場合ニハ、自己ノ營業權ヲ賣ツテ、一時ニ金ヲ得タル轉廢業者ニ對シテハ、所謂一時ノ所得トシテ課税ヲ免レル、斯ウ云フコトニナルノデアリマセウカ、念ノ爲ニ承ツテ置キタイト思ヒマス

○松隈政府委員 曩ニ營業ノ補償ト云フヤウナ言葉ヲ使ヒマシタノハ、今回臨時租稅措置法ノ改正法律ノ中ニ於キマシテ斯ウ云フ風ニ言ツテ居ルノデアリマス、「法令、法令ニ基ク命令又ハ行政官廳ノ指導若ハ斡旋ニ依リ昭和十六年一月一日以後昭和十八年十二月三十一日迄ニ事業ノ統制ノ必要上營業ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタル個人ノ當該營業ノ廢止ニ因リ受クル補償金其ノ他之ニ準ズベキモノニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ」租稅ヲ輕減又ハ免除スル、ト書イテアルノデアリマシテ、此ノ意味ニ於キマシテ

營業ノ廢止ニ依ツテ受ケル補償金ニ付テハ、年賦ニ支拂ハレルナラバ、現在ノ稅法デハ課稅ニナルノデアアルケレドモ、特ニ一時拂ヒノモノトノ鈞合ヲ取ル關係モアツテ、小額ノモノハ所得稅ヲ全部免除スルシ、金額ガ大キクナレバ或ル程度之ニ對シテ課稅スル、斯ウ云フコトヲ明カニシテ居ルノデアリマス、其ノ場合ニ於キシマテ是ニ言フ營業ノ廢止ニ依ツテ受ケル補償金ト云フノハ、營業ノ廢止ニ依ツテ其ノ直接ノ所得ハナクナリ或ハ減ツテシマツタ、ソレデハ氣ノ毒デアルト云フノデ殘存業者ガ出スオ金、斯ウ云フ意味デアリマス、殘存業者ニ資產ヲ賣ツタオ金ト云フモノハ、是ハ資產ノ處分益ト云フモノデ、個人ニアツテハ全ク課稅外デアアル、ソレデ資產デアルト云フコトノ極メテ明瞭ナモノハ何カト言ヘバ、個人ノ營業設備ト云フヤウナモノハ、是ハ誰ガ何ト云フテモ資產デアアル、所ガ個人ニ營業權アリヤ否ヤト云フコトハ、法人程明瞭デナイ、法人ノ場合ニ於テハ特ニ營業權ヲ出資スルト云フヤウナコトニ依ツテ、營業權ガ法人ノ財産目錄ニ上ツテ居ルト云フヤウナ場合ガ比較的多イ、而モソレニ付テハ償却スルト云ツタヤウナコトデ、帳面上モ營業權ノ評價ガ順次明カニナツテ、個人ニ付テハ先ヅ普通ノ場合ニ於テハソレ程明瞭デナイ、殊ニ其ノ價格ガ幾ラデアアルカト云フヤウナコトハ、法人ノヤウニ財産目錄ヲ作ツテ整理シテ居ルト云フ場合ガ殆ドナイノデアリマスカラ、資産的ニ見ルコトハ困難デアアル、假ニ例外的ニアルトスレバ、ソレハ他人カラ金ヲ出シテ營業權ヲハツキリ買ツテ來タ、斯ウ云フヤウナ場合ニ於テハソレハ資產ト云ヘルカト思フノデアリマ

スガ、サウ云フ場合以外デアレバ、個人ニ於テハ先ヅ資産ト見ルノハ無理デアラウ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス

○中井(一)委員 隨テ其ノ場合ニハ課稅ニハナクスト云フ譯デスネ

○松隈政府委員 先程申上ゲマシタヤウニ、御述ベニナリマシタヤウナ方法ヲ以テ賣藥業者ガ一時的ニ轉廢業者ノ所得ノ減リマスコトニ對シテ共助金ヲ出シマスレバ、是ハ課稅外デアリマス、其ノ場合ニ於テ標準トシテ偶々一年間ノ賣上ノ一割ノ三倍ヲ使ヒ、四倍ヲ使ツテモ、ソレハ標準ニ使ツタダケデアアル、斯様ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○中井(一)委員 私ノ質問ハ是デ終了致シマシタ

○清水委員長 上田孝吉君

○上田委員 私ハ前回一應質疑ヲシタノデスガ、補充質疑ガ殘ツテ居リマスノデ、極ク簡單ニ申上ゲマス、前回此ノ藥事法ニ付テ、提案ノ理由ト内容トガ十分副ツテ居ルヤウニモ思ハレヌ點ガアルガドウカト云フ御質問ヲ申上ゲタノデアリマスガ、ソレハ一應御答辯ヲ得タカラ重ネテハ申上ゲマセヌ、ソコデ實際問題トシテ此ノ法案ノ内容ヲ點檢シテ見マスト、藥劑師ト云フモノニ付テハ相當ニ色々ノ規定ガアリ、特ニ第二章ノ第二條ニハ其ノ本分ト云フモノヲ規定シテアルガ、藥種商ニ付テハ現行ノ藥品營業法取扱規則ニハ第二十條ニ、「藥種商トハ藥品ノ販賣ヲ爲ス者ヲ云フ」ト云フ本分ガアルニ拘ラズ、今回此ノ改正セントスル藥事法ニハ所謂醫藥品販賣業者トナツテ居リマス、其ノ本分ト云フモノノ規定ガトナイ云フコトハ、藥種商ト云フモノノ輕

ク見ルコトニナリハセヌカト云フ意味ノコトヲ御尋ネシテ、ソレニ對シテ、大臣カラデアアリマセヌガ、政府委員カラ答辯ガアリマシタカラ、之ヲ又繰返シテ申上ゲヨウトハ思ハナイノデアリマスガ、サウ云フ點ガアリマス上ニ、更ニ藥種商ニ付テハ藥種商ト云フ古來カラノ名前ガアルノデス、ソレヲ殊更ニ本法ニ於テ醫藥品販賣業者ト云フコトニナサルノハドウ云フ御考ヘデアルカ、是モ藥種商ノ本分ト云フモノヲ今回ノ藥事法ニ御規定ニナラナカツタコトト彼此推察致シマシテ、藥種商ト云フモノヲヤハリ輕ク見ル傾向ニナル虞ガアルノデアリカト云フコト、更ニ是モ前ニ指摘シタコトト云フコト、實ニ怪シカラヌ問題ガアルノデス、ソレハ私ガ參考資料トシテ要求ヲシテ、今回此ノ委員會ニ政府カラ御提出ニナツテ居ル最近三箇年間ニ於ケル開局藥劑師及ビ藥種商ニ對スル藥品巡視成績ト云フモノガアリマス、是ハ昭和十二年、十三年、十四年ノ開局藥劑師ト藥種商ト云フモノノ巡視スベキ箇所數及ビ巡視シタル箇所數、更ニ不良藥品ノ發見、更ニ規則違反處罰數、斯様ナ項目ニ分レテ表ガ出テ居ルノデアリマス、所ガ之ニ依ルト、何レモ開局藥劑師ノ方ガ不良藥品ノ發見ガ多クテ、藥種商ノ方ガ少イノデス、然ルニ處罰サレタ者ハドウカト云フト、之ニ反シテ藥種商ノ方ガ開局藥劑師ヨリ多イ、

○委員長退席、勝又委員長代理着席  
是ハ私ハ此ノ前漢ヲ流シテ言ツタノデス、斯ウ云フコトガ今日皇國民ニ對シテ許セルカドウカト云フコトヲ申上ゲタノデス、私ハ諄クハ申シマセヌガ、斯ウ云フコトヲ彼此レ考ヘテ見ルト、洵ニ遺憾ナ點ガアルト思フ、要スルニ今日ノ此ノ重大ナ時局ニ於テ藥事ノ法律ヲ改正シヨウト云フ際、特ニ小泉國務大臣ハ斯界ノ權威者トシテ、本當ニ天地宇宙、森羅萬象ヲ取ツテ以テ國民體位ノ向上、保健衛生、所謂健民強兵ト云フコトニシナケレバナラナイ、藥事ニ關係スル者ヲ總動員スベキ御考ヘガナクテハナラナイノデアリカ、此ノ問題ハ先日申上ゲタ、ソレ程ヲ總動員ヲシテヤラウト云フ御考ヘガアル以上ハ、今マデ關係ヲシテ居ル者ハ——藥劑師ハ勿論之ヲ輕ク見ル必要ハアリマセヌ、藥劑師ト云フモノハ尊重シテ宜シイ、又其ノ本分ヲ御決メニナツテ宜シイ、藥劑師ヲ大イニ尊重サレルコトハ結構デアアルガ、之ヲ尊重スルト共ニ、排他的デアツテハナラナイ、他ノ藥事關係ノ者モ共ニ協力スルヤウニスルノガ適當デハナイカ、而シテ藥種商ト云フモノハ歴史的ニ考ヘテ見ルナラバ、是ハ寧ろ藥劑師ノ親デアアル、ソレ程古イ歴史ヲ持ツテ居ル藥種商デアアルニ拘ラズ、先程來引例シテ申シタヤウニ、彼此レ考ヘテ見マスト、ソコニ輕重ノ差ガアルヤウニ、或ハ藥事上協力ヲ求メル上ニ於テ、幾分ノ差等ガアルカノヤウニ思ハシムルコトハ洵ニ遺憾デアアルガ、此ノ點ニ付テノ大臣ノ御所感ハ如何、此ノ一點ヲ御聽キシタイノデアリマス

○小泉國務大臣 先般來申上ゲマシタヤウニ、今回提出ノ法案ノ趣旨ヲ達成致シマス爲ニハ、只今御話ノアリマシタヤウニ藥劑師、藥劑師會ト云フモノノミナラズ、藥事衛生ニ關係ノアル凡ル方面ノ協助力ト云フコトニ俟タナケレバナラナイコトハ、全ク私共モサウ考ヘテ居ル次第デアリマス、殊ニ醫藥品製造販賣、此ノ過程ヲ通ジマシテ、



是等ニ從事セラレル方々ノ積極的ナ熱意ハ、私共ノ強ク御期待ヲ致シテ居ル次第デアリマス、唯此ノ時ニ只今御話ニアリマシヤウニ、藥種商ノ本分ノ規定ガナイ、又特ニ歴史ノアル、此ノ功績ノアル藥種商ト云フ名前ヲ取ツテシマツテ、販賣業者ノ中ニ入レテシマツト云フヤウナコトニ付キマシテハ、先般來此ノ法案ノ技術的ノ面ニ於テモ色々申上ゲマシヤウナ次第デ、藥種商ト云フコトヲ認メナイノデハナイノデアリマシテ、技術的ニ製造販賣業ト云フモノヲ之ニ一括致シヤウナ次第ノデアリマス、而シテ政府ト致シマシテ先程申上ゲマシヤウニ、藥種商ト云フモノノ一段低ク見ルトカ、或ハ之ニ對シテ何カ差等的ナ考ヘヲ持ツト云フヤウナコトハ全然考ヘテ居リマセヌ、隨ヒマシテ只今御話ノアリマシヤウナ御趣旨ニ依リマシテ、藥劑師ト云フモノノ本分ガ定メラレ、藥劑師會ガアルト同ジヤウニ、ヤハリ藥種商ニ對シテモ當然今後ノ本法ノ運營上ニ於テ私ハ遺憾ナイヤウニシテ行カナケレバナラナイト存ズル次第デアリマス、尙ホ只今御話ノゴザイマシタ不良藥品ノ發見ト云フモノガ藥種商ニ少クテ、而モソレニ對スル取締ガソチラノ方ニ却テ其ノ結果ガ多ク出テ居ルト云フコトハ、實ハ初メテ承知致シマシタノデ、斯ウ云フコトハ運營上今後絶無ヲ期シナケレバナラナイ、大ニニ藥種商ノ活動力ヲ私ハ期待シテ居リ、其ノコトハ再々凡ニル機會ニ於テ申シテ居リマスル通り、日本本來ニ傳ハリ、其ノ習慣ニ即シタ所ノ醫藥ヲ、此ノ廣イ大東亞ノ凡ニル方面カラ集メテ、サウシテ適正ノ配給ヲシタイト云フノガ本法案ノ狙ヒ所ノ一ツニナツテ居リマスノデ、今後ハ其ノ

點ニ於テ運營上十分ニ御趣意ノアル所ヲ體シマシテ、措置致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○上田委員 只今ノ大臣ノ御答辯デ洵ニ私ハ満足スルノデアリマス、ドウカ一ツサウ云フヤウニ願ヒマシテ、今出テ居ル參考書ノ數字ノヤウナコトハ——是レ以上申上ゲマセヌガ、斯ウ云フ遺憾ナコトノナイヤウニ是非御願ヒシタイト思ヒマス

〔勝又委員長代理退席、委員長着席〕

是ハ尙ホ大臣デナクテ結構デアリマス、藥事法ノ質疑ガ今日デ打切ラレルト云フコトデアリマス、大體此ノ前ノ質問デ分ツテ居ルノデアリマスガ、ソレダケデハ明確ニナラヌ點ガアリマスノデ、一寸伺ヒタイト思ヒマス、今日デナクテモ宜イノデアリマス、ソレハ指定藥品ノ問題デアリマスガ、現行ノ藥品營業法藥品取扱規則三十七條ノ二ニ「藥劑師ニ非サレハ指定藥品ヲ販賣又ハ授與スルコトヲ得ス但藥劑師藥種商製業者間ニ在リテハ此限ニ在ラス」斯ウ云フ規定ガアリマス、ソレカラ次ニ三十七條ノ二項ニ「命令ノ定ムル所ニ從ヒ藥劑師ヲ使用スル藥種商ハ指定藥品ヲ販賣又ハ授與スルコトヲ得但」云々、斯ウ云フ規定ガアリマス、ソレカラモウ一ツ第三十七條ノ四ニ「土地ノ狀況ニ依リ地方長官ハ期間及營業所所在地ヲ定メ藥種商ニ指定藥品ノ販賣授與ヲ許可スルコトヲ得但」云々ト、斯ウ云フ規定ガアリマス、此ノ第三十七條ノ二、三、四、是ガ今回ノ藥事法ニ於テハド云フ御取扱ニナルカト云フノデス、今回ノ案ハ藥品營業及品取扱規則ト云フモノヲ廢止シテ、サウシテ此ノ藥事法ニ統合シテシマウコトニナルノデアリマスガ、此ノ現行法ノ藥品營業法

藥品取扱規則ガ廢止ニナルトスレバ、今申上ゲタ三十七條ノ二、三、四ト云フモノハ、是ハ俗ニ云フ既得權デアルカラシテ、ドウシテモ何カデ殘ラナケレバナラヌ譯デアアル、而シテ更ニ言換レバ此ノ今回改正サレヨウトスル藥事法ノ二十三條ノ第二項ノ「必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得」ト此處ヘ今申シタ三十七條ノ二、三、四ト云フモノガ入ルカドウカ、今申上ゲタ三十七條ノ二、三、四ト云フモノハヤハリ既得權トシテ生キテ、サウシテ此ノ二十三條ノ二項ノ命令ノ中ニ規定サレルノカドウカト云フコトヲ御聽キシタイノデアリマス

○灘尾政府委員 御答ヘ申上ゲマス、只今指定藥品ニ付テ、現在ノ藥品營業法藥品取扱規則ノ第三十七條ノ二乃至四ニ關シマシテ御尋ネガゴザイマシタ、是ハ御話ガゴザイマシタ通り新法ニ於ケル第二十三條ノ第二項ノ規定ノ「命令ヲ發スルコトヲ得」ト云フコトノ中ニ之ヲ入レル積リデ居リマス

○上田委員 私人質疑ハ是デ終リマス

○清水委員長 昨日星一君ヨリ大臣ニ對スル質疑ガアリマシタ、若シ御間ニ合ヒニナルナラバ、大臣ヨリ星君ノ質問ニ對スル答辯フ此ノ場合願ヒマス

○小泉國務大臣 昨日他ノ委員會ニ出テ居リマスル間ニ星委員ヨリ御質問ノゴザイマシタ點ヲ、政府委員カラ承リマシタカラ御答ヘヲ申上ゲマス、第一點ハ衣食住ニ關スル施策ニ付テ豫防醫學的ナ見地ニ於テ大イニ之ヲ進展セシメナケレバナラナイ、之ニ對スル所見如何ト云フ御尋ネデアツタト承知致シテ居リマス、厚生省ハ御承知ノ通りニ全ク人ニ關スル行政ヲ掌ツテ居ルト申シテ宜シイノデアリマス、隨ヒマシテ衣食

住ト云フヤウナ事項ニ關シマシテハ、是ハ最モ大キナ重要ナル部門ヲ占メテ居ル次第デアリマス、隨テ從來ハ是等ノ生活全面ニ互リマシテ消極的ナ面、弱キ者ヲ保護スルト云フヤウナ施策ニ進ンデ參リマシタガ、今日ニ於キマシテハ御説ノ通り豫防醫學ト申シマスカ、積極的ニ衣食住ヲ、健全ナ國民トシテ働キ、其ノ生活ヲ通ジテ十分ニ御奉公ノ出來ルヤウニ、斯ウ云フ風ニ積極性ヲ持ツタル風ニ指導ヲ加ヘテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、御意見ノ點ニハ全然御同感デアリマスノデ、今後トモ尙ホ一層十分ノ努力ヲ傾注致シタイト考ヘテ居リマス

第二ノ點ハ、醫藥品ニハ調劑用即チ醫師向ノモノト、一般向、例ヘバ賣藥等ノ二ツノ區別ガアルガ、藥種商、賣藥業者等ノ協力ヲ十分ニ得ル爲ニハ、法ノ運營ノ點ニ特ニ留意シナケレバナルマイ、之ニ對スル所見如何、斯ウ云フ御尋ネデアツタト承知致シマス、本法案ニ於テハ法制上ニ於ケル賣藥ト藥品トノ區別ハ之ヲ撤廢致シテ居リマスルガ、御話ノ通り、自ラソコニ主トシテ醫師ノ方ニ向ケラレルモノ、又一般ニ向ケラレルモノガ存在シテ來ルト云フコトハ、御説ノ通りデゴザイマスノデ、本法ノ運營ニ當リマシテモ、其ノ實情ニ即スルコトガ第一ニ必要デアルト考ヘマスノデ、法ノ運用上ニ付テハ十分留意ヲ致シテ、遺憾ナキヲ期スル考ヘデ居リマス

第三ノ御尋ネデアリマスガ、從來ノ藥學專門學校等ノ儘デハ本法ノ精神ヲ徹底スルニハ十分デナイ、藥事教育ニ對シテハ大イニ改革ヲシナケレバナラナイ、政府ノ所見如何ト云フ御尋ネデアツタト承知致シテ居

リマス、藥劑師ノ教育問題ハ極メテ重要ナル問題デゴザイマス、特ニ時局ノ要請ニ依リ藥劑師ニ負荷セラルル責任、使命ノ愈々重大デアリニ鑑ミマシテ今後藥學教育、更ニ一般ニ藥事ノ知識ヲ向上致シマスルコト云フ兩面カラ致シマシテ、此ノ方面ノ教育刷新ト云フコトニハ、大イニ努力ヲ致サナケレバナラナイト存ジテ居ル次第デアリマシテ、此ノ使命遂行ノ爲ニハ關係當局ト協力致シマシテ、今後萬遺憾ナキヲ期シタイト存ジテ居ル次第デアリマス

次ニ前世界大戰當時設立セラレマシタル内國製藥株式會社ナル國策會社ノ失敗ノ跡ニ鑑ミマシテ、經驗者ヲ活用スルコト云フコトニハ此ノ際大イニ留意シナケレバナラス、即チ原則トシテ製造販賣ノ經驗者ニ仕事ヲ行ハシメテ、政府ハ唯之ニ對スル必要ナル援助ヲスルト云フ風ニ進ンデ行クノガ當然デアルト思フガ、如何ト云フ御尋ネデアツタト承知致シマス、仰セノ通り、現在總テノ國民ガ此ノ保健ニ一緒ニナツテヤツテ戴クト云フ此ノ秋ニ於キマシテ、特ニ國民ノ保健、更ニ其ノ一半ヲ背負ヒマスル藥事衛生ノ進歩發展ヲ圖ル上ニ於キマシテハ、此ノ方面ニ於ケル多年ノ經驗ヲ持ツテ居ラレル方々ノ知識、衆智ヲ集メル、國家ノ總力ヲ十分ニ發揮出來ルヤウニ運營シテ行クト云フコトノ必要ナコトハ、御説ノ通りデアリマス、殊ニ此ノ製藥販賣ト云フ方面ニハ特殊ノ深キ知識經驗ガ必要デアリマスルコトモ、御意見ノ通りデアリマスルノデ、今回本法案ノ成立ノ後ニハ、是等ノ方々ノ全面的ナ御活動ヲ期待致シテ居リマスルノデ、各般ノ施策ヲ今後致シマスル上ニ付キマシテモ、例ヘバ特殊ノ製造ヲ行フ、或ハ販賣

機關ヲ考ヘルト云フヤウナ場合ニ於キマシテモ、其ノ機構等ニ於テ十分是等ノ方々ノ知識經驗ヲ積極的ニ御活動ガ出來ル上ニ遺憾ナイヤウニシテ行キ、斯ウ考ヘル次第デアリマス

最後ノ御尋ネハ、厚生省ノ行政ノ進展ノ爲ニハ人口局ト生活局トヲ統合スルコトガ適當ナリト思フガ、所見如何ト云フ御尋ネデゴザイマス、是ハ先般行政簡素化ノ問題ガ起リマシタ時ニ、厚生省トシテ此ノ點ハ特ニ行政ノ經驗ニ徵シマシテ取上ゲタ問題デアリマス、理論的ニハ一應人口局ト生活局ト云フモノハ不可分ノヤウニ考ヘラレルト見マスルガ、仕事ノ性質上、例ヘバ人口

涵養ノ問題、或ハ此ノ人口増強ニ關聯スル東亞民族ノ問題、或ハ國民生活ノ確保ノ指導ト云フヤウナモノガ、大キナ重要性ヲ増シテ來ルニ鑑ミマシテ、今日ハ之ヲ併置シテ、唯兩局ノ仕事ハ全ク密接ナル關係ニ於テ連絡ヲ緊密ニシテ、一體ノノ仕事ヲシテ行クト云フコトガ、最モ今日ノ時局要請ニ即應スル所以ナリト考ヘマシテ、別個ノ局トシテ置イタヤウナ次第デハゴザイマスガ、今日厚生省ト致シマシテハ、嘗ニ人口局、生活局ノ兩局ガ一體緊密ナル連絡ト云フコトニ止マラス、總テノ局課ガ全ク厚生行政ノ一點、ソレモ今日此ノ生産増強ノ第一義的國家的要請デアアルノニ鑑ミマシテ、厚生省ノ全力ヲ擧ゲテ生産増強ト云フ一點ニ集中ヲ致シ、ソレノ爲メノ人口ノ増強デアリ、人口政策デアリ、又社會保健政策デアリ、勤勞政策デアルト云フヤウナ風ニ、極メテ互ヒニ密接ナ不可分ノ關係ニ立ツテ居リマシテ、一體ノノ仕事トナツテ運營ガセラレルヤウニ、行政ノ運營ヲスルコトガ出來ル

ヤウニ今日致シテ居ル次第デゴザイマス、其ノ意味カラモ、仕事ノ上カラ、只今申上ダタヤウニ理論的ニハ一應人口局及ビ生活局ハ一體化シ得ルモノデアリマスガ、別ニ之ヲ二局ト致シテ居ルモノデアリマス

○星委員 私五分間デ濟ミマス、二ツカ三ツデスガ、御許シテ願ヒマス

○清水委員長 簡單ニ願ヒマス

○星委員 私人厚生文化ト云フ言葉ヲ流行サスト云フト語弊ガアリマスガ、我が厚生文化ヲ南洋ノ方ニモ、世界ニモ弘メテ欲シイ、斯ウ云フコトヲモウ既ニ御願ヒシデアリマス、ソレデ差當リ南洋ノ方ニ厚生文化ヲドウシテ進メテ行クカ、ソレハ醫者ヤ、藥屋ヲ送ルコトニナリマセウガ、ドチラヲ先ニ送ルガ宜イノカト云フ厚生文化ノ東亞共榮圈進出ニ對スル御伺ヒト、ソレカラ厚生省、戰爭ニ對シテ大キナ任務ガアルト云フコトヲ知ツテ頂戴シタイト云フコト、ソレハ大東亞戰爭ノ目的完遂マデハ國民ハ死ヌコトヲ延期シロ、死ヌナ、病氣ヲスルナ、ナンボ働イテモ草臥レルナト云フコトヲ呼掛ケル任務ガアルト思フ、同時ニ厚生省ハ此ノ戰費ノ償還ニ付テ大キナ任務ガアルト考ヘテ頂キタイノデアリマス、戰費ノ償還ニ付テ厚生省ガ責任ヲ執ルト云フコトマデ言ウテ宜イト思フノデアリマス、人間ガ出シタ費用デアリマスカラ、人間ガソレヲ支拂フコトガ出來ルト云フコトハ、是ハ結局國民ノ平均生存年齡ノ延長ト云フコトデアリマス、吾々ハ生存年齡ノ點ニ於テモ彼等ニ打勝タナケレバナラス、今日吾々ノ平均生存年齡ハ彼等ヨリ低イノデアリマスカラ、吾々ハ此ノ點ニ於テモ彼等ニ打勝タナケレバナリマセヌ、平均生存年齡ガ五年

延長シタナラバ、十年延長シタナラバ、ソレハドレダケノ金額ニナルカト云フコトノ御計算ヲ厚生省ハシテ戴キタイト思フノデアリマス、假リニ今七千五百萬ノ人間ノ生存年齡ガ延長シ、其ノ中ノ三千万人ガ生存年齡ニ依ツテ働クトシマス、三千万人ガ三百日働キマスト一年ニ延人員ガ九十億人ニナリマス、之ヲ一日一圓五十錢ノ働キトシマスト、百三十五億圓デアリマス、若シ二圓トスルナラバ百八十億圓デアリマス、一年ダケノ生命延長ニ依ル働キデ是ダケノ富ヲ作り得ルノデアリマスカラ、茲ニ生命延長ニ依ツテ戰費ガ優ニ償還出來ルノダト云フコトヲ能ク厚生省モ考ヘ、國民ニモ能ク滲ミ込マシテ戴キタイト御願ヒスルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ、寺院デアリマス、全國ノ寺院ハ幾ツアルカ知りマセヌガ、少クトモ八万八千下ラスト思ヒマス、八万カラアル此ノ寺院ヲ此ノ際利用ノ途ヲ厚生省ニ於テ考ヘラレテ宜イデハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、是ダケ申上ゲマシテ、大臣ノ之ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 只今ノ御言葉ヲ拜借致シマスレバ、厚生文化ヲ南方ハ勿論、世界ニ進メル、此ノ御稜威ノ光リヲ世界ニ輝カスト云フコトト存ジマスガ、洵ニ有難イ陛下ノ御光リヲ光被セシムルト云フコトニ吾々ハドウシテモ全力ヲ盡シテ行カナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、而シテ今日其ノ一ツノ例トシテ御舉ゲニナリマシタ南方ニ對シテ醫師ヲ先ヤルカ、藥ヲ先ニヤルカト云フ御尋ネデゴザイマシタガ、今日ノ所ハ、御承知ノ通り、醫師ト致シマシテハ、軍政下ニアリマスル關係上、所謂陸海軍ノ

其ノ人的構成ノ働キガ進シテ居ル次第デア  
リマスガ、之ニ伴ツテ藥ガ出テ居ル次第デア  
アリマス、併シ其ノコトカラ、此ノ戰爭ヲ  
シテ居ルト云フ其ノ面カラ、一面ニハソレ  
ニ並行シテ建設ガ行ハレツツアル譯デアリ  
マス、此ノ建設面ニ於キマシテハ、今日ハ  
藥ノ方ガ非常ニ強ク出テ居ル次第デアリマ  
シテ、是ハモウ御承知ノ通りデアラウト思  
ヒマス、南方ノ建設ニ於テハ、又藥ノ製造、  
其ノ資源ノ收得ト云フヤウナ所ガ凡ユル從  
來ノ經驗者ノ力ニ依ツテ力強ク進展シツツ  
アルヤウナ次第デアリマス、ドウシテモ今  
日ハ先ヅ以テソチラガ先ニナリツツアルト  
云フ現狀ヲ申上ゲテ置キマス

次ニ此ノ大戰爭ニ勝抜キ、大東亞ヲ建設  
スル爲ニハ、死ヌナ、病氣ヲスルナ、平均生  
存年齢ノ延長ガ絶対必要デアルト云フ御趣  
旨ノ御意見ハ全ク御同感デゴザイマス、是レ  
アルガ爲ニ政府ト致シマシテハ、健兵健民運  
動ト云フモノヲ強ク此ノ時局ニ進展ラシテ居ル  
ノデアリマシテ、其ノ目指ス所ハ、根本的ニハ  
人口ノ増殖ニアリ、又只今御話ノヤウナ、  
平均生存年齢、殊ニ活動シ得ル年齢級ノ増  
加ト云フコトニ進メテ居ルヤウナ次第デア  
リマス、是ガ完成致シマスレバ、即チ健民  
健兵、健民強兵、總テ國民ガサウ云フ形ニ  
ナリマシタ時ニハ、此ノ大東亞戰爭ニ於テ  
支出サレタ所ノ經費ト云フヤウナモノハ、  
極メテ易々トシテ是ガ人的國力ニ依ツテ完  
全ニ償ハレ、更ニ世界ノ大發展ニ力強ク進  
ムモノト確信ヲ致シテ居リマス

更ニ、寺院ノ利用ニ付キマシテハ、是ハ  
色々ノ方面カラ考ヘラレテ居ル次第デアリ  
マシテ、健民政策ノ上カラモ、寺院ニ色々  
其ノ方面ノコトデ御一緒ニヤツテ戴クト云

フコトモアリ、又思想上ノ問題モアリ、色々  
ゴザイマスガ、政府ト致シマシテハ、此ノ寺  
院ト云フモノノ國民の信仰ノ中心デアリ、  
又本當ノ皇國民鍊成ノ中心機關トシテ、此  
ノ寺院ト云フモノガ一緒ニヤツテ行ク、言  
葉ハ穩當デアリマセヌガ、利用活用シテ行  
クト云フ風ニ色々施策ヲ進メツツゴザイマ  
スガ、今後尙ホ此ノ點ハ一層強ク、而モ速  
カニサウ云フ體制ノ整フヤウニ措置シテ行  
キタイサウ考ヘテ居リマス

○清水委員長 藥事法案ニ對スル質疑ノ通  
告者ハマダニ、三アリマスルガ、本日御出  
席ガアリマセヌノデ、藥事法案ニ對スル質  
疑ハ大體ニ於テ終了シタモノト認メマス、  
但シ若シ本案直接ノ關係ベ重要ナル質疑ガ  
アルト致シマシタナラバ、藥事法案ノ討論  
ノ前ニ特ニ御許シスルヤウナ場合ガアルカ  
モ知レマセヌ——是ヨリ午前中ノ船員保險  
法中改正法律案ニ對スル質疑ノ繼續ヲ致シ  
マス——逢澤君

○逢澤委員 船員保險法案ニ付キマシテハ、  
私ハ唯福利施設ノ充實ニ付キマシテ今一段  
ノ増強ヲ御願ヒ致シタイト考ヘマス、サウ  
シテ私ハソレニ關聯致シマシテ勞働者災害  
保險ノコトニ付キマシテ御尋ネ致シタイト  
思ヒマス、共濟ノ中デ、罹災者ノ給付、或  
ハ其ノ治療費、斯ウ云フモノガ大分前ニ行  
ハレテ、其ノ規定ガ制定致サレタノデアリ  
マスガ、現在ノ如ク物價ガ高クナリマシタ  
ニ際シマシテハ、ソレガ適當デナイ、斯ウ  
云フ風ニ思ハレル節ガ段々アルノデアリマ  
ス、當局ニ於カセラレマシテハ、之ニ對ス  
ル改正ノ意思ガアルカナイカ、若シ改正ガ  
出來ルトスレバドウ云フ程度ノ御改正ガ出  
來マスカト云フコトニ付テ御伺ヒ致シマス

○平井政府委員 御答ヘ申上ゲマス、勞働  
者災害扶助、船員保險法ニ出テ居リマス災  
害扶助法ニ規定ノアル各種ノ扶助料ノ引上  
ノ意思アリヤ如何ト云フ御質問デアリマシ  
タガ、數年前ニ其ノ支給日數ノ引上ヲヤツ  
テ居リマスルシ、又此ノ二月初メニモ改正  
致シマシテ、支給日數ハ變更アリマセヌガ、  
其ノ基準トナリマス所ノ標準賃金ヲ可ナリ  
引上ゲテ居ルノデアリマス、昭和七年ニ標  
準賃銀一圓トシテ或ハ五百四十日分ト云フ  
ヤウナ計算ヲ致シテ居リマシタガ、ソレヲ  
昭和十五年ニハ一圓三十錢ニ引上ゲタノデ  
アリマス、而シテ今月之ヲ一躍二圓ニ引上  
ゲタノデアリマシテ、昭和七年ト比較致シ  
マスト標準賃銀ガ約倍ニナツテ居リマス、  
ソレハ即チ扶助料ガソレダケニ於テ倍額ニ  
相成ルト云フ結論デアリマシテ、其ノ他支給  
日數モ毎年殖ヤシテ居リマス、扶助料ハ最  
近増額致シテ居リマスノデ、當分ノ間此ノ  
内容ニ依ツテ實行シテ行キマシテ、更ニ必  
要ナル點ハ考慮シテ行キタイト思ヒマス

○逢澤委員 只今標準賃金ヲ一圓三十錢ニ  
マデニ増額シ、更ニ本年度ハ二圓ニ増額ガ  
出來ルト云フ御話デアリマスガ、現在ノ勞  
銀ノソレト比ベテ見マスルト、此ノ二圓ハ  
餘リニ低ク過ギルト云フ感ジガ致スノデア  
リマス、併シ是ハ結局保險料ノソレトモ關  
聯致シマスノデ、保險經濟ガ成立ツカ成立タ  
ナイカ、所謂勞働者災害扶助保險ノ經濟ガ  
成立ツカ成立タナイカト云フ所ニ問題ガ岐  
シテ來ルト思ヒマス、ソコデ若シ此ノ保險  
經濟ガ成立ツモノトスレバ、今少シ増額ヲ  
御考ヘニナル御意思ガアルカナイカト云フ  
コトヲ更ニ御尋ネ致シタイノデアリマス、  
ソレカラソレト關聯致シマシテ休業扶助ニ

付キマシテ、現行ノ扶助ノ方法ガ適切デア  
ルカナイカ、又休業扶助ニ對シテ何カ適當  
ナ時期ニ改正スル御意思ガアルカナイカト  
云フコトニ付テ御答ヘヲ願ヒタイト思ヒマ  
ス

○平井政府委員 御答ヘ申上ゲマス、扶助  
料引上ノ點ニ付キマシテハ、保險經濟ニ餘  
裕ガアレバ引上ゲルカドウカト云フ御質問  
デアリマシタガ、船員保險ニ於ケル、保險  
金額ノ扶助料バカリデアリマセヌデ、其ノ  
他ノ方面ノ給付ノ擴充ナドモ同様ニ必要デ  
アルモノモアリマスノデ、隨テ餘裕ガアレ  
バ必ず扶助料ヲ引上ゲルト云フ譯ニハ參ラ  
ヌト思ヒマス、現ニ他ノ方面ニ於ケル給付  
ノ擴充、強化ヲ現在計畫致シテ居リマシテ、  
此ノ四月頃カラ給付ノ擴充強化ヲ實現致シ  
タイト考ヘテ居リマスカラ、財源ガアレバ  
必ず扶助料ノ引上ゲルト云フ譯ニハ相成  
ラスト考ヘテ居リマス

○逢澤委員 只今御尋ネ致シマシタ休業扶  
助ニ付キマシテ、今マデニ何カ缺陷ガアル  
ト云フヤウナコトヲ御承知ハナイデセウカ  
○菊池(武)政府委員 御答ヘ致シマス、休  
業扶助料ニ付キマシテ缺陷ガアルト云フ點  
ニ付テハ、別ニ考ヘテ居リマセヌ、健康保  
險其ノ他ノ社會保險ト同ジヤウニ百分ノ六  
十ノ扶助料ヲ出シテ居ルノデアリマシテ、  
別ニドウ云フ弊害ガアルト云フコトニ付テ  
ハ、私共ハナイト思ツテ居リマス

○逢澤委員 實ハサウ御覽ニナルノガ正當  
ト思ヒマス、實ハコンナコトヲ此ノ席デ申  
上ゲルノハ、實ハ遠慮シタイト思フノノデ  
スガ、内地ノ勞務者ニハ、私ノ體験上カラ  
言ツテサウ云フコトハアリマセヌガ、併シ  
遺憾ナコトニハ半島勞務者ニ非常ニソレガ

○平井政府委員 御答ヘ申上ゲマス、扶助  
料引上ノ點ニ付キマシテハ、保險經濟ニ餘  
裕ガアレバ引上ゲルカドウカト云フ御質問  
デアリマシタガ、船員保險ニ於ケル、保險  
金額ノ扶助料バカリデアリマセヌデ、其ノ  
他ノ方面ノ給付ノ擴充ナドモ同様ニ必要デ  
アルモノモアリマスノデ、隨テ餘裕ガアレ  
バ必ず扶助料ヲ引上ゲルト云フ譯ニハ參ラ  
ヌト思ヒマス、現ニ他ノ方面ニ於ケル給付  
ノ擴充、強化ヲ現在計畫致シテ居リマシテ、  
此ノ四月頃カラ給付ノ擴充強化ヲ實現致シ  
タイト考ヘテ居リマスカラ、財源ガアレバ  
必ず扶助料ノ引上ゲルト云フ譯ニハ相成  
ラスト考ヘテ居リマス

○逢澤委員 只今御尋ネ致シマシタ休業扶  
助ニ付キマシテ、今マデニ何カ缺陷ガアル  
ト云フヤウナコトヲ御承知ハナイデセウカ  
○菊池(武)政府委員 御答ヘ致シマス、休  
業扶助料ニ付キマシテ缺陷ガアルト云フ點  
ニ付テハ、別ニ考ヘテ居リマセヌ、健康保  
險其ノ他ノ社會保險ト同ジヤウニ百分ノ六  
十ノ扶助料ヲ出シテ居ルノデアリマシテ、  
別ニドウ云フ弊害ガアルト云フコトニ付テ  
ハ、私共ハナイト思ツテ居リマス

○逢澤委員 實ハサウ御覽ニナルノガ正當  
ト思ヒマス、實ハコンナコトヲ此ノ席デ申  
上ゲルノハ、實ハ遠慮シタイト思フノノデ  
スガ、内地ノ勞務者ニハ、私ノ體験上カラ  
言ツテサウ云フコトハアリマセヌガ、併シ  
遺憾ナコトニハ半島勞務者ニ非常ニソレガ

多イノヲ残念ニ思フガ、負傷致シマシテ休養ヲスル、其ノ休養ノ場合ニソレニ扶助ヲ與ヘル、内地人ハ少々傷ガ痛ンデモ仕事ニ勵シム、是ガ内地人ノ性格ナシデス、所ガ半島勞務者ハ扶助ニ依ツテ生活ガ出來ルト、休業日數ヲ多クシテ來ルト云フコトガアルノデアリマス、ソコデ扶助ノ適正ヲ期スルト云フ事柄ハ、仕事ノ能率ヲ上ゲル上ニ非常ニ密接ナ關係ガアル、一旦傷ヲスルト、ソレガ痛イカラ仕事ガ出來ナイト言ハバソレダケデアリマス、ダカラ其ノ邊ヲ保險制度ニ於テ適正ヲ期セラレ、或ハ其ノ傷害ノ程度、或ハ其ノ程度ノ認識ガ、保險醫ノ方々ニノミ信頼セズ、或ハ將來出來マス所ノ勞報ナドノ機關モ通ジテ、是ハ勞務ニ差支ヘガアルモノデアアル、或ハ此ノ程度ノモノハ勞働ニ勵シムベキモノデアルト云フ範圍ヲハツキリシテ戴ク必要ガアルト思フノデスガ、之ニ對シテ若シ御考ヘガアレバ伺ヒタイト思ヒマス

○平井政府委員 御答へ申上ゲマス、勞働者扶助、災害扶助、船員保險ト言ハズ其ノ他ノ社會保險ニ於キマシテハ、傷病ノ爲ニ休ミマシタ場合ニハ手當金ヲ出シテ居ルノデアリマス、賃金ノ六割ヲ出シテ居リマス、ソレアルガ爲ニ勤勞能率ガ低下スルノデハナイカト云フヤウナ聲ハ、多少私共モ耳ニ致シタコトガアリマス、甚ダ以テ吾々トシテモ遺憾千萬ダト存ジマシテ、爾來聲ヲ大ニシマシテ府縣ノ當局者ニ是ガ取締ヲ命ジテ居リマス、更ニ又配置サレマシタ日本醫師會ニ能ク話シマシテ、醫師ガ證明ヲ出シマス場合ニ嚴然タル態度ヲ以テ證明スルヤウニ慫慂致シテ居リマス、更ニ又産業報國會ニ對シマシテモ勤勞精神ノ昂揚ト云

フ方面ニ向ツテ一段ト御努力ヲ願ヒタイト云フコトヲ御願ヒ申上ゲテ居リマシテ、政府ト産業報國會及ビ醫師會ノ三者一體ニナリマシテ、苟且ニモ左様ナ弊害ノ起キナイヤウニ實ハ懸命ノ努力ヲ拂ツテ居ル譯デアリマス、災害保險ニ於キマシテモ左様ナコトガアリト致シマスナラバ、新シク出來マス所ノ報國會トモ能ク連絡ヲ執リマシテ、苟クモ左様ナコトガナイヤウニ、社會保險制度ハ要スルニ健康ノ保持増進ヲ圖リ、現有勞務ノ増強確保ヲ圖リマシテ戦力増強ニ資スルコト、其ノコトニ目的ガアルノデアリマスカラ、ソレニ反スル行爲ガ行ハレナイヤウニ嚴重取締ツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○達澤委員 勞災ノ保險料金ト言ヒマスカ、保險率ト言ヒマスカ、ソレニ付テ最近改正ヲナサル御意見ガアルカナイカト云フコト、ソレカラ又現行ノ勞働者災害保險法ノ基準料金トモ言フベキ根本ヲ御變ヘニナルベキデハナイカト云フ意見、現在ノ勞働者災害保險ノ保險金額ハ請負金額何ガシニ依ツテ課セラレテ居ルノデアリマスガ、過渡的ノ方法トシテハモ已ムヲ得ナカツタモノト思ヒマスルガ、現在ノ如ク既ニ勞働者災害保險法ガ始マリマシテ數年ヲ經マシテ、相當ニ今後ノ見透シモ付イテ居ルコトト考ヘマス、ソレデ此ノ請負金額ニ依ツテ課セラレル保險料ガ適切デナイト云フコトハ、當局ノ方々モ能ク御承知ダト思ヒマス、災害其ノモノガ請負金額ニ依ツテ生ズルモノデモナイ、災害其ノモノハ人ニ依ツテ出來テ來ル、其ノ使用人ノ數ノ大小、或ハ其ノ工事ノ種別ノ危険性ノ多小トカ云フヤウナコトニ依ツテ生ジテ來ルモノデ、請負金額

ニ依ツテ災害ガ生ジテ來ルモノデハナイコトハ御承知ノ通りダト思ヒマス、ソコデ之ヲ其ノ使用人ノ數或ハ危険箇所、災害ノ起ル種類ニ依ツテ課スル、斯ウ云フヤウナ御考ヘガアリマスカ、アリマセヌカ、一寸御尋ネ致シマス

○平井政府委員 御答へ申上ゲマス、御承知ノ通り最近保險經濟ノ方面ニ餘裕ガ出來タコトハ事實デゴザイマス、隨テ其ノ保險經濟ノ餘裕ヲ如何ニシテ處理スルカト云フ點ニ付キマシテハ、一概ニ保險料ヲ引下ゲルト云フコトハ相當考究シナケレバナラヌト思フノデアリマス、購買力吸收ノ現下ノ際デアリマスノデ、保險料ヲ引下ゲルト云フコトハ尙ホ考究ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、但シ唯今御話ノアリマシタヤウニ請負金額ニ依ツテ傷病ト云フモノハ出テ來ルモノデハナイノデアリマシテ、其ノ間ニ何等ノ牽連性ガナイコトハ吾々モ承知致シテ居リマス、但シ他ニ方法ガ考ヘラレナカツタ爲ニ、當初請負金額ニ依ツテ保險料ハ算出スルコトニ便宜的ニ致シテ參ツタノデアリマス、ソコデ吾々トシテハ既ニ數箇年間ノ実績ガアリマスノデ、如何ナル事業ニ於テハ如何ナル程度ノ延勞働者ヲ使ハレルモノカト云フコトガ大體実績ニ基ク基準ガ出テ參リマシタノデ、其ノ基準ニ基イテ延人員ニ依ル保險料ヲ算出シテ、現行ノ保險料率ヲ多少整理シタイト云フコトハ考ヘテ居リマス、其ノ結果保險料ノ引下ト云フヤウナ結果ヲ來スコトモアラウト思ヒマスケレドモ、引下ト云フ意味合デハナクシテ、保險料率ノ整備合理化ヲ圖リタイト考ヘル譯デアリマス

○達澤委員 私ハ保險料金ノ適正ナ合理化

ト云フコトノ御願ヒヲ致シテ居リマスルノデ、決シテソレノ低下ノミヲ主張スル者デハアリマセヌガ、若シ相當ノ餘裕ガアルト致シマスルナラバ、今後其ノ能率向上、或ハ保健施設ノ増強、所謂福利施設ノ増強ニ十分ニ御留意下サルコトヲ御願ヒ致シマシテ、私ノ御尋ネヲ終リマス

○清水委員長 船員保險法中改正法律案ニ對スル質疑者中、渡邊君ガ午前中半バ質疑サレマシテ、藥事法案ニ移リマシタガ、渡邊君ノ質疑ノ一部分ヲ保留シテ置キマシタ、大體ニ於テ船員保險法中改正法律案ノ質疑ハ終了ト認メテレマスノデ、是ヨリ軍事扶助法中改正法律案ノ質疑ニ入りタイト思ヒマス——藤本君

○藤本委員 支那事變及ビ大東亞戰爭勃發以來皇軍ノ振古未會有ノ戰果ニ付キマシテハ、固ヨリ御後威ノ致スコトデアリマスガ、又第一線將兵ノ勇戰奮闘、鬼神モ泣ク御勞苦ノ賜モノデアリマシテ、一億國民ノ感謝感激措ク能ハザル所デアリマス、併シ榮冠涙アリデゴザイマシテ、第一線ニ勵キマシタ將兵ノ中ニハ、既ニ大東亞共榮圈ノ建設ノ崇高ナル礎石トナツテ、今ハ護國ノ神ト化シテ居ル勇士モアリマス、又傷痍疾病ニ惱ム將兵モアルノデアリマシテ、衷心敬弔ニ堪ヘズ、又衷心御同情致シテ居ル次第デアリマス、今回御提案ニナリマシタル軍事扶助法ノ改正モ亦、此ノ國家的、國民的感謝ノ微意ノ表現デモアル、斯様ニモ拜察致スノデアリマス、其ノ改正ノ内容ハ三點ニ盡キテ居ルヤウデアリマス、即チ第一ハ軍事扶助法ノ扶助ヲ受ケル條件ノ一ツト致シマシテ、一種以上ノ兵役ヲ免ゼラレタル行政處分ヲ要セザルコト、第二ハ下

士官ノ現役中タルト、應召中タルトヲ問ハズ、其ノ家族ヲ本法ノ適用ノ範圍ニ入レルト云フコトデアリ、第三ハ下士官兵ノ退營又ハ召集解除後扶助ノ繼續期間二十日以内ヲ三箇月以内ニスルト云フコトデアリマシテ、悉ク適正デアリマス、何等異議ハゴザイマセヌ、寧ろ口手ヲ擧ゲテモツト御願ヒ致シタイヤウナ感ジガ致スノデアリマス、併シ尙ホ條文ノ個々ニ付キマシテ具體的ニ一、二箇單ニ御伺ヒ致シマス、此ノ軍事扶助法ノ狙フ所ハ第一條ニ其ノ對象ヲ規定シテアリマスガ、即チ傷痍軍人、或ハ其ノ遺家族、或ハ下士官兵ノ遺家族デアリマスルガ、斯様ナ方々ニ對シマシテ、此ノ法制ニ依リマシテ國家ガ出來ルダケノ所謂扶助ヲ致スト云フコトハ結構デアリマスガ、併シ私ノ考ヘテ以テ致シマスルナラバ、是ガ總テデナイ、之ヲヤルコトニ依リマシテ第一線ニ於ケル將兵ニ後顧ノ憂ナカラシムル、又今後勇躍征途ニ就ク所ノ將兵ニ後顧ノ憂ナカラシムル、更ニ又斯クノ如ク傷病兵及ビ其ノ遺家族ヲ手厚ク國家ガ扱フコトニ依リマシテ、國民ノ思想ヲ強化スル、サウシテ奉公心ヲ彌ヤガ上ニモ燃エ立タスト云フコトガ、此ノ軍事扶助法ノ重大ナ狙ヒデナケレバナラス、私ハ斯ウ思ヒマス、隨ヒマシテ先ヅ軍事扶助ノ根本方針ヲ承リタイト存ジマス

○小泉國務大臣 只今軍事扶助法、又軍人援護ノ根本精神ニ觸レテノ御所感、洵ニ御同感ニ堪ヘマセヌ、今日ノ時局ニ鑑ミマシテ、軍人援護精神ト云フモノヲ益々昂揚シテ、全國民ニ徹底セシムル、之ニ依ツテ奮ニ扶助法ノミナラズ、其ノ援護精神ノ昂揚ヲ期シタイト云フ考ヘカラ、國民ノ全部ニ對シ

テ、援護精神ノ徹底ニ對シテハ、從來學校教育ニ於テ、私ハ援護運動ニ於テ色々行ツテ居リマスルガ、今後尙ホ一層之ニ對シテ徹底の方策ヲ講ジタイ、斯ウ存ズルノデアリマス

○藤本委員 軍人援護ノ方途トシテハ、精神の方面ト、物の方面トノ兩面ガアルノデアリマス、物の方面ハ此ノ扶助法ノ規定シテ居リマスガ、精神の方面ハ一體ドウ致シマスルカ、一面名譽アル皇軍將兵トシテノ衿持ヲ保持セシメ、或ハ國民モ此ノ名譽アル皇軍將兵ニ對シマシテ一時ノ泡沫的ナ感奮ヤ感激デナシニ、常ニ其ノ名譽ニ對シ、御勞苦ニ對シ精神の報ユルコトガナケレバナラスガ、是ハ一體ドウスルカガ問題デアラウト思ヒマス、憲法第二十條ノ此處ヘ持出スマデモナク、サウシテ方名譽アル軍人トシテモ非常ニ宜イデヤナイカ、固ヨリ物の方面ニモ大イニ御考慮ヲ願ハナケレバナリマセヌガ、精神の方面ニ於キマシテ少シ缺ケル所ガアルノデハナイカト云フコトガ、最近ノ事例ニ徴シテ考ヘラレマス、此ノ點ニ付テノ御考ヘヲ承リタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 軍人援護ノ精神の方面ト、國民ノ援護精神ノ昂揚徹底ト云フコトニ關シテノ今後ノ措置トモ申シマスカ、御尋ネデゴザイマスルガ、今日マデハ御承知ノ通りニ軍人援護會、又傷痍軍人會ト云フ精神方面ノ援護團體ニ依リマシテ、軍事保護院ノ指導ノ下ニ其ノ援護運動ヲ致シテ參リマシタガ、マダ〳〵徹底モセズ、不十分ナ點ガ多々ゴザイマス、吾々傷痍軍人會或ハ援護會ノ仕事ハ、涙ヲ以テ聞キ、見ルト云フ例ハ澤山ゴザイマス、斯ウ云フ事象モゴ

ザイマスノデ、今回政府ト致シマシテハ、軍人援護團體ノ強化——財政方面ノ點ニ於キマシテモ、人の方面ニ於キマシテモ、之ヲ強化スルコトト併セマシテ、今回傷痍軍人會ニハ、援護會ノ總裁官ヲ同ジク傷痍軍人會ノ總裁ニ仰ギ奉リマシテ、之ニ依リマシテ傷痍軍人ノ精神教導ト云フコトニ強ク力ヲ入レテ行キタイ、又ソレニ對スル色々ノ措置上ノ施設ノ上ニ於キマシテモ、政府ハ全ク是ト協力一致致シマシテ、此ノ精神方面ノ運動、其ノ精神ノ昂揚徹底ト云フコトニ萬遺憾ナイヤウニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、只今ノ御趣旨ノ點ハ全ク御同感デゴザイマス、今後益々サウ云フ御趣旨ノヤウニ進ンデ行キタイト存ジテ居リマス

○藤本委員 次ニ物の方面ニ付キマシテ御尋ネ致シマスガ、豫算ニ依リマスレバ十八年度ガ九千餘萬圓デアリ、十七年度ハ七千四百餘萬圓デアリマシテ、僅ニ千六百餘萬圓ノ増加デアリマスルガ、先刻申述ベマシタヤウニ、此ノ軍事扶助法ヲ通シマシテ、傷痍軍人其ノ他ニ對シマシテ援護ラスル、更ニソレヲ通シテ第一線將兵ノ後顧ノ憂ナカラシムル、或ハ今後勇躍征途ニ就ク者ノ後顧ノ憂ヲナカラシメルコトニ對スル豫算ト致シマシテハ、洵ニ少イヤノ感ナキヲ得ナイノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテドノヤウニ御考ヘデアリマスカ

○小泉國務大臣 軍人援護ノ施設ト致シマシテ、從來最モ不備デゴザイマシタ神經ノ障礙、例ヘバ脊髓ノ障礙、頭ノ障礙、目ノナクナツタ方ト云フヤウナ方ニ對スル施設ヲ今回更ニ擴充ヲ致シタイ、更ニ今日此ノ施設ノ最モ大キナ部分ヲ占メテ居リマス結

核療養所等ノ内容ニ於キマシテハ、洵ニ遺憾ナ點ガ多々ゴザイマス、眞ニ傷痍軍人ノ療養ヲスル、而シテ再起奉公ト云フコトヲ可能ナラシメルヤウニスルニハ、施設内容等ニ於テ改善スベキ點ガ多々ゴザイマスノデ、此ノ點ニ重點ヲ置キマシテ、今日ノ措置ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、今後益々斯ウ云フ傷痍軍人ノ増加スル趨勢ニ鑑ミマシテ、事態ノ推移ニ鑑ミマシテ、適切ニ處置ヲシテ行キタイ、斯ウ政府ハ考ヘテ居リマシテ、此ノ點ニ於テハ全ク軍事費ト同ジデアリマス、遺憾ナキ措置ヲ識ジタイ、斯ウ云フ所存デゴザイマス

○藤本委員 今モ申述ベマシタヤウニ、此ノ改正ニ要スル經費ハ千六百餘萬圓デアリマスガ、私ノ憂慮致シマスノハ是デ宜シイノカ、是デ御考ヘノヤウナ御施設ガ出來ルノデアルカドウカ、更ニ今モ御仰セニナリマシタヤウニ、此ノ軍人援護費ト云フモノハ戰費デアルト云フ觀點カラ御尋ネ致シタ次第デアリマス、是デ十分ナラバ結構デアリマスガ、不十分ナラバ大イニ御考ヘ戴キタイト思ヒマス

次ニ具體的ナコトニ入りマスガ、現行法ノ第五條ノ第一項ニ生活スルコトノ困難ナル者トアリマス、此ノ生活スルコトノ困難ナルト云フコトハ、一體誰ガ認定スルカ、日本人ト云フモノハ人ノ援助、或ハ國ノ援助ナドヲ受ケタガラスノデアリマシテ、私ハ之ニ付テ涙グマシイ例ヲ持つテ居ルノデアリマシテ、若シ警察署長ガ一刻遅レテ行ツタラ、自殺スルマデニ行ツテ居ツタ例ガアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、生活スルコトノ困難ナル者ト云フ其ノ認定ヲドウスルカト云フコトニ付テ御配慮ヲ戴キタ

イノデアリマス、更ニ第二項ニ生活ヲ維持スルトデアリマスガ、此ノ中ニハ教育費ガ入ツテ居ル譯デアリマスガ、其ノ教育ハドノ程度マデ引受ケルカ、承ル所ニ依ルト國民教育ノ程度デアルト云フコトデアアルガ、私ハ是デハイケナイト思フ、過去ノ文化ノ低イ時代ナラバ是デモ宜イカモ知レマセヌガ、今ヤ普通教育ハ中等教育デアリマス、若シ或ハ護國ノ神トナラズ、或ハ傷痍軍人トナラナカツタナラバ、立派ニ其ノ子女ニ中等教育ヲ受ケサセ得ルト云フヤウナ者モ随分アリマセウ、申スマデモナク日本ノ道德ハ忠孝一本ニアリマス、而シテ孝ノ本質ハ子ガ親ヲ物質的ニ、勞ハルト云フコトモアリマセウガ、祖先ノ遺風ヲ體シマシテ、大イニ家名ヲ揚ゲルト云フコトニアルノデアリマス、又親カラ申シマシテモ、何モ肉體的ニ飽食暖衣ト云フノデナシニ、大イニ子孫ノ生成發展ヲ願フト云フノガ子ヲ思フ親心デアリ、是ガ日本ノ道德ノ本質デアリマス、隨テ後繼者ガ如何ニナルカト云フコトハ最モ重大ナ關心事デアリマス、ソレガ小學校デ止マルト云フヤウナコトハ、日本ノ道德ノ本義カラ申シマシテモ遺憾ナコトデアアルノミナラズ、親ガアルナラバ大イニ英才ヲ發揮シ得ルト云フヤウナ機會ガ其ノ爲ニ失ハレル、斯ウ云フコトカラ致シマシテ、ドウシテモ軍人援護ノ所謂生活扶助ト云フモノノ中ニ教育ガ入ツテ居ルナラバ、今ノ國民教育デハ足りナイ、モウ一段高メテ、少クトモ中等教育マデハ引受ケルト云フ所ノ國家的ナ措置ガ私ハ必要デアルト思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテドウ云フ風ニ御考ヘデセウカ

困難ナル者ノ認定ノ問題デアリマスガ、是ハ扶助ノ申請ガアリマシタ際ニ扶助ノ執行機關タル地方事務所長、支廳長若クハ市長ガ認定ヲ致シマシテ決定スル譯デアリマス、其ノ認定ノ標準ト致シマシテハ、一應ハ勅令ヲ以テ定メテ居リマス扶助ノ限度ニ相當スル程度ノ収入ガ本人ニナカツタ場合ニ於キマシテハ、即チ生活ノ困難ナルモノトシテ認定致シヤウナ大體方針ヲ執ツテ居リマス、尙ホ次ニ御尋ネノ此ノ扶助ノ限度ノ中ニハ修學費ガ入ツテ居ルカドウカト云フ點デアリマス、是ハ義務教育費ハ此ノ扶助額ノ限度ノ中ニ算定サレテ居ルモノトシテ取扱ヒテ致シテ居リマス、併シナガラ御尋ネノ中等教育以上ノコトニ付キマシテ相當ノ施設ガ必要デアルトハ全ク御同感デアリマスルノデ、此ノ法律ノ規定ヲ離レマシテ、別ニ豫算ヲ計上致シマシテ、戰歿軍人ノ遺兒、ソレカラ傷痍軍人ノ子弟ニ對シマスル、育英ノ施設ヲ致シテ居リマス、此ノ方面ニ於キマシテハ、中等教育以上ニ對シマシテモ之ニ給費ヲ致シマシテ、教育ヲ致シヤウニ致シテ居リマス、尙ホ專門學校程度以上ノモノニ付キマシテハ軍人援護會ニ於テ相當ニ施設ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

アリマシタナラバ、折角ノ結構ナ制度ノ活用ト云フモノガ非常ニ阻マレルト云フコトモアリマスノデ、其ノ點ニ付キマシテモ御留意ヲ戴キ、又現在ドレ位ノ豫算デドレ位收容シ得ルカト云フヤウナコトヲ一ツ承リタイト思ヒマス

○高辻政府委員 扶助ノ申請ガアリマシタ場合ニ只今申上ゲマシタヤウナ標準ニ基イテ判斷ヲ致シテ出スノデアリマスガ、一面執行機關ニ於キマシテ、必要アリト認メマシタ場合ニハ、申請ガナイ場合ニ於キマシテモ扶助ヲ致スコトノ規定ガ設ケラレテ居ルノデアリマス、此ノ兩面ノ規定ト相俟チマシテ漏レル者ノナイヤウニ常ニ督勵致シテ居ル次第デアリマス、今後一層御趣旨ニ基キマシテ努力致シテ参リタイト存ズルノデアリマス、尙ホ遺兒若クハ傷痍軍人ノ子弟ノ教育ノ豫算ノ問題デアリマスガ、國費ト致シマシテハ八十二萬圓程要求致シテ居ルノデアリマス、之ニ依リマシテ國費ニ依ツテハ中等學校ノ子弟ニ對シマシテハ年額二百圓ノ給費ヲ致スコトニ致シテ居リマス、ソレカラ先刻一寸申シ落シマシタガ、高等小學校ノ方ニ對シマシテモ、此ノ豫算ノ範圍ニ於キマシテ、一年當リ一年間ニ三十八萬圓程ノ給費ヲ致スコトニナリマス

弟ノ教育費ガタツタ年額八十二萬圓デハ到底所期ノ目的ヲ達成シ得ナイ、唯制度ガアルニ過ギナイト云フ感ジテ痛切ニ抱クノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ大臣ニ承リマスガ、斯ウ云フヤウナ御方針ヲ今後モ御繼續デアリマスカ、私ハ教育ニ付キマシテハ非常ニ慎重ヲ期シテ戴キタイト思ヒマス、此ノ教育ヲ受ケルコトガ若シ何カノ事情デ出來マセヌデシタナラバ、永久受ケ得ラレヌノデアリマス、延バスコトガ出來ナイノデアリマス、デアリマスカラ、速カニモツト豫算ヲ御取リニナツテ、遺兒及ビ傷痍軍人ノ子弟ノ教育ニ對シマシテハ萬全ヲ期シテ欲シイノデアリマス、大臣カラ御答辯ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 只今ノ御話ノ點ハ洵ニ御尤モニ存ジ上ゲマス、能ク私ハ細カイ事情ハ知リマセヌガ、遺兒等ノ教育ノ爲ニ折角國家ガ企圖致シテ居リマスコトガ徹底シナイト云フコトデアリマスナラバ、徹底致シヤウニ十分善處致シタイト云フ決意ヲ持ツテ居リマス

○藤本委員 今ノ御決意ニ對シマシテハ敬意ヲ表シマス、速カニ御實現ヲ念願致シテ已ミマセヌ

次ニ第六條ノ規定デアリマスガ、扶助ノ方法ト致シマシテ、生活扶助醫療、助産生業扶助トデアリマスガ、併シ傷痍軍人ノ治療ノ段階ニ於キマシテハ種々ノ方法ガアル、又助産——其ノ他ノ方法モ必要デアリマセウ、ケレドモ、茲ニ私ハ援護ノ重要ナ問題ト致シマシテ、生業扶助ニ重點ヲ置クト云フコトガ極メテ必要デナイカト思ヒマス、ト云ヒマスコトハ此ノ名譽アル軍人ニ獨立ノ生計ヲ與ヘルト云フコトハ、帝國軍人ニ

○高辻政府委員 御答へ申上ゲマス、生活

○藤本委員 今承リマシテ非常ニ安堵致ス

○藤本委員 今ノ豫算ヲ承リマシタガ、總

取りマシテハ極メテ必要デアラウト思フノ  
デアリマス、之ニ對シマシテハ職業輔導、  
或ハ再教育等々ナ方法ヲ以チマシテ、獨  
立ノ生計ヲ與ヘル爲ニ職業ヲ與ヘルト云フ  
コトニ付テ御配慮戴キタイノデアリマス、  
先般戴キマシタ資料ニ依リマス、洵ニ至  
レリ盡セリデアリマスガ、併シソレガ爲ニ  
總額九十万圓ノ豫算デアリマシテハ、是亦  
今申上ガマシタヤウニ制度ハ甚ダ立派デア  
ルガ、其ノ實質ニ於テハ洵ニ寥々タルモノ  
デナイカト云フ感ガ致サスデモナイ、此ノ  
點ニ付キマシテモ今後當局ニ御留意ヲ仰ギ  
タイノデアリマス、ト言ヒマスコトハ此ノ  
傷痍軍人が再起シ第一線ニ復歸シテ戴クコ  
トモ結構デアリマスガ、此ノ名譽アル傷痍  
軍人が或ハ軍需産業、其ノ他ノ産業ニ參畫  
サレマスルナラバ、傷痍軍人ト致シマシテ  
モ御奉公ノ繼續ニナリマシテ、非常ニ矜持  
ヲ覺エ、又精神的ニ満足サレル所モアルデ  
アリマセウガ、更ニ大ナルコトハ、或ハ利  
潤追求トカ、或ハ賃金云々ト云フヤウナ聲  
ノアル際ニ於キマシテ、此ノ傷痍軍人が産  
業戰士トシテ働イテ居ルト云フコトニ依ツ  
テ、無形ナ感激、感化ト云フモノヲ與ヘル  
ト思ヒマス、ソシテソレガ能率ノ昂揚トモ  
ナルト云フコトヲ考ヘマスナラバ、此ノ扶  
助ノ方法ト致シマシテハ生業扶助ニ重點ヲ  
置クト云フコトハ非常ニ急務ノヤウニ思フ  
ノデアリマス、又當局ニ於カレマシテモ左  
様ナ御努力ヲ致シテ居ラレマスコトハ萬々  
承知致シテ居リマス、ソレカラ又ソレト  
同時ニ私ハ銃後ノ思想問題、精神昂揚ト  
云フコトニ付キマシテモ、重要ナル關係ガ  
アルト思ヒマシテ、此ノ第六條デ規定シマ  
ス扶助ノ方法ト致シマシテハ、色々ノ段階

ニ即應シナケレバナリマセウガ、治リマシタ  
傷兵ニ對シマシテハ、物質的ノ扶助モ結構  
デアリマスケレドモ、生業ノ扶助ト云フコ  
トニ對シマシテ、御配慮ヲ一段ト仰ギタイ  
ト思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ  
御方針ナリ、今後ノ御處置ニ付キマシテ承  
レレバ幸ヒデアリマス

○藤原政府委員 只今傷痍軍人並ニ遺家族  
ノ生業扶助ト云フコトニ付テノ御熱心ナ御  
話ヲ承リマシテ、洵ニ吾々感ヲ同ジウスル  
ノデアリマス、實ハ軍事扶助法ニアリマス  
ル各種ノ扶助ノ中ニ於テモ、御話ノヤウニ  
單ニ生活ノ扶助ヲスルト云フコトノミヲ以  
テ軍人援護ノ理想トスベキモノデハナイノ  
デ、必ズ職業ニ依ツテ身ヲ立テ、今日ノ戰  
時下ニ於テ御奉公ヲスルト云フコトガ出來  
マスルヤウニ指導ヲスル、同時ニ援護ヲス  
ルト云フコトガ建前デアリマス、軍事扶助  
法ニ於キマシテモ其ノ實施ニ當リマシテハ、御  
話ノ通り生業ノ扶助ト云フコトニ極力指導ヲシ、  
獎勵ヲシテ參ツテ居ルノデアリマス、併シナ  
ガラ此ノ職業ノ援護、保護ト云フコトニ付  
キマシテハ、軍事扶助法ノ施行ト云フコト  
ノミヲ以テ萬全デハナイノデアリマス、ソ  
レ以外ノ方面ニ於キマシテ、軍人援護ノ立  
場カラ致シマシテ、政府ト致シマシテハ各  
方面ノ職業輔導對策ヲ今日計畫實施ヲ致シ  
テ居ルヤウナ譯デアリマス、或ハ傷痍軍人  
ノ職業上ノコトニ付テノ指導モシ、或ハ就  
職ノ斡旋ヲシ、或ハ又就職致シマシテカラ  
後ノ職業輔導ヲナス、其ノ他從來就イテ居  
リマシタ職業ニ傷痍ニ依ツテ就クコトガ出  
來ナイト云フヤウナ者ニ對シマシテハ、新  
タナル方面ノ職業ノ爲ノ再教育ヲスル、所  
謂職業再教育ヲ致シマスル必要モアリマス、

其ノ爲ニ軍事保護院ノ直接ノ施設ト致シマ  
シテモ、國立ノ職業輔導所モ持ツテ居リマ  
ス、其ノ外府縣トシテモ各方面ノ職業ノ再  
教育ノ施設ヲ行ハシメテ居ルヤウナ次第デ  
アリマス、其ノ外遺族ニ對シマスル問題ニ  
付キマシテモ、大體同様デアリマシテ、遺  
族ニ付キマシテモ、軍事保護院ノ直接ノ施  
設トシマシテ職業ノ輔導所ヲ設ケテ居ル  
ヤウナ次第デアリマス、是等ノ職業輔導ノ  
施設ハ今後更ニ充實ヲ致シマシテ、必  
要ニ應ジマシテ擴大モ致シテ行ク必要ガア  
ルト思フノデアリマス、要スルニ現在ノ軍  
人援護ヲ行ヒマスル根本ノ方針ノ一ツト致  
シマシテ、此ノ援護ヲ受ケル人ノ職業ノ保護  
ト云フコトニ付テ重點ヲ置ク、サウシテ先  
刻大臣カラ御答ヘモアリマシタヤウニ、現  
在國家ノ最大ノ要請トナツテ居リマスル所  
ノ生産増強ト云フコトニ關シテ、傷痍軍人ナ  
リ、遺族ナリ、家族モ亦銃後ノ國民トシテ  
此ノ方面ニ大ニ御奉公ヲスル、又セシム  
ルヤウニ政府ガ之ヲ指導シ、援助スル、斯  
様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○藤本委員 簡單デス——藤本君ノ質  
問ニ關聯致シマシテ、軍事扶助ノ基礎觀念  
ニ付テ厚生大臣ニ御伺ヒシタイノデアリマ  
ス、ソレハ官吏、會社員ナドハ現職ノ儘應

○藤本委員 軍人援護ニ關シマシテハ精神  
物質色々ノ方面ガアリマスルガ、ドウゾ此ノ  
兩面ニ互リマシテ萬全ナル措置ヲ御執リニ  
ナリ、サウシテ所期ノ目的ノ達成ニ對シマ  
シテ、今後益々御精進、御努力ヲ仰ギタイト  
思ヒマス、私ノ御尋ネハ是デ終リマス

○清水委員長 田中君ヨリ大臣ニ對スル關  
聯質問ノ御要求ガアリマシタ、簡單ナラ只  
今許シマス

○田中(藤)委員 簡單デス——藤本君ノ質  
問ニ關聯致シマシテ、軍事扶助ノ基礎觀念  
ニ付テ厚生大臣ニ御伺ヒシタイノデアリマ  
ス、ソレハ官吏、會社員ナドハ現職ノ儘應

召致シテ居ル譯デ、軍事扶助ノ必要ハナイ  
譯デアリマス、所ガ農民、商工業者、自由  
職業者ト云フモノハ、生活上ノ問題デ扶助  
ヲ受ケタイト云フ氣持ハ一般ニアル、併シ  
ナガラ自分ノ立場或ハ社會的ノ地位ヲ考ヘ  
テ軍事扶助ヲ受ケルコトニ依ツテ、何ダカ  
誇リヲ失フノデハナイカト云フ感ジガアル  
譯デアリマス、併シ一面ニ於テ會社員、或  
ハ官吏ガ現職ノ儘應召スルト云フ物質上ノ  
豊カサヲ考ヘテ、心ニ何カ滿タサレナイモ  
ノガアルト云フノハ事實ナノデアリマス、  
即チ此ノ間隙ヲ如何ニシテ埋メルカト云フ  
コトガ大事ナ問題ダト思フノデアリマス、  
ト云ツテ生活扶助ヲ一般のニ普及シテハド  
ウカト云フ問題モゴザイマスガ、私ハ是ハ  
採リマセヌ、併シナガラ若シ此ノ軍事扶助  
ト云フコトガ生活困難ト云フコトノ條件デ  
ナクシテ、所謂家族手當ト云フヤウナ精神  
的ニ普及致シマスルナラバ、斯ウシタ問題  
ハ解消スルノデハナイカト云フ感ジガアル  
ノデアリマス、而シテサウシタ家族扶助ト  
云フモノガ現在ノ實際ニ於テハドチラカト  
云フト、此ノ生活困難ト云フ條件ニ拘ラズ、  
相當寛容ニ施行サレテ居ルト云フ點ニ私敬  
意ヲ表シテ居ルノデアリマス、之ヲ更ニ一  
歩進メテ、サウシタ間隙ヲ埋メ、而モ名譽  
心ヲ傷ツケルコトナク、生活上ニ不安ナカ  
ラシムルト云フ所ニ留意ガナクテハナラナ  
イノデハナイカ、ソコデ所謂家族手當ト云  
フヤウナ考ヘ方デ、有難イ御下賜金ダト云  
フヤウナ名稱、或ハ制度ト云フヤウナコト  
ニスベキ必要ガアルノデハナイカト思フノ  
デアリマスルガ、此ノ點ニ付テ大臣ノ所見  
ヲ御伺ヒ致シマス

第六類第十五號 藥事法案外二件委員會議錄 第八回 昭和十八年二月二十四日

第六類第十五號 藥事法案外二件委員會議錄 第八回 昭和十八年二月二十四日

第六類第十五號 藥事法案外二件委員會議錄 第八回 昭和十八年二月二十四日

第六類第十五號 藥事法案外二件委員會議錄 第八回 昭和十八年二月二十四日

○小泉國務大臣 今日人口政策的ノ觀點、又其ノ他凡ユル面カラ考ヘマシテ、家族手當ト云フヤウナコトガ一般ノ俸給生活者ニ對シテ考ヘラレテ居リマス、之ニ對シマシテ農村或ハ自由ナ個人デ經營ヲシテ居ラレル色々ノ商業ノ方々等ニ對シテハ、其ノコトガ全然及ンデ居ナイ、又軍事扶助ノ方カラ申シマシテモ、官公吏ガ應召致シマスレバ、其ノ現職ノ儘デアル、是ガ農村ノ青年デアル時ニハ及バナイト云フ、ソコニ非常ナ矛盾ガゴザイマス、政府ト致シマシテモ何カ是ハ良イ方法ガナイカ、即チ家族手當ヲ先般審議致シマス場合ニ、此ノ問題ハ相當深刻ニ研究ヲ致シマシタ次第デアリマシテ、速カニ何カ名案ヲ一ツ得テ、之ニ依ツテ只今御話ノヤウナ矛盾ナリ、又本當ニ國民全部ニ行ツテ居ナイト云フ所ヲハツキリサセタイ、斯ウ云フ考ヘデ是ハ各省皆關係致シテ居リマスノデ、政府ト致シマシテ、眞劍ニ此ノ問題ヲ如何ニカシテ何カ名案ヲ一ツ探シ出サウト云フノデ、今研究ヲ致シテ居リマス

○田中(藤)委員 大臣ノ説明ニ依ツテ満足致シマス、是非速カニサウシタ制度ノ實施ヲ要望シ、御願ヒ致シマス

○清水委員長 本日ハ此ノ程度デ散會致シマシテ、明日ハ午前十時ヨリ第九委員室ニ於テ質疑ヲ繼續致シマス、明日三案ニ對スル質疑ヲ終リマシテ、出來得ルナラバ明日ノ内ニ討論ニ入りタイト思ヒマス、委員各位是非御出席願ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時一分散會